
令和6年度 事業報告書

社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会

目 次

令和6年度事業実施概要	1
事業報告	
I 地域福祉活動の推進	
I-1 支え合う地域づくりの推進	
1 福祉コミュニティづくりの推進	3
2 ボランティア活動の促進	6
3 地域生活活動の解決に向けた仕組みづくりの推進	19
4 すこやか長寿社会運動の推進	24
I-2 福祉サービス利用者の自立支援	
1 福祉サービス利用者への支援	28
2 福祉サービスの苦情解決の推進	34
I-3 生活困窮世帯等の自立促進	
1 生活福祉資金の貸付	36
2 貸付後の相談支援の強化	41
II 福祉人材の養成・確保	
II-1 福祉人材の確保に向けた取組の強化	
1 福祉人材の安定的な確保を図るための支援	43
2 外国人介護人材受入の支援	47
3 福祉人材確保に向けた修学資金、就労支援の推進	48
4 社会福祉事業従事者の福利厚生への推進	50
5 介護現場の業務改善・負担軽減の推進	52
II-2 福祉人材の養成・資質の向上	
1 社会福祉事業従事者等研修の実施	58
2 介護の仕事への理解促進	62
3 法定資格取得に関する研修の実施	63
4 介護実習・普及センターの運営	69
III 推進体制の充実・強化	
III-1 社会福祉施設・団体等の活動促進	
1 市町村社協経営基盤強化の促進	77
2 社会福祉施設・団体等の支援及び連絡調整	79

Ⅲ－２ 法人運営の機能強化

1	組織体制・財政基盤の強化	86
2	職員の資質向上	89
3	広報・情報発信の強化	90
4	社会福祉センターの整備，維持管理及び利用促進	90

令和6年度事業実施概要

国際情勢の不安定化などに伴う物価高や、急速に進む少子高齢化、人口減少とりわけ生産年齢の減少等により、我が国の社会をとり巻く環境は大きく変わりつつあります。これらの変化により、個人や世帯が抱える問題は多様化し、経済的困難や、生きづらさや精神疾患などの心理的な困難、人と人とのつながりの希薄化による孤立・孤独から派生する生活課題など複雑かつ多様な福祉課題が顕在化しています。

このように、地域住民の福祉ニーズや生活課題が複合化、深刻化するなか、高齢者等の困窮や孤立・孤独の問題、認知高齢者の増加等、従来の福祉制度の枠組みでは十分な対応が困難な課題のある人々が増え、包括的な支援体制の構築が急がれており、地域の特性に応じた社協、社会福祉法人・社会福祉施設、民生委員・児童委員、老人クラブや関係機関などとの連携・協議に基づく支援体制づくりが求められています。

こうしたなか、地域福祉の中核的な推進組織である県社協は、複雑化・多様化してきた福祉ニーズに的確に応えるために、関係機関・団体等と連携を図りながら、「地域共生社会の実現」を基本理念に、「地域福祉活動の推進」、「福祉人材の養成・確保」、「推進体制の充実・強化」を3つの基本目標に7つの推進項目を掲げ、事業を推進してまいりました。

具体的には、県民や事業者等から寄せられる買物の困りごとに対応するための県域の相談窓口を社協内に新たに設置するとともに、市町村・市町村社協にも設置された相談窓口の取組の支援を行うなど、関係機関・団体等と連携を図る体制を整えた他、各市町村における地域生活課題の解決に資する重層的かつ包括的な支援体制構築のための支援を行い地域の課題解決に向けた仕組みづくりを推進しました。

また、介護ロボット等のテクノロジーを活用し業務の改善や効率化等を進める県内の介護事業所を対象としたワンストップ型の支援窓口として、「鹿児島県介護生産性向上総合相談センター」（かごしま介護ロボット等相談窓口；通称「かごロボ」）を設置し、相談体制を整備しました。

さらに、福祉・介護人材確保事業や介護分野への元気高齢者等参入促進セミナー事業、介護の入門的研修事業の実施など介護未経験者や高齢者等の多様な人材の参入促進に取り組んだ他、ボランティア活動の促進や、福祉サービス利用支援や苦情解決の推進、すこやか長寿社会づくり運動の推進などについても、関係機関・団体と連携を図りながら引き続き取り組みました。

なお、今年度も九州社会福祉協議会連合会の事務局として、令和6年1月に発生した能登半島地震への九州ブロックの社協職員の災害派遣等の調整を行うとともに、県ボランティアセンターとして、市町村社会福祉協議会と連携し、応援職員の派遣要請等に対応し、被災地の復旧・復興に努めました。

事業報告

I 地域福祉活動の推進

I-1 支え合う地域づくりの推進		地域福祉部															
1	福祉コミュニティづくりの推進	所管部署															
<p>令和6年度事業計画</p> <p>(1) 地域福祉推進支援事業 ア 巡回指導及び研修会への職員派遣</p> <p>イ 市町村等への情報提供</p>		<p>事業実施概要等</p> <p>在宅福祉サービス・地域福祉活動展開についての実施手法の指導や近隣保健福祉ネットワーク、社協運営等について、訪問及び研修会等での指導援助を行った。 市町村社協巡回指導数：11回 研修会等への指導：9回（市町村社協等）</p> <p>① 地域福祉の分野で先駆的な活動として取り組まれている県内外の有益な情報を収集し、県下の地域福祉関係者に情報発信するとともに市町村で開催された在宅福祉アドバイザー等の研修会に反映させた。 ② 県内の地域福祉の一層の推進に資するため、県内外の先進的な地域福祉の取組事例や関連情報を収集・整理し、市町村社協等に情報提供を行った。118回（文書、電話、メール）</p>															
ウ コミュニティワーカー研修（2コース）の実施		<p>具体的成果等</p> <p>市町村社協ほか関係機関等に積極的に出向き、福祉活動の支援に資することができた。</p> <p>最新情報等を迅速に提供することで、市町村社協運営に関する情報共有につながった。</p>															
ウ コミュニティワーカー研修（2コース）の実施		<p>地域福祉に携わるコミュニティワーカーが、講義・演習を通じて地域を基盤としたソーシャルワークの理念・進め方を学ぶことにより、必要とされる資質・技能の向上が図られた。</p>															
<table border="1"> <tr> <td>コース</td> <td>基礎編</td> <td>実践編</td> </tr> <tr> <td>開催日</td> <td>令和7年2月25日（火）9:50-12:00</td> <td>令和7年2月25日（火）13:00-16:00</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>県社会福祉センター大会議室</td> <td>県社会福祉センター大会議室</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>15人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td> <p>〈講義〉 個別支援から地域支援・地域づくりを考える 〈講師〉 社会福祉法人東海村社会福祉協議会生活支援ネットワーク係長 古市 こそえ 氏</p> </td> <td> <p>〈講義〉 実例から学ぶコミュニティソーシャルワークの展開 〈講師〉 社会福祉法人東海村社会福祉協議会生活支援ネットワーク係長 古市 こそえ 氏</p> </td> </tr> </table>			コース	基礎編	実践編	開催日	令和7年2月25日（火）9:50-12:00	令和7年2月25日（火）13:00-16:00	会場	県社会福祉センター大会議室	県社会福祉センター大会議室	参加者	15人	15人	内容	<p>〈講義〉 個別支援から地域支援・地域づくりを考える 〈講師〉 社会福祉法人東海村社会福祉協議会生活支援ネットワーク係長 古市 こそえ 氏</p>	<p>〈講義〉 実例から学ぶコミュニティソーシャルワークの展開 〈講師〉 社会福祉法人東海村社会福祉協議会生活支援ネットワーク係長 古市 こそえ 氏</p>
コース	基礎編	実践編															
開催日	令和7年2月25日（火）9:50-12:00	令和7年2月25日（火）13:00-16:00															
会場	県社会福祉センター大会議室	県社会福祉センター大会議室															
参加者	15人	15人															
内容	<p>〈講義〉 個別支援から地域支援・地域づくりを考える 〈講師〉 社会福祉法人東海村社会福祉協議会生活支援ネットワーク係長 古市 こそえ 氏</p>	<p>〈講義〉 実例から学ぶコミュニティソーシャルワークの展開 〈講師〉 社会福祉法人東海村社会福祉協議会生活支援ネットワーク係長 古市 こそえ 氏</p>															

<p>(2) 福祉コミュニティづくり事業 ア あんしん・安全ネットワー ク セミナーの開催 (1回)</p>	<p>公的サービス、見守り及びサロン活動だけでは対応できない、地域住民の多様な生活課題に対応し“誰もが安心して安全な生活をおくれる地域社会”を作るという観点から、県内の先駆的な活動を例に、従来の小地域ネットワーク活動を核とした地域住民の幅広い生活課題に対応する新たな小地域福祉活動の展開方を協議することとを目的に、オンラインでセミナーを開催した。</p>	<p>各地域における住民主体の支え合いや社協・自治体の関わり方について幅広く共有することができた。また、オンラインで実施したことで、県内各地から多くの関係者の参加を得ることができた。</p>						
<table border="1"> <tr> <td>開催日・形式</td> <td>令和7年1月22日(水)・オンライン (Zoom)</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>542人</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td> <p>(1) 開会挨拶 安全運転体操 鹿児島県警察本部 交通部 交通企画課 高齢者支援係 統括係長 大野 洵 氏</p> <p>(2) パネルディスカッション コーディネーター：鹿児島県社会福祉協議会 地域福祉部 パネリスト：日置市ナナンデンチーム代表 迫 千穂子 氏 曾於市ほっとサービス協力会員 小幡 留美子 氏 鹿屋市高須町地域福祉推進協議会 会長 上原 義史 氏</p> </td> </tr> </table>			開催日・形式	令和7年1月22日(水)・オンライン (Zoom)	参加者	542人	内容	<p>(1) 開会挨拶 安全運転体操 鹿児島県警察本部 交通部 交通企画課 高齢者支援係 統括係長 大野 洵 氏</p> <p>(2) パネルディスカッション コーディネーター：鹿児島県社会福祉協議会 地域福祉部 パネリスト：日置市ナナンデンチーム代表 迫 千穂子 氏 曾於市ほっとサービス協力会員 小幡 留美子 氏 鹿屋市高須町地域福祉推進協議会 会長 上原 義史 氏</p>
開催日・形式	令和7年1月22日(水)・オンライン (Zoom)							
参加者	542人							
内容	<p>(1) 開会挨拶 安全運転体操 鹿児島県警察本部 交通部 交通企画課 高齢者支援係 統括係長 大野 洵 氏</p> <p>(2) パネルディスカッション コーディネーター：鹿児島県社会福祉協議会 地域福祉部 パネリスト：日置市ナナンデンチーム代表 迫 千穂子 氏 曾於市ほっとサービス協力会員 小幡 留美子 氏 鹿屋市高須町地域福祉推進協議会 会長 上原 義史 氏</p>							
<p>イ サロン活動研究会の開催 (1回)</p>	<p>サロン活動を支援する関係者の資質向上、情報交換の場を提供することを通し、サロン活動の一層の普及・定着を図ることを目的に、「ふれあい・いきいきサロン研究会inかごしま」を子育てサロンをテーマに開催した。 <期 日>：令和6年12月17日 (火) <会 場>：カイクス交流センター (かごしま県民交流センター) 1階 県民ホール他 <参加者>：146名 <内 容>：全体会 「子育てサロンに関する活動事例紹介」 状況説明 鹿児島県社会福祉協議会 地域福祉部 事例発表1 鹿児島市 かもいけみらいの森「えほん図書館」 施設長 中重 敬子 氏 事例発表2 さつま町 子ども服・制服おさがり会HAND 代表 篠原 直子 氏</p>	<p>各地域の事例発表や分科会を通じて、子育てサロン活動を支援する関係者の資質向上が図られるとともに、有意義な情報交換の場を提供することができた。</p>						

1	福祉コミュニティづくりの推進	地域福祉部
令和6年度事業計画		具体的成果等
事業実施概要等		
<p>分科会</p> <p>【第1分科会】子育てサロンいどばた会議 進行：鹿児島県社会福祉協議会 地域福祉部</p> <p>【第2分科会】絵本の読み聞かせ・選び方講座 講師：かもいけみらいの森「えほん図書館」 絵本専門士 森 ゆかり 氏 施設長 中重 敬子 氏</p> <p>【第3分科会】マジック講座 講師：鹿児島市レクリエーション協会会長 鹿児島マジック愛好会 顧問 大迫 元信 氏</p>	<p>「地域共生社会の実現をめざして～ともに生きる豊かな地域社会づくり～」をテーマとして、地域福祉推進大会を開催した。</p> <p>日 令和6年10月25日(金)</p> <p>場 川商ホール（鹿児島市民文化ホール）第1ホール</p> <p>参加者数 1,010人</p> <p>内容</p> <p>① 式典（表彰）</p> <p>② 記念講演</p> <p>演 題：「地域共生社会の実現をめざして～ともに生きる豊かな地域社会づくり～」</p> <p>（講師） 社会福祉法人 全国社会福祉協議会 副会長 社会福祉法人 中央共同募金会 副会長 公益財団法人 全国老人クラブ連合会 副会長 古都 賢一 氏</p>	<p>永年にわたり地域福祉の発展に寄与された方々の表彰や地域福祉に関する記念講演及びパネルディスカッションを開催することにより、地域福祉を推進する社協や関係機関・団体等が、今後の地域福祉のあり方を考える機運の醸成につながった。また、幅広い関係機関から多数の参加を得ることができた。</p>
<p>(3) 地域福祉推進大会の開催</p> <p>ア 開催期日 令和6年10月25日(金)</p> <p>イ 場所 川商ホール (鹿児島市民文化ホール)</p> <p>ウ 内容 (7) 永年地域福祉の発展に寄与された方々の表彰 (8) 地域福祉の推進に関する講演 (9) 見守り活動等の実践報告</p> <p>エ 参加者数 1,200人程度</p>	<p>③ パネルディスカッション テーマ：「地域共生社会の実現をめざして～多様な参加・協働による地域の支え合い～」 (パネリスト)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南さつま市 万世サロン援助員 代表 鮫島小代子 氏 ・南さつま市社会福祉協議会 福祉課 課長 南 勝彦 氏 ・社会福祉法人 栄光会 理事長 中村 剛 氏 ・南大隅町社会福祉協議会 地域福祉係 係長 大竹野佑介 氏 ・日置市伊集院地域 民生委員児童委員 吉田伊都子 氏 	

<p>(4) 県社会福祉協議会会長表彰事業 表彰審査会の開催（1回）</p>	<p>(助言者) ・記念講演講師 古都 賢一 氏</p> <p>永年、社会福祉の向上に貢献された個人と団体を表彰し、本県における社会福祉の一層の向上を図った。 なお、表彰は「地域福祉推進大会」において行った。</p> <p>〈表彰〉</p> <table border="0"> <tr><td>① 民生委員児童委員</td><td>198人</td></tr> <tr><td>② ホームヘルパー</td><td>2人</td></tr> <tr><td>③ 相談員</td><td>3人</td></tr> <tr><td>④ 社会福祉施設の長及び職員</td><td>95人</td></tr> <tr><td>⑤ 社会福祉事業関係団体の役員</td><td>62人</td></tr> <tr><td>⑥ 社会福祉事業関係団体</td><td>4団体</td></tr> <tr><td>⑦ ボランティア個人</td><td>10人</td></tr> <tr><td>⑧ ボランティアグループ・団体</td><td>3団体</td></tr> <tr><td>⑨ 社会福祉の向上に功績のあった者</td><td>0人</td></tr> </table> <p>合計（370人,7団体）</p> <p>〈審査会〉 令和6年8月22日(木)開催</p>	① 民生委員児童委員	198人	② ホームヘルパー	2人	③ 相談員	3人	④ 社会福祉施設の長及び職員	95人	⑤ 社会福祉事業関係団体の役員	62人	⑥ 社会福祉事業関係団体	4団体	⑦ ボランティア個人	10人	⑧ ボランティアグループ・団体	3団体	⑨ 社会福祉の向上に功績のあった者	0人	<p>全体の表彰数は対前年度186.6%であり、民生委員・児童委員が対前年度12.4倍(182人増)、ホームヘルパーが対前年比16.7%(10人減)、社会福祉事業関係団体の役員が対前年度163.2%(24人増)となった。 永年にわたり社会福祉の充実発展に尽力された多くの方々の表彰することにより、多くの社会福祉関係者の意識の高揚につながる機会を提供することができた</p>
① 民生委員児童委員	198人																			
② ホームヘルパー	2人																			
③ 相談員	3人																			
④ 社会福祉施設の長及び職員	95人																			
⑤ 社会福祉事業関係団体の役員	62人																			
⑥ 社会福祉事業関係団体	4団体																			
⑦ ボランティア個人	10人																			
⑧ ボランティアグループ・団体	3団体																			
⑨ 社会福祉の向上に功績のあった者	0人																			
<p>2 ボランティア活動の促進</p> <p>(1) 県ボランティアセンターの運営 ア 県ボランティアコーディネーターの設置</p> <p>イ 県ボランティアセンター運営委員会の開催</p>	<p>県ボランティアセンター事業の推進を図るため、ボランティアコーディネーターを設置し、来所や電話でのボランティア相談や保険加入手続き等に対応したほか、主催事業の企画・実施、全社協や市町村社協が実施するボランティア関係講座及び研修等の場において運営支援や指導助言等を行った。 また、令和6年能登半島地震（石川県）について、九州ブロック及び県内応援職員の派遣調整や現地災害ボランティアセンターの運営支援に従事するなどした。</p> <p>県ボランティアセンター事業の適正な運営を図るため、運営委員会を次のとおり開催した。 〈日時〉 令和7年2月28日（金）午後2時30分から午後3時50分 〈会場〉 県社会福祉センター7階 大会議室 〈内容〉 ア 委員長の指名 イ 令和6年度事業実施状況について ウ 令和7年度事業実施計画案について エ その他</p>	<p>所管部署 ボランティアセンター</p> <p>多様な相談への対応や各種研修の企画及び実施、各団体が実施するボランティア講座等の支援を行うことを通して、ボランティアへの理解と関心を高めることにつながった。</p> <p>今後の適正なボランティアセンター運営にかかる貴重なご意見を運営委員からいただくことができた。</p>																		

2	ボランティア活動の促進	所管部署	ボランティアセンター
ウ	<p>令和6年度事業計画</p> <p>福祉救援ボランティア活動連絡会の開催</p>	<p>事業実施概要等</p> <p>県内外で大規模災害が発生した場合の福祉救援活動・災害ボランティア活動支援を迅速かつ効果的に行えるように、関係機関・団体等における平時や災害時の取組の共有、関係者間の顔の見える関係づくりなどを図る連絡会を次のとおり開催した。</p> <p>〈日 時〉 令和7年2月13日（木）午後1時30分から午後3時まで</p> <p>〈会 場〉 県社会福祉センター7階 第3会議室</p> <p>〈内 容〉 ア 県社協による災害ボランティア活動支援の取り組みについて イ 出席団体による防災・被災者支援等の取り組みについて ウ その他 〈出席機関〉 県災害対策課、県社会福祉課、日本赤十字社県支部、県共同募金会、日本防災士会県支部、県生活協同組合連合会、県社会福祉士の7機関7人</p>	<p>具体的成果等</p> <p>平時において、災害が発生した際の取り組みや連携等に係る関係機関団体等との情報共有が図られ、災害ボランティアセンターが果たすべき役割や機能について、周知することができた。</p>
エ	<p>県総合防災訓練等への参加</p> <p>① 県総合防災訓練 令和6年度の県総合防災訓練は、大雨と地震による複合災害の発生を想定した訓練として奄美市で開催された。</p> <p>〈日 時〉 令和6年5月26日（日） 午前8時から午後0時30分まで</p> <p>〈会 場〉 奄美川商ホール 1階 展示コーナー</p> <p>〈参加者〉 大島地区の市町村社協役員、奄美市地域住民など計27人</p> <p>〈内 容〉 奄美市災害ボランティアセンター設置・運営訓練 奄美市社協スタッフを中心に、災害ボランティアセンター一内のボランティア受付、オリエンテーション、マッチング、模擬の被災者支援、活動報告、被災者ニーズの聞き取り、ロールプレイなど一連の流れについて訓練を実施。 また、ICTを一部活用した訓練として、QRコードによるボランティア受付や動画視聴によるオリエンテーションの展開を実施。</p> <p>② 桜島火山爆発総合防災訓練 鹿児島市が主催する第55回桜島火山爆発総合防災訓練のうち、</p>	<p>大規模訓練において、昨年度に引き続きICTを活用した訓練を導入したこと、災害ボランティアセンターの運営効率化はもとより、感染防止対策にも効果的であることの理解が関係者に周知できた。</p> <p>今年度よりパネル展示方式に</p>	

	<p>鹿児島市社協が参加する災害ボランティアセンターの展示訓練に対し、当日の運営支援を行った。 なお、従来実施していた災害ボランティアセンター設置・運用訓練から、今年度より展示訓練に移行し、パネル展示を中心に災害ボランティアセンターの活動紹介ブースを設営した。</p> <p>〈日 時〉令和7年11月11日（土） 午前8時30分から午後12時30分まで</p> <p>〈会 場〉鹿児島市立谷山中学校グラウンド</p> <p>〈参加者〉5人（鹿児島市社協3人、県社協職員2人）</p> <p>〈内 容〉鹿児島市災害ボランティアセンターパネル展示 鹿児島市社協スタッフにより、災害ボランティアセンターの流れや、昨年度のボランティアバス運行の報告など、活動紹介パネルの展示を中心に実施したほか、ICTを活用したQRコードによるボランティア受付デモを体験展示として取り入れた。</p>	<p>変えてQRコードによるボランティア受付と活動報告が効果的であり、あることの理解が関係者に周知できた。</p>
<p>オ 指導・連絡・研修</p>	<p>① 市町村ボランティアセンター等への個別支援等 ア 市町村社協等が実施する市民向けのボランティア講座や福祉教育に関する講座、行政機関や教育機関等からの要請による講義及び助言等を次のとおり行った。 〔講座等支援回数〕 市町村社会福祉協議会 4回 計10回 その他（大学等） 6回</p> <p>② 全国社会福祉協議会（全社協）及び九州社会福祉協議会連合会（九社連）の主催会議等への参加（下線付きはオンライン会議） （ア）都道府県・指定都市社協 ボランティア部・課・所長会議（全社協） （イ）能登半島地震における災害ボランティアセンター振り回り会議（全社協） （ウ）都道府県・指定都市社協福祉教育担当者連絡会議（全社協） （エ）社協の災害支援体制と活動強化に関する会議（全社協） （オ）「市町村災害VC運営者研修会」講師養成研修（全社協） （カ）災害福祉支援センター情報共有会議（全社協） （キ）九州各県・指定都市社会福祉協議会業務部・課長会議（九社連） （ク）都道府県・指定都市社協災害ボランティアセンター担当者連絡会議（全社協）</p>	<p>前年度より多くの指導要請に応えられた。 ・指導回数：対前年度 10回減</p> <p>オンラインの活用により会議や研修参加の機会を確保できたことで、最新の情勢や情報等の収集につながった。</p>

2 ボランティア活動の促進	所管部署	ボランティアセンター
令和6年度事業計画	事業実施概要等	具体的成果等
<p>カ 被災地支援ほか災害対応関連の取組</p> <p>石川県社協からの要請により、九州ブロック社会福祉協議会災害時相互応援協定に基づき、4月から12月まで県・市町村社協職員を珠洲市災害ボランティアセンターへ派遣した。</p> <p>令和6年度は、本会が九州ブロックの幹事県であり、九州ブロック全体の派遣調整も併せて行った。</p> <p>ア 派遣内容等</p> <p>〔派遣先〕 石川県珠洲市災害ボランティアセンター 令和6年4月8日（月）から12月26日（金） 約9カ月間</p> <p>〔派遣者数〕 (1)クールあたり6泊7日（実働5日間） 県社協 17人 市町村社協 25人 計42人 （参考）九州ブロック派遣者数 322人</p> <p>〔業務内容〕 災害ボランティアセンターの運営支援 （ニーズ受付、オリエンテーション・マッチング、現地調査、資機材管理等）</p> <p>〔ブロック派遣〕 九州ブロック、東海・北陸ブロック、関東Bブロック、四国ブロック 他NPO 等</p> <p>〔ブロック会議〕 8回開催（オンライン会議）</p> <p>【ブロック幹事県・市社協会議】 7回参加（オンライン会議）</p> <p>イ 報告会の開催</p> <p>珠洲市災害VC支援報告会をオンラインで3回開催し、派遣された職員からの意見や感想を通じて、これからの県・市町村での災害支援を考えをきっかけとした。</p> <p>〔第1回目〕 令和6年6月6日（木）午後3時から午後5時 参加者 60人</p> <p>〔第2回目〕 令和6年8月15日（木）午後3時から午後5時 参加者 57人</p> <p>〔第3回目〕 令和7年3月19日（水）午後3時から午後5時 参加者 26人</p>	<p>大規模自然災害で被災した地域の復旧・復興は寄与することができた。</p>	
<p>(2) 福祉教育推進事業 ア 児童・生徒のふれあいボランティア活動啓発促進事業の</p>	<p>(1) 児童・生徒のふれあいボランティア活動啓発促進事業の推進 児童・生徒の地域における様々なボランティア活動に応じて スタッフを付与し、スタンプが一定量貯まると活動認定証を交</p>	<p>導入促進に向けて積極的に働き掛けられているが、今年度は、前年度と同じく38社協であった。</p>

<p>イ 大学・短大生等ボランティア活動連携促進事業の推進</p>	<p>付する「児童・生徒のふれあいボランティア活動事業」の円滑な実施を図るため、スタンプカードを50,000枚作成し、実施市町村社協へ配布した。</p> <p>また、未導入の市町村社協へ導入を促すため働きかけを行うとともに、本事業の担当者を対象にした連絡会をオンラインで開催した。</p> <p>ア 「児童・生徒のふれあいボランティア活動事業」担当者連絡会（オンライン会議）</p> <p>〔日時〕 令和7年3月21日（金）午後1時30分から午後3時30分</p> <p>〔手法〕 オンライン会議システム Zoom</p> <p>〔参加者数〕 17人</p> <p>〔内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進地での取り組み紹介 ・ブレイクアウトルームでの意見交換 ・まとめ 等 	<p>既導入社協（38社協）</p> <p>鹿児島市、薩摩川内市、伊佐市、垂水市、日置市、南さつま市、南大隅町、始良市、志布志市、さつま町、霧島市、西之表市、龍郷町、伊仙町、天城町、喜界町、肝付町、鹿屋市、湧水町、南九州市、阿久根市、曾於市、中種子町、南種子町、出水市、奄美市、錦江町、屋久島町、長島町、瀬戸内町、徳之島町、和泊町、知名町、与論町、</p>																		
<p>イ 大学・短大生等ボランティア活動連携促進事業の推進</p>	<p>県内の大学・短大生を対象にボランティア活動機会の創出や活動活性化、大学・短大の枠を超えた連携・協働の促進等を図るため、次の2つの取り組みを行った。</p> <p>ア ボランティアフィールドの開設（インスタグラム）</p> <p>県内の大学・短大生が自発的にボランティア活動に取り組みきっかけと定着を図るため、ボランティアフィールド（SNSを活用した参加しやすい仕組みと環境）を令和6年10月に開設した。</p> <p>(7) ボランティアフィールド啓発用カードの作成・配布</p> <p>大学・短大生への周知を図るため、啓発用カードを作成し、各大学等で配布を行い、ボランティア活動の促進を図る。</p> <p>【作成枚数】10,000枚 県内の10大学・短期大学へ配布</p>	<p>ボランティアフィールド開設準備検討会協カメンバーによるプレゼンもあり、開設後の広報・周知への学校からの協力についても快諾を得ることができた。</p>																		
<p>区分 小学生 中学生 義務学校 高校生 合計</p> <table border="1"> <tr> <td>前年度までの累計 A</td> <td>6,448</td> <td>412</td> <td>19</td> <td>426</td> <td>7,305</td> </tr> <tr> <td>令和6年度実績 B</td> <td>591</td> <td>68</td> <td>4</td> <td>61</td> <td>724</td> </tr> <tr> <td>交付総数 (A+B)</td> <td>7,039</td> <td>480</td> <td>23</td> <td>487</td> <td>8,029</td> </tr> </table>		前年度までの累計 A	6,448	412	19	426	7,305	令和6年度実績 B	591	68	4	61	724	交付総数 (A+B)	7,039	480	23	487	8,029	
前年度までの累計 A	6,448	412	19	426	7,305															
令和6年度実績 B	591	68	4	61	724															
交付総数 (A+B)	7,039	480	23	487	8,029															

2	ボランティア活動の促進	所管部署	ボランティアセンター
	令和6年度事業計画	ボランティアセンター	具体的な成果等
イ	<p>大学・短大等ボランティア支援担当職員連絡会 大学・短大生のボランティア活動の活性化を図るため、各大学・ 短大の学生ボランティア支援担当職員との意見交換会を次のとお り開催した。</p> <p>(7) 1回目 【日時】令和6年8月27日(火) 午後2時から午後4時まで 【手法】オンライン会議システム Zoom 【内容】①昨年度の報告(ボランティアフィールドの説明) ②実践報告 「学生のボランティア活動の活性化について」 特定非営利活動法人かごまこども食堂支援センターたくして サロンコーディネーター 古井 露子 氏 ③協議・意見交換 「学生のボランティア活動の活性化について」 【参加大学】鹿児島大学, 鹿屋体育大学, 鹿児島国際大学, 鹿 児島純心大学, 第一工科大学, 鹿児島県立短期大 学, 鹿児島純心女子短期大学 ……計7大学から7人</p> <p>(イ) 2回目 【日時】令和7年3月5日(水) 午後1時30分から午後3時まで 【手法】オンライン会議システム Zoom 【内容】①ボランティアフィールド啓発カードの説明 ②協議・意見交換 「各学校の取り組み状況等について」 「ボランティア活動啓発用の共通フォームについて」 【参加大学】鹿児島大学, 鹿屋体育大学, 鹿児島国際大学, 第一工科大学, 鹿児島純心女子短期大学, 鹿児島 女子短期大学, 第一幼児教育短期大学 ……計7大学から8人</p>	ワーキングチームに学生の参 加を得たことで、学生が多く利 用するSNS媒体や好みやすい情報 入手方法など、学生目線の「ボ ランティアワールド」づくり ができた。	
ウ	福祉教育推進セミナー等の 開催	教育・福祉関係従事者、地域住民など幅広い関係者による福祉教 育の多様な取り組みを推進し、心豊かな子どもたちの育みや地域の	住民主体の福祉の学びや取り 組みの広がりをねらった「福祉

<p>(7) 福祉教育サポートセミナー (1回)</p> <p>(イ) 福祉教育推進セミナー (1回)</p> <p>(介護実習・普及センターとの 共管事業)</p>	<p>福祉力向上を図るため、次の2つのセミナーを開催した。</p> <p>① 福祉教育サポートセミナー（オンライン） このセミナーは、地域の様々な福祉・生活課題の解決にむけて、地域住民へ能動的な実践を促す仕掛けや連携づくりについて学ぶ機会とするため、地域住民に対する福祉教育の提供等に関わる幅広い機関・団体等を対象に開催した。</p> <p>〔日時〕 令和6年6月25日（火）午後1時30分から午後4時30分 〔手法〕 オンライン会議システム Zoom 〔参加者〕 177人（市町村社協職員、市町村福祉担当職員、民生委員児童委員等）</p> <p>〔内容〕 ①講演「誰もが主体的に活躍できる地域づくり」 講師：西九州大学副学長・こども学科 教授 上野 景三 氏</p> <p>②事例紹介1「五感で味合う福祉体験事業」 ～スリーステッププログラムで福祉の種をまく～ 発表者：宮崎県小林市社協 地域福祉係長 福園 尋恵 氏</p> <p>③事例紹介2「みんなが暮らしやすい地域」 ～出会い、つながり、学びから地域活動への広がりに～ Nobody's Perfect プログラムを通じて” 発表者：佐賀県みやき町社協 地域づくり課長 西田 雄一郎 氏</p> <p>みやき町ボランティア 御領原 美代子 氏</p>	<p>教育サポートセミナー」と学校での福祉教育・ボランティア学習の広がりをねらった「福祉教育推進セミナー」に分けて実施したこと、対象者の違いによる取組手法やテーマ設定等の違い・留意点などが明確になり、取り組み方への理解がより深まった。</p>
	<p>② 福祉教育推進セミナー（集合型） このセミナーは、教職員や幅広い福祉関係者を対象に、学校と多様な地域の関係者による福祉教育の推進や連携のあり方などを学ぶ機会として開催した。 なお、鹿児島県総合教育センター主催のボランティア・福祉教育短期研修講座受講生（教員）も参加して一緒に学習した。</p> <p>〔日時〕 令和6年11月14日（木）午後1時30分から午後4時40分 〔会場〕 カクイックス交流センター 大研修室 第4 〔参加者〕 34人（市町村社協職員、市町村福祉担当職員、小中高校教職員・民生委員・児童委員等）</p>	<p>福祉教育推進セミナーについては、県総合教育センターと連携したことで、教職員からも多数の参加につながり、社協職員や民生委員等と意見交換できたことで学校での福祉教育の広がりの足がかりとなった。</p>

2	ボランティア活動の促進	所管部署 ボランティアセンター
令和6年度事業計画		具体的成果等
<p style="text-align: center;">事業実施概要等</p> <p>〔内容〕 ①事例発表1「上毛町における福祉教育の取組み」 発表者：福岡県上毛町社協 地域福祉係長 中村 麻衣 氏</p> <p>②事例発表2「都城市における学校の福祉学習の取組 み」 発表者：宮崎県都城市社協 地域福祉課 ボランティアセンター所長 川崎 博志 氏</p> <p>③グループワーク（福祉教育推進に向けての意見交換） アドバイザー：事例発表の2者</p> <p>④事業説明「介護実習・普及センターの業務について」 説明者：介護実習・普及センター職員</p> <p>③ その他（全社協との連携による福祉教育関係事業）</p> <p>(7) 全国福祉教育推進員研修鹿児島会場 都道府県・指定都市域で活躍する福祉教育人材を養成するた め「令和6年度全国福祉教育推進員研修」に係る鹿児島域分 の演習プログラムの運営及び指導を担った。</p> <p>〔日時〕 令和6年8月7日(水) 午前9時45分から午後5時まで 〔会場〕 県社会福祉センター7階 第3会議室 〔受講決定数〕 鹿屋市1人、曾於市1人、奄美市1人、鹿児島県2人 計5人</p> <p>〔修了者数〕 上記と同じ</p> <p>〔内 容〕 開会式・オリエンテーション 演習1「福祉教育プログラムを磨く」 演習2「福祉教育プログラムを考える」 全体会「研修のリフレクション・まとめ」 〔演習指導等〕 肝付町福祉教育推進員 有村 みゆき 氏 (R5本研修修了者)</p> <p>(4) 全国福祉教育推進員研修修了者のフォローアップ研修 鹿児島会場修了者のフォローアップと取組状況に関する情 報交換等を目的に実施 〔日時〕 令和7年1月27日（月）午後1時30分から午後4時30分 〔会場〕 オンライン開催（Zoom）</p> <p>都道府県社協がサテライトの役割を担うことで、全社協が進める地域の福祉教育プラットフォームを担う人材育成に寄与できた。 (修了者累計：県社協5人、市町村社協18人)</p>		

	<p>〔受講決定数〕 鹿児島市1人、鹿屋市2人、曾於市3人、肝付町1人、南さつま市1人、奄美市1人、県社協1人 計9人</p> <p>〔内容〕 ①グループワーク：「福祉教育はなぜ必要か」 ②グループワーク：「福祉教育の必要性を伝える」 (ロールプレイング)</p> <p>〔演習指導等〕 県社協ボランティアセンター職員 3人</p>	
<p>(3) 養成・研修事業 ア ボランティアコーディネーター・ボランティア担当職員セミナーの開催(1回)</p>	<p>市町村協のボランティアコーディネーター・担当職員の資質向上を図るため、次のとおり開催した。</p> <p>〔日時〕 令和6年12月3日(火) 午前10時00分から午後4時00分まで</p> <p>〔会場〕 県社会福祉センター7階 大会議室</p> <p>〔参加者〕 市町村社協ボランティアコーディネーター・担当職員等 23人</p> <p>〔内容〕 ボランティア『コーディネーション力』スキルアップ研修 ～人とヒト・地域を繋ぐチカラを高めるためには～ 講師：オフィス園崎 代表 園崎 秀治 氏</p> <p>〔ワーク〕 ①互いを知る ②今の仕事での課題 〔講義1〕 社協・VCのあゆみとそのあり方を確認する 〔ワーク〕 ③講義を受けての気づきを共有 〔説明〕 『市町村社協ボランティア強化方策2023』について 説明者：県社協ボランティアセンター所長</p> <p>〔ワーク〕 ④「強化方策2023」の内容の振り返り・全体共有 〔講義2〕 ボランティアコーディネーターの視野を広げる 〔ワーク〕 ⑤研修全体を通じての気づきを共有</p>	<p>専門職として必要とされる知識や役割などの習得及び実践力向上を図ることができた。 (参加者数：対前年度2人増)</p>
<p>イ 災害ボランティアセンター運営者研修の開催(2市町村協)</p>	<p>大規模災害時の被災者支援に重要な役割を果たす災害ボランティアセンターの持続的かつ安定的な運営には、地域の住民や関係機関・団体、ボランティア活動者など地域内の様々な担い手の参加と協力による“地域協働型”の災害ボランティアセンター運営が重要であることから、全社協の「災害ボランティアセンター運営者研修プログラム」に準拠したモデル事業を昨年度より実施している。次の令和6年度は、鹿児島市と鹿屋市の2社協をモデル指定し、次のおり「災害ボランティアセンター運営者研修」を開催した。</p> <p>① 鹿児島市社協 〈日時〉 令和6年11月15日(金)、令和6年11月22日(金)、 〈会場〉 市民福祉プラザ5階 大会議室 〈受講者数〉 1日目 31人、2日目 31人 〈受講者の所属〉 鹿児島市社協職員、市役所職員(1日目のみ) 県社協職員</p>	<p>「被災者の置かれている状況の理解」や「災害ボランティアセンター運営訓練」「災害ボランティアセンターのレイアウト検討」などの講義や演習を通して、災害ボランティアセンター開設時に必要とされる知識や役割などの習得及び実践力向上を図る</p>

2 ボランティア活動の促進	所管部署	ボランティアセンター
<p>令和6年度事業計画</p>	<p>事業実施概要等</p>	<p>具体的成果等</p>
<p>イ 災害ボランティアセンター運営研修の開催（2市町社協）</p>	<p>【内容】 ボランティア『コディネーションカ』スキルアップ研修 ～人とヒト・地域を繋ぐチカラを高めるため～ 講師：オフィス園崎 代表 園崎 秀治 氏 ①互いを知る ②今の仕事での課題 社協・VCのあゆみとそのあり方を確認する ③講義を受けての気づきを共有 『市町村社協林・ランティ・市民活動センター強化策2023』について 説明者：県社協ボランティアセンター所長 ④「強化策2023」の内容の振り返り・全体共有 ボランティアコーディネートの視野を広げる ⑤研修全体を通じての気づきを共有</p> <p>大規模災害時の被災者支援に重要な役割を果たす災害ボランティアセンターの持続的かつ安定的な運営には、地域の住民や関係機関・団体、ボランティア活動者など地域内の様々な担い手の参加と協力による“地域協働型”の災害ボランティアセンター運営が重要であることから、全社協の「災害ボランティアセンター運営者研修プログラム」に準拠したモデル事業を昨年度より実施している。次のとおり「災害ボランティアセンター2社協をモデル指定し、次々と令和6年度は、鹿児島市と鹿屋市の2社協をモデル指定し、次々とおり「災害ボランティアセンター運営者研修」を開催した。</p> <p>① 鹿児島市社協 〈日時〉令和6年11月15日(金)、令和6年11月22日(金)、 〈会場〉市民福祉プラザ5階 大会議室 〈受講者数〉1日目 31人、2日目 31人 〈受講者の所属〉鹿児島市社協職員、市役所職員（1日目のみ）、 県社協職員</p> <p>② 鹿屋市社協 〈日時〉令和7年1月29日(水)～30日(木) 〈会場〉リテイクかのや 2階 情報研修室 〈受講者数〉1日目 31人、2日目 午前39人/午後20人 〈受講者の所属〉鹿屋市社協職員、市役所職員（2日目午前のみ）、区長、民生委員・児童委員、NPO法人</p>	<p>「被災者の置かれている状況の理解」や「災害ボランティアセンター運営訓練」「災害ボランティアセンターのレイアウト検討」などの講義や演習を通して、災害ボランティアセンター開設時に必要とされる知識や役割などの習得及び実践力向上を図ることができた。</p>

	<p>【2日間のプログラム（共通）】</p> <p>◆1日目◆ 10:00～10:20 開会・オリエンテーション 10:20～11:00 講義① 災害に関する基礎知識 11:00～11:10 休憩 11:10～12:00 講義② 災害ボランティアに関する基礎知識 12:00～13:00 昼食 13:00～14:40 演習① 被災者の置かれている状況の理解 14:40～14:50 休憩 14:50～15:40 講義③ 災害ボランティアのしくみ、基礎知識 14:40～16:00 振り返り・閉会</p> <p>◆2日目◆（なお、鹿屋市は午前中のプログラムを地域住民参加者向けの内容に変更して実施） 10:00～10:20 開会・前回の振り返り 10:20～12:00 訓練 災害ボランティア-運営訓練 12:00～13:00 昼食 13:00～15:00 演習② 災害ボランティア-のレイアウト検討 15:00～16:30 振り返り・閉会</p> <p>◆指導者◆ 講義 県社協ボランティアセンター所長及び副所長 訓練 県社協ボランティアセンター所長及び副所長、開催地 社協の担当職員各2名</p>	
<p>(4) 広報啓発事業 ア ホームページ等による情報提供</p>	<p>① 県社協広報紙「ふくしのひろば」にボランティアセンターが行う事業や県内のボランティア活動団体や活動者の紹介、寄贈物品の受贈状況など最新のボランティア関連記事を掲載し、広報に努めた。 〔部数〕13,700部×4回 〔配布先〕市町村社協、市町村、学校、銀行、病院及びその他の会員施設・団体等</p> <p>② その他WEBIによる情報提供 県社協ホームページ内に、ボランティア活動に関する活動種別や内容等基本的事項を常時掲載するとともに、助成金募集に関する最新情報への更新、全社協等からの最新情報に努めた。 また、県社協公式SNS（Facebook、Instagram）に、ボランティアセンターや事業等の告知や報告等を9件投稿した。</p>	<p>広報紙で活動事例等を紹介すること、県民やボランティア活動団体等への啓発や活動の推進を図られた。 また、検索性や即時性の高い情報をホームページ・SNS等で情報提供することで、迅速かつ効率的な情報提供が図られた。</p>

2 ボランティア活動の促進	所管部署	ボランティアセンター																																			
<p>令和6年度事業計画</p> <p>イ 啓発用物品の整備・提供 (7) ボランティア手帳の発行 (発行部数3,000部) (4) 啓発用物品の貸出・整備 等</p>	<p>事業実施概要等</p> <p>(7) 市町村社協等が開催するボランティア講座や研修会用の資料として、また学校での「総合的な学習の時間」等の学習用として活用できる「私のボランティア手帳」を3,624部配布した。 (4) ボランティア学習・介護体験講座等に使用する疑似体験セット、車椅子、アイマスク等の貸し出しを行うとともに、できるだけ多くの需要に対応できるよう、ボランティアTシャツ、半袖ポロシャツの益金を活用し、疑似体験セットを4セット補充した。</p> <p>〔貸出状況〕 (当年度分は令和7年3月末現在、過年度分は年間実績)</p> <table border="1" data-bbox="560 526 836 1594"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品名</th> <th colspan="3">貸出状況</th> </tr> <tr> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車いす(台)</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>アイマスク(個)</td> <td>0</td> <td>42</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>白杖(本)</td> <td>0</td> <td>32</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>着ぐるみ(体)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>エルダートライ(高齢者体験セット)(体)</td> <td>0</td> <td>157</td> <td>223</td> </tr> <tr> <td>妊婦体験セット(体)</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>151</td> <td>243</td> <td>339</td> </tr> </tbody> </table>	品名	貸出状況			令和4年度	令和5年度	令和6年度	車いす(台)	0	6	9	アイマスク(個)	0	42	48	白杖(本)	0	32	50	着ぐるみ(体)	0	0	0	エルダートライ(高齢者体験セット)(体)	0	157	223	妊婦体験セット(体)	0	3	9	合計	151	243	339	<p>具体的成果等</p> <p>疑似体験セット等貸出数が前年度と比べ96増となった</p>
品名	貸出状況																																				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																		
車いす(台)	0	6	9																																		
アイマスク(個)	0	42	48																																		
白杖(本)	0	32	50																																		
着ぐるみ(体)	0	0	0																																		
エルダートライ(高齢者体験セット)(体)	0	157	223																																		
妊婦体験セット(体)	0	3	9																																		
合計	151	243	339																																		
<p>(ウ) その他の啓発・普及 (7) サマーボランティア体験 月間の実施</p>	<p>(ウ) ボランティアルーム・コーナー(会議室)の提供</p> <p>ボランティアグループ等の活動の利便性を確保するため、同グループ等が行う研修会や講習会、打合せ等の場に活用できる会議室を提供した。 ボランティアルーム：利用回数 198回、利用人員 1,476人 ボランティアコーナー：利用回数 114回、利用人員 394人</p>	<p>ボランティアルーム 利用回数：対前年度 7回減 利用人員：対前年度 27人増 ボランティアコーナー 利用回数：対前年度 34回減 利用人員：対前年度 190人減</p>																																			
	<p>サマーボランティア体験月間(7月～8月) 地域や社会福祉施設等でのボランティア・介護体験等とおし、市民のボランティア活動への理解と関心を深めるとともに、ボランティア活動への参加のきっかけづくりとするため、7月及び8月を「サマーボランティア体験月間」と定め、市町村社協に各種体験プログラムの実施を呼びかけて展開した。 なお、令和5年度から、新型コロナウイルス感染症が5類に移行しているが、コロナ禍前の水準には、まだ戻っていない状況である。</p>	<p>・プログラム件数： 対前年度 32件増 ・実施社協数： 対前年度1社協増 ・参加者総数： 対前年度109人減</p>																																			

	<p>〈内 容〉プログラム数：154件（県内22市町村社協が実施） （障害者・児童施設・高齢者施設等でのボランティア体験、災害時の炊き出し実演・体験、子育て支援センターでのボランティア体験（夏祭りの補助）、認知症サポーター養成講座の指導講話やおもちゃ病院でおもちゃの修理活動のボランティアについても見守り体験などの講話の受講、赤十字事業や障害者スポーツ、子ども見守り体験などの体験、救急時の手当や障害者支援、災害時に役立つ知識や技術の習得等） 〈参加者数〉1,472人 （男359人・女1,113人、小学生計260人、中学生計427人、高校生計604人、その他大学生から社会人等91人）</p>																																									
<p>(4) ボランティアTシャツ等の頒布</p>	<p>ボランティアTシャツ・半袖ポロシャツの頒布 ボランティアTシャツ・半袖ポロシャツの頒布を行うとともに、例年売上金の一部を当会の社会福祉事業や自然災害による被災者支援に活用しており、今年度は福祉教育推進の一環として、福祉教育教材として需要の高い高齢者疑似体験セットの購入に活用した。 【頒布枚数】Tシャツ780着 ポロシャツ3,210着 計 3,990着 【活用方法】高齢者疑似体験セットの購入（4体）計 193,600円</p>	<p>ボランティア活動等に対する普及啓発が図られた。また、収益の一部を令和5年の大雨災害被災者に、義援金として寄付することができた。 ・頒布着数：対前年度 Tシャツ70着増、ポロシャツ637着増</p>																																								
<p>(7) 届け!!みんなの使用済切手（使用済切手でボランティア）</p>	<p>県内の事業所や個人等から寄せられた使用済切手を換金し、今年度は支出を行わず、積み立てを行った。 [換金実績及び累計額等]</p> <table border="1" data-bbox="957 772 1284 1579"> <thead> <tr> <th></th> <th>換金額 A</th> <th>換金累計額 B</th> <th>支出額 C</th> <th>残額 D (B-C) (翌年度への繰越額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>106,000円</td> <td>106,000円</td> <td>0円</td> <td>106,000円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>46,175円</td> <td>152,175円</td> <td>0円</td> <td>152,175円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>115,090円</td> <td>267,265円</td> <td>0円</td> <td>267,265円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>93,000円</td> <td>360,265円</td> <td>0円</td> <td>360,265円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>158,000円</td> <td>518,265円</td> <td>358,100円</td> <td>160,165円</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>108,100円</td> <td>626,365円</td> <td>0円</td> <td>268,265円</td> </tr> <tr> <td>合計額</td> <td></td> <td>626,365円</td> <td>358,100円</td> <td>268,265円</td> </tr> </tbody> </table>		換金額 A	換金累計額 B	支出額 C	残額 D (B-C) (翌年度への繰越額)	令和元年度	106,000円	106,000円	0円	106,000円	令和2年度	46,175円	152,175円	0円	152,175円	令和3年度	115,090円	267,265円	0円	267,265円	令和4年度	93,000円	360,265円	0円	360,265円	令和5年度	158,000円	518,265円	358,100円	160,165円	令和6年度	108,100円	626,365円	0円	268,265円	合計額		626,365円	358,100円	268,265円	<p>使用済切手の収集がボランティア活動に繋がるのが徐々に県民に浸透しつつある。今後も「いつでもどこでもだれでも」できるボランティアとして、多くの県民への周知に努めたい。</p>
	換金額 A	換金累計額 B	支出額 C	残額 D (B-C) (翌年度への繰越額)																																						
令和元年度	106,000円	106,000円	0円	106,000円																																						
令和2年度	46,175円	152,175円	0円	152,175円																																						
令和3年度	115,090円	267,265円	0円	267,265円																																						
令和4年度	93,000円	360,265円	0円	360,265円																																						
令和5年度	158,000円	518,265円	358,100円	160,165円																																						
令和6年度	108,100円	626,365円	0円	268,265円																																						
合計額		626,365円	358,100円	268,265円																																						
<p>(5) 市町村ボランティアセンターの活動促進</p>	<p>ボランティア活動に安心して参加できるようボランティア活動保険の加入を促進するため、同保険掛金の補助を行っている市町村社協に対し助成を行った。</p>	<p>掛金補助を行うすべての市町村社協の財政支援に寄与できた。</p>																																								

2	ポランティア活動の促進	ポランティア活動の促進	ポランティアセンター
令和6年度事業計画		<p>ポランティア活動保険加入促進 助成事業（助成総額 800千円）</p> <p>事業実施概要等</p> <p>〈対象加入者数〉 12,302人（20市町村社協） 〈助成金額〉 800千円（@65,03円） 〈助成対象期間〉 令和6年4月～令和6年5月（2か月間） 〈助成条件等〉 1人あたり100円以上の助成を行う市町村社協</p>	<p>具体的な成果等</p> <p>・加入者数：対前年度602人減 ・市町村数：対前年度 ±0社協</p>
3	地域生活課題の解決に向けた仕組みづくりの推進	<p>県生活支援センターを推進し、市町村が設置する生活支援センターへの指導・助言・相談対応や高齢者の生活支援にかかる担い手の育成・研修についての支援が実施される生活支援体制整備について支援を行った。</p> <p>① 市町村が設置する生活支援センターへの指導・助言・相談 〈相談件数〉（実件数） 64件 〈相談内容〉（延べ件数） 227件 ・協議体の運営方法について 5件 ・生活支援センターの見える化、問題提起 1件 ・地域ニーズの見える化、問題提起 44件 ・地縁組織等多様な主体への協力依頼などの働きかけについて 35件 ・関係者のネットワーク化について 33件 ・目指す地域の姿・方針の共有・意識の統一について 47件 ・生活支援の担い手の養成やサービス開発について 34件 ・ニーズとサービスのマッチングについて 16件 ・その他 12件</p> <p>② 高齢者の支援にかかる担い手の育成・研修についての支援 〈研修支援回数〉 6回 〈市町村等数〉 1市1町</p> <p>③ その他、市町村が設置する生活支援センターの支援等 〈訪問支援回数〉 9回 〈市町村等数〉 3市2町</p> <hr/> <p>イ 生活支援センター 養成研修の企画 (7) 研修企画会議の開催 (年2回)</p> <p>① 第1回研修企画会議 〈期 日〉 令和6年6月4日（火） 〈形 式〉 オンライン（Zoom） 〈参加者数〉 8名 〈内 容〉 基礎編の内容検討、実践編の方向性について他</p>	<p>生活支援体制を整備すること を目的として市町村に配置され た生活支援コーディネーターの 人材育成及び資質向上を図るこ とにより、地域住民が主体的に 関わりながら地域課題を解決す る地域包括ケアシステムの構築 に資することができた。</p> <p>生活支援体制を整備すること を目的として市町村に配置され た生活支援コーディネーターの 人材育成及び資質向上を図るこ とにより、地域住民が主体的に 関わりながら地域課題を解決す る地域包括ケアシステムの構築 に資することができた。</p> <p>生活支援体制を整備すること を目的として市町村に配置され た生活支援コーディネーターの 人材育成及び資質向上を図るこ とにより、地域住民が主体的に 関わりながら地域課題を解決す る地域包括ケアシステムの構築 に資することができた。</p> <p>生活支援体制を整備すること を目的として市町村に配置され た生活支援コーディネーターの 人材育成及び資質向上を図るこ とにより、地域住民が主体的に 関わりながら地域課題を解決す る地域包括ケアシステムの構築 に資することができた。</p> <p>生活支援体制を整備すること を目的として市町村に配置され た生活支援コーディネーターの 人材育成及び資質向上を図るこ とにより、地域住民が主体的に 関わりながら地域課題を解決す る地域包括ケアシステムの構築 に資することができた。</p>

<p>(イ) 県独自カリキュラムの作成 (ウ) 生活支援コーディネーター のネットワーキング構築を目的とした情報交換会の立ち上げ支援</p>	<p>② 第2回研修企画会議 〈期 日〉 令和6年9月6日 (金) 〈形 式〉 オンライン (Zoom) 〈参加者数〉 9名 〈内 容〉 実践編の内容検討他</p>	
<p>ウ 生活支援コーディネーター養成研修の開催 (7) 基礎編の開催 (年1回) (イ) 実践編の開催 (年1回)</p>	<p>① 基礎編 〈期 日〉 令和6年8月2日 (金) 〈会 場〉 鹿児島県庁講堂 〈参加者数〉 43名 〈内 容〉 ・ 行政説明「地域包括ケアシステム構築の推進に向けて」 ・ 講義「生活支援コーディネーターの活動と協議体・地域資源について」 ・ 実践報告「生活支援コーディネーターの動き方」 ・ 意見交換「生活支援コーディネーターの活動を充実したものにするために」</p> <p>② 実践編 〈期 日〉 令和6年11月28日 (木)～11月29日 (金) 〈会 場〉 カイクス交流センター(かごしま県民交流センター) 3階大研修室第2, 4階大研修室3 〈参加者数〉 49名 〈内 容〉 ・ 特別講義1「高齢者の移動手段の確保に係る制度について」 ・ 特別講義2「生活支援体制整備事業で取り組む高齢者の移動支援について」 ・ 意見交換「研修ふりかえり」 ・ 実践報告「鹿児島市の住民主体における移動支援の取組」 ・ 意見交換「全国の実践事例紹介」 ・ 意見交換「地域の現状把握と地域づくりを考える」</p>	
<p>エ 生活支援コーディネーター養成研修並びに活動の評価 (7) 研修等評価会議の開催 (年1回)</p>	<p>生活支援コーディネーター養成研修や県生活支援体制推進コーディネーターの活動を分析評価し、今後の支援を効果的に展開することを目的とした「生活支援コーディネーター養成研修等評価会議」を開催した。 〈期 日〉 令和7年3月6日 (木) 〈形 式〉 オンライン (Zoom) 〈参加者数〉 11名</p>	

3	地域生活課題の解決に向けた仕組みづくりの推進	地域福祉部
令和6年度事業計画	事業実施概要等	具体的成果等
<p>〈内容〉</p> <p>1 生活支援コーディネーター養成研修に関する分析及び評価</p> <p>2 県生活支援体制推進コーディネーターの活動実績及び評価</p> <p>3 次年度の研修内容の検討</p> <p>(2) 地域包括支援体制人材育成事業 ア 地域支援体制人材養成研修会の開催 (7) 基礎編 福祉分野の横断的な連携を図るため、様々な分野の支援方を学ぶ研修会を開催 (1) 実践編 相談支援包括化推進員及び基礎編を受講した者を対象に実践的な支援の取組について学ぶ研修会を開催 イ 市町村間の交流・ネットワーク構築支援 (7) 重層的支援体制整備事業実施市町村等連絡会の開催 (1) 重層的支援体制整備事業実施市町村等オンラインサロンの開催</p>	<p>事業実施概要等</p> <p>〈内容〉</p> <p>1 生活支援コーディネーター養成研修に関する分析及び評価</p> <p>2 県生活支援体制推進コーディネーターの活動実績及び評価</p> <p>3 次年度の研修内容の検討</p> <p>市町村において、地域生活課題の解決に資する支援を重層的かつ包括的に提供する体制の整備が円滑に行われるよう、必要な人材を育成するとともに情報の共有並びにネットワークの構築を図った。</p> <p>ア (7) 基礎編 〈第1回〉9月17日【参加者数：73名】 講義①：スタートアップ講義「相談支援の基本的視点」 演習①：グループワーク「同上」 〈第2回〉10月18日【参加者数：63名】 講義②：「権利擁護について考える～意思決定支援とは」 講義③：「地域包括ケアシステム～地域共生社会の実現」 演習②：「支え合いマップ」を活用した地域援助 〈第3回〉11月15日【参加者数：63名】 講義④：「ライフステージにおける児童福祉と母子保健」 講義⑤：「発達障害への理解」 演習③：「複合的な困難事例検討（児童分野）」 (1) 実践編【参加者数：35名】 〈セッション1〉1月16日 基調説明：「重層的支援体制整備事業の取組」 ～地域共生社会の実現に向けて～ 意見交換：「基調説明を基にした意見交換と質疑」 〈セッションII〉 講義：「地域における包括的支援体制の構築に向けて」 意見交換：「講義を基にした意見交換と質疑」 〈セッションIII〉1月17日 実践報告：「重層的支援体制整備事業の活用」 ～東海村社協の取組～ 意見交換：「実践報告を基にした意見交換と質疑」 〈セッションIV〉 グループワーク：「我がまちの地域共生社会の実現に向けて取り組みたいこと」</p>	<p>具体的成果等</p> <p>これまで養成してきた各市町村の相談支援包括化推進員やこれらから包括的支援に関わる人材に必要な知識・技術を習得する機会を提議することができ、地域における重層的かつ包括的な支援体制の構築に資することができた。</p> <p>また、重層的支援体制の整備に関わる関係者に意見交換や情報共有を行う場を提供することができ、相互の交流やネットワークの構築が図られ、円滑な体制整備に資することができた。</p>

<p>(3) 在住外国人生活支援モデル事業</p> <p>ア 困りごと実態把握事業 (7) 在住外国人を対象とする生活における困りごと調査の実施(1回)</p> <p>(イ) 地域住民を対象とする在住外国人意識調査の実施(1回)</p> <p>イ 安心生活支援事業 (7) 地域における外国人支援に係る資源の発掘・連絡会の開催(1回)</p>	<p>イ (7) 連絡会&地域共生社会推進セミナー 2月28日【参加者数：20名】 情報交換：「重層的支援体制整備事業の取組について」 セミナー：大川市における「持続可能な権利擁護モデル事業」の取組について 意見交換：「実践報告を基にした意見交換と質疑」 (イ) オンラインサロン 11月21日, 12月23日【参加者数：23名】 意見交換：「重層的支援体制整備事業の取組状況について」</p> <p>モデル地区(1ヶ所)：錦江町</p> <p>モデル地区内の技能実習生を対象に、地域での生活等における聞き取り調査を行った。聞き取り調査を通じて、生活で困っていることや不安に思っていること、地域住民との交流頻度や交流の希望の有無、自国での地域を支える習慣等について把握することができ、事業内容を検討するツールとして活用した。</p> <p>モデル地区内における在住外国人と地域住民との関わりや、地域住民の多文化共生に対する意識について、実態を把握することを目的に、モデル地区の民生委員児童委員、主任児童委員を対象にアンケート調査を実施した。調査を通じて、日常生活における在住外国人との関わりや、交流の希望について、在住外国人が増えることについて感じること、多文化共生実現のために自分ができること等について把握することができた。</p> <p>地域における外国人支援に係る現状や課題を把握するとともに、社会資源の掘り起こしや聞き取り等を行う目的で、錦江町民生委員児童委員協議会の定例会に合わせ在住外国人生活支援モデル事業関係機関連絡会を行った。 〈期 日〉 令和7年1月20日(月) 〈会 場〉 錦江町役場 田代支所 〈参加者〉 錦江町民生委員児童委員、主任児童委員、錦江町役場担当課、錦江町社協 〈内 容〉 事業概要説明、アンケート調査結果報告、在住外国人との関わり状況等の聞き取り</p>	<p>事業実施にあたっては、錦江町をモデル地区に指定し、錦江町社協と連携して重点的に事業展開を図った。各種調査等を通じて、在住外国人の地域での生活の実態や、地域住民の多文化共生に関する意識等を把握することができ、交流事業を通じて、地域住民との交流機会の確保につながった。</p> <p>また、モデル地区内における関係機関の連携促進を図ることのできる、県域を対象にした研修会を通じて、県内の相談機関の担当者や在住外国人の生活支援に係る相談技術の向上につながった。</p>
---	---	--

3 地域生活課題の解決に向けた仕組みづくりの推進	所管部署	地域福祉部	
令和6年度事業計画		事業実施概要等	具体的成果等
(4) 在住外国人の外出支援活動の実施（1回）	令和5年度モデル地区の南さつま市において、継続的な交流につなげることを目的に、フオローアップ事業として、同市内の技能実習生を対象に、日本文化交流会を行い、地域住民との交流を図った。 〈期 日〉 令和7年2月1日(土) 〈会 場〉 南さつま市有木公民館、防災センターあんばんう21研修室 〈参加者〉 南さつま市に勤務する技能実習生 〈内 容〉 有木公民館での餅つき体験、生け花体験、折り紙体験、着付け体験		
ウ 地域つながり支援事業 (7) 社協事業等への在住外国人の参加促進	在住外国人と地域住民が関わる機会を創出し、相互の理解と社協事業への参加促進を図ることを目的に、ふれあい・いきいきサロン【第1回目】 〈期 日〉 令和6年11月25日(月) 〈会 場〉 錦江町北町公民館 〈内 容〉 在住外国人と技能実習生の交流会（歌、干し柿作り等の交流） 〈協 力〉 錦江町政策企画課、京町サロン	【第2回目】 〈期 日〉 令和7年3月10日(月) 〈会 場〉 錦江町総合交流センター 和室 〈内 容〉 地域住民と技能実習生の交流会（会話、歌、着付け、お茶等の交流） 〈協 力〉 錦江町政策企画課、京町サロン、着付け及び茶道講師	
(4) 地域住民との異文化交流会の実施（1回）	サロン交流会やフオローアップ事業の際に、着物の着付けやお茶やお花、餅つきや干し柿作り体験等を実施し、日本文化を体験しながら、地域住民との交流を図った。		
エ 全県対象事業 (7) 在住外国人支援に関するセミナー等の開催（1回）	外国人からの相談を受ける県内の関係機関や団体の担当者等が、在住外国人の生活支援について学ぶとともに、関係機関の支援体制ネットワークの構築を図ることを目的に、在住外国人生活支援研修会を開催した。また、県が実施する多文化共生社会推進会議への		

<p>(4) 買物弱者支援相談事業</p> <p>ア 県民・事業者等に対する相談窓口の設置</p> <p>イ 市町村・市町村社協が設置する相談窓口の支援</p> <p>ウ 関係機関・団体等との連絡調整</p> <p>エ 相対対応に関するデータの蓄積</p>	<p>出席や県外のNPO法人との意見交換等を通じて、当事業の周知広報を図るとともに、関係機関・団体とのネットワークの構築につなげることをできた。</p> <p>【在住外国人生活支援研修会】 〈期〉令和7年2月19日(水) 〈方〉ZOOMによるオンライン形式 〈参加者〉市町村、市町村社協、民生委員児童委員、国際交流関係団体等 79人 事業説明「在住外国人生活支援モデル事業について」 講義「多文化共生の地域づくりに向けた取組」 (講師) 武庫川女子大学 社会福祉学科 教授 吉富志津代 氏</p> <p>実践報告①「多文化共生の実現に向けた鹿児島県の取組」 (報告者) 鹿児島県 男女共同参画局くらし共生協働課 実践報告②「出水市における多文化共生の取組」 (報告者) 出水市 多文化共生推進室</p>	<p>県域の相談窓口を設置し、市町村・市町村社協と連携を図る体制を整えることにより、買物弱者が抱える困りごとの解消が促進され、県民が抱える困りごとの解消を図ることができた。</p>
<p>4 すこやか長寿社会運動の推進</p> <p>(1) 広報媒体による意識啓発</p> <p>ア ポスター・チラシの作成及び配布 部数 ポスター：300枚程度 チラシ：10,000枚程度</p>	<p>県民が抱える買物の困りごとの解消を図ることを目的に、県民及び事業者等から寄せられる買物の困りごとに対応するための相談窓口を地域福祉部内に設置し、担当職員3名を配置した。</p> <p>全ての市町村・市町村社協に設置された相談窓口に対し、県主催の事業説明会等について案内するなど支援を行った。</p> <p>県主催の事例紹介セミナー等について関係機関・団体等との連絡調整を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談概要を報告様式に整理の上、県担当課に報告し、情報共有した。 ・ 相談概要について、四半期ごとに該当する各地域振興局・市町村・市町村社協に情報提供した。(相談件数14件) ・ 寄せられた相談に対し、該当する補助制度を確認するなどし、情報提供を行った。 	<p>広報紙等の啓発活動により、定期的・継続的な情報提供ができた。</p>
<p>所管部署</p> <p>長寿社会推進部</p>	<p>所管部署</p> <p>長寿社会推進部</p>	<p>所管部署</p> <p>長寿社会推進部</p>

4 すこやか長寿社会運動の推進	所管部署	長寿社会推進部
<p>令和6年度事業計画</p> <p>イ 広報紙「ふくしのひろば」による広報(発行部数:13,700部×4回)</p> <p>ウ ホームページによる広報</p> <p>エ 「老人の日・老人週間」の周知広報</p> <p>オ 「高齢者元気・ふれあい推進月間」の周知広報</p>	<p>事業実施概要等</p> <p>② 県社協広報紙「ふくしのひろば」による広報(13,700部×4回 4月,7月,10月,1月)</p> <p>③ ホームページ・Facebookによる広報</p> <p>④ 「老人の日・老人週間」[9月15日/9月15~21日]の周知広報</p> <p>⑤ 「高齢者元気・ふれあい推進月間」[9・10月]の周知広報のぼり旗の掲揚,チラシ配布</p>	<p>具体的成果等</p>
<p>(2) シルバー文化作品展の開催</p> <p>ア 展示期間 令和6年9月11日(水)~15日(日)</p> <p>※搬入日 9月6日(金)</p> <p>関連イベント</p> <p>・ギャラリートーク 9月15日(日)</p> <p>日本画,洋画,書,工芸,写真,彫刻</p> <p>・表彰式 9月15日(日)</p> <p>会場 県歴史・美術センター黎明館</p> <p>対象部門 日本画,洋画,書,工芸,写真,彫刻の6部門</p> <p>対象者 県内在住の60歳以上の者</p> <p>出品料 1,000円</p> <p>その他 入賞作品の展示施設等での入賞作品の展示</p>	<p>高齢者の趣味活動や文化創作意欲を高めるとともに,広く県民に高齢者の文化作品の鑑賞機会を提供した。</p> <p>〈部門〉 日本画,洋画,書,工芸,写真,彫刻</p> <p>〈会場〉 県歴史・美術センター黎明館</p> <p>〈会期〉 令和6年9月11日(水)~15日(日)</p> <p>〈出品数〉 日本画28点,洋画51点,書39点,工芸31点,写真30点,彫刻7点 計 186点</p> <p>〈入場者数〉 2,887人</p> <p>〈表彰〉 (55点)</p> <p>県知事賞 1点(工芸)</p> <p>特別賞(寺園勝志賞) 1点(写真)</p> <p>県社会福祉協議会会長賞 6点(各部門1点)</p> <p>審査委員長賞 3点 { 日本画1点,洋画1点,工芸1点</p> <p>金賞 13点 { 日本画2点,洋画3点,書3点,工芸2点,写真2点,彫刻1点</p> <p>銀賞 10点 { 日本画1点,洋画3点,書2点,工芸2点,写真2点</p> <p>銅賞 9点 { 日本画1点,洋画4点,書2点,工芸1点,写真1点</p> <p>奨励賞 7点 { 日本画1点,洋画2点,書2点,工芸1点,写真1点</p> <p>生き生き賞 5点 { 日本画1点,洋画1点,書1点,工芸1点,写真1点</p>	<p>※参考</p> <p>R5年度出品数 218点</p> <p>対前回比 85.3%</p> <p>R5年度入場者数 1,643人</p> <p>対前回比 175.7%</p>
<p>〈ギャラリートーク〉</p> <p>来場者に対し,各部門の審査委員による作品の解説を行った。</p> <p>①日本画・洋画・書部門 9月15日(日) 10:00~10:50</p>		

<p>(3) いきいきシルバースポーツ大会の実施 ア 実施カ所 県下7地区 イ 実施方法 県老人クラブ連合会に委託</p>	<p>② 工芸・写真・彫刻部門 9月15日(日) 11:00～11:50 (入賞作品の貸出) 作品展の入賞者に対し、福祉施設等への展示依頼を行い、施設等の入所者等に作品鑑賞機会を提供した。(貸出…13点, 10カ所) 高齢者の心身の健康と生きがいの助長を図るとともに、高齢者する地域住民の理解と関心を高めるため、県老人クラブ連合会にの実施を委託してシルバースポーツ大会を実施した。 〈開催時期〉 令和6年6月～令和6年12月 〈開催場所〉 県下7地区 (鹿児島, 南薩, 北薩, 始良・伊佐, 大隅, 熊毛, 大島) 〈参加者数〉 6,886人</p>	<p>高齢者の健康づくりに資することができた。 R5年度参加者数 7,817人 対前年度 88.0%</p>																																																																																										
<p>(4) 全国健康福祉祭派遣事業 ア 派遣期間 令和6年10月18日(金)～10月22日(火) イ 派遣地 鳥取県内(4市14町1村) ウ 派遣人員 174人(予定)</p>	<p>高齢者の健康と福祉に関する総合的な普及啓発イベントである「第36回全国健康福祉祭とっとり大会(ねんりんピックはばだけ鳥取2024)」に選手を派遣した。 〈主催〉 厚生労働省, 鳥取県, (一財)長寿社会開発センター 〈会期〉 令和6年10月19日(土)～22日(火) 〈開催地〉 鳥取県内4市14町1村 〈参加イベント〉 総合開会式・総合閉会式・スポーツ交流大会, ふれあいスポーツ交流大会, 文化交流大会, 美術展 〈参加競技種目と派遣選手〉 派遣人員: 監督・選手152人(24種目25チーム) 役員8人</p>	<p>24種目(25チーム)に監督・選手152人及び役員8人を派遣した。 各競技で優秀な成績を収めるとともに, 他県選手や地元の方々と親睦を深めることができ, すこやかで心豊かな長寿社会の形成に大いに寄与することができた。</p>																																																																																										
<p>スポーツ交流大会</p>																																																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>チーム数</th> <th>選手数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>卓球</td><td>1</td><td>7</td></tr> <tr><td>テニス</td><td>1</td><td>8</td></tr> <tr><td>ソフトニス</td><td>1</td><td>8</td></tr> <tr><td>ソフトボール</td><td>1</td><td>15</td></tr> <tr><td>ゲートボール</td><td>1</td><td>11</td></tr> <tr><td>ペタンク</td><td>1</td><td>4</td></tr> <tr><td>ゴルフ</td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>マラソン</td><td>1</td><td>6</td></tr> <tr><td>弓道</td><td>1</td><td>7</td></tr> <tr><td>剣道</td><td>1</td><td>6</td></tr> <tr><td>計(10)</td><td>11</td><td>75</td></tr> </tbody> </table>	種目	チーム数	選手数	卓球	1	7	テニス	1	8	ソフトニス	1	8	ソフトボール	1	15	ゲートボール	1	11	ペタンク	1	4	ゴルフ	1	3	マラソン	1	6	弓道	1	7	剣道	1	6	計(10)	11	75	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>チーム数</th> <th>選手数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>水泳</td><td>1</td><td>7</td></tr> <tr><td>ゲラント・ゴルフ</td><td>1</td><td>6</td></tr> <tr><td>ボウリング</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>サッカー</td><td>1</td><td>17</td></tr> <tr><td>ソフトバレーボール</td><td>1</td><td>6</td></tr> <tr><td>ウォークラリー</td><td>1</td><td>5</td></tr> <tr><td>太極拳</td><td>1</td><td>8</td></tr> <tr><td>ターゲット・バード・ゴルフ</td><td>1</td><td>4</td></tr> <tr><td>ダンススポーツ</td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>計(9)</td><td>9</td><td>63</td></tr> </tbody> </table>	種目	チーム数	選手数	水泳	1	7	ゲラント・ゴルフ	1	6	ボウリング	1	2	サッカー	1	17	ソフトバレーボール	1	6	ウォークラリー	1	5	太極拳	1	8	ターゲット・バード・ゴルフ	1	4	ダンススポーツ	1	3	計(9)	9	63	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>チーム数</th> <th>選手数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>囲碁</td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>将棋</td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>民謡</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>健康マージャン</td><td>1</td><td>4</td></tr> <tr><td>eスポーツ</td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>計(5)</td><td>5</td><td>14</td></tr> </tbody> </table>	種目	チーム数	選手数	囲碁	1	3	将棋	1	3	民謡	1	1	健康マージャン	1	4	eスポーツ	1	3	計(5)	5	14
種目	チーム数	選手数																																																																																										
卓球	1	7																																																																																										
テニス	1	8																																																																																										
ソフトニス	1	8																																																																																										
ソフトボール	1	15																																																																																										
ゲートボール	1	11																																																																																										
ペタンク	1	4																																																																																										
ゴルフ	1	3																																																																																										
マラソン	1	6																																																																																										
弓道	1	7																																																																																										
剣道	1	6																																																																																										
計(10)	11	75																																																																																										
種目	チーム数	選手数																																																																																										
水泳	1	7																																																																																										
ゲラント・ゴルフ	1	6																																																																																										
ボウリング	1	2																																																																																										
サッカー	1	17																																																																																										
ソフトバレーボール	1	6																																																																																										
ウォークラリー	1	5																																																																																										
太極拳	1	8																																																																																										
ターゲット・バード・ゴルフ	1	4																																																																																										
ダンススポーツ	1	3																																																																																										
計(9)	9	63																																																																																										
種目	チーム数	選手数																																																																																										
囲碁	1	3																																																																																										
将棋	1	3																																																																																										
民謡	1	1																																																																																										
健康マージャン	1	4																																																																																										
eスポーツ	1	3																																																																																										
計(5)	5	14																																																																																										
<p>文化交流大会</p>																																																																																												

4	すこやか長寿社会運動の推進	所管部署	長寿社会推進部																					
令和6年度事業計画		事業実施概要等																						
<p>〈美術展への出品〉 令和5年度シルバニア文化作品展の上位入賞者の作品をねんりんピックはばたけ鳥取2024美術展に出展した。</p> <p>・会場 境港市民交流センター, 倉吉博物館 ・出品数 12点 (日本画・洋画・書・工芸・写真・彫刻の部 各2点) ・期間 10月19日(土)~22日(火)</p> <p>〈主な成績〉 ・交流大会</p> <table border="1" data-bbox="555 589 722 1525"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>団体戦</th> <th>個人戦</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>優勝</td> <td>1チーム (弓道)</td> <td>1人 (水泳)</td> </tr> <tr> <td>準優勝</td> <td>2チーム (水泳, サッカー)</td> <td>1人 (水泳)</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>1チーム (卓球)</td> <td>2人 (水泳, 将棋)</td> </tr> <tr> <td>審査員特別賞</td> <td>—</td> <td>1人 (民謡)</td> </tr> </tbody> </table> <p>・美術展</p> <table border="1" data-bbox="775 864 842 1525"> <thead> <tr> <th>賞</th> <th>部門</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>銅賞</td> <td>書の部</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>		区分	団体戦	個人戦	優勝	1チーム (弓道)	1人 (水泳)	準優勝	2チーム (水泳, サッカー)	1人 (水泳)	3位	1チーム (卓球)	2人 (水泳, 将棋)	審査員特別賞	—	1人 (民謡)	賞	部門	人数	銅賞	書の部	1人	<p>市町村等職員はシニア人材の育成・活用に必要スキルが得られ、地域活動に意欲のある高齢者については、必要な知識を習得し、地域の実情に応じた活動の実践につなげることができた。</p>	
区分	団体戦	個人戦																						
優勝	1チーム (弓道)	1人 (水泳)																						
準優勝	2チーム (水泳, サッカー)	1人 (水泳)																						
3位	1チーム (卓球)	2人 (水泳, 将棋)																						
審査員特別賞	—	1人 (民謡)																						
賞	部門	人数																						
銅賞	書の部	1人																						
<p>(5) かごしまシニア人材育成促進事業 ア 研修等の運営</p> <table border="1" data-bbox="1007 1619 1222 2078"> <thead> <tr> <th rowspan="2">開催地域</th> <th colspan="2">開催予定月 (予定)</th> <th rowspan="2">会場予定地</th> </tr> <tr> <th>本研修 [2日間]</th> <th>7月~7月 研修 [1日]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鹿児島</td> <td>7月上旬</td> <td>11月中旬</td> <td>鹿児島市</td> </tr> <tr> <td>南薩</td> <td>7月下旬</td> <td>11月下旬</td> <td>南九州市</td> </tr> <tr> <td>熊毛</td> <td>8月上旬</td> <td>12月上旬</td> <td>西之表市</td> </tr> </tbody> </table> <p>ア 人材育成研修の実施 (7) 特別講義「高齢者の移動手段」(対象者：開催地域の市町村等職員)</p> <p>(4) 本研修 ①人材育成基礎研修 (対象者：開催地域の市町村等職員) ②人材育成講座 (対象者：開催地域の高齢者, 市町村等職員) ③人材育成実践研修 (対象者：同上)</p> <p>(7) フォローアップ研修 (対象者：同上)</p>		開催地域	開催予定月 (予定)		会場予定地	本研修 [2日間]	7月~7月 研修 [1日]	鹿児島	7月上旬	11月中旬	鹿児島市	南薩	7月下旬	11月下旬	南九州市	熊毛	8月上旬	12月上旬	西之表市	<p>地域活動に意欲のある高齢者の社会参加の促進を図るため、市町村・市町村社会福祉協議会 (以下「市町村等」) が行う、高齢者の人材育成等を支援した。</p>				
開催地域	開催予定月 (予定)		会場予定地																					
	本研修 [2日間]	7月~7月 研修 [1日]																						
鹿児島	7月上旬	11月中旬	鹿児島市																					
南薩	7月下旬	11月下旬	南九州市																					
熊毛	8月上旬	12月上旬	西之表市																					

〈開催地域・日程・参加者数〉		本 研 修			7ホロ-アップ 研修	
実施内容・参加者数		特別講義・人材育成基礎研修	人材育成講座	人材育成実践研修		
開催地域・日程		市町村等：14人	市町村等：14人 高齢者：14人 計：28人	市町村等：14人 高齢者：14人 計：28人	市町村等：12人 高齢者：12人 計：24人	
【南薩地域】 本研修：7月11日(木)～12日(金) 7ホロ-アップ研修：11月14日(木)		市町村等：14人	市町村等：14人 高齢者：14人 計：28人	市町村等：14人 高齢者：14人 計：28人	市町村等：12人 高齢者：12人 計：24人	
【熊毛地域（種子島・屋久島）】 本研修：7月25日(木)～26日(金) 7ホロ-アップ研修：11月26日(火)		市町村等：30人	市町村等：18人 高齢者：26人 計：44人	市町村等：18人 高齢者：26人 計：44人	市町村等：19人 高齢者：18人 計：37人	
【鹿児島地域】 本研修：8月8日(木)～9日(金) 7ホロ-アップ研修：12月11日(水)		市町村等：12人	市町村等：11人 高齢者：4人 計：15人	市町村等：11人 高齢者：4人 計：15人	市町村等：12人 高齢者：5人 計：17人	
イ 事例集の作成・配布 (7) 市町村等による取組事例集 (4) シニア世代の活動好事例集 ・作成数 各500部程度 ・配布先 市町村, 市町村社協, 県関係先など		イ 事例集の作成・配布 (7) 内容・配布数 ①市町村等による取組事例集 570部 ②シニア世代の活動好事例集 575部 (4) 配布先 市町村, 市町村社協, 県関係先				合計：221人
I-2 福祉サービス利用者の自立支援						
1	福祉サービス利用者の自立支援	福祉サービス利用者への支援			生活支援部 福祉サービス利用支援室	
(1)	福祉サービス利用支援事業 ア 基幹的社協としての相談・支援業務の実施 【所管:鹿児島市・三島村・十島村】	福祉サービス利用支援事業を実施する基幹的社協（市町村社協）の円滑な事業運営を支援するための相談助言や情報提供等を行うとともに、鹿児島市において、福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理等の利用者支援を行った。県内における本事業の契約件数は、次のとおりとなっている。			本事業の契約により、認知症や精神障害等で日常生活に支障のある方々が、住み慣れた地域で自立した生活が送れることの一助となった。	

1	福祉サービスの利用者への支援		所管部署		生活支援部 福祉サービス利用支援室				
	令和6年度事業計画				具体的成果等				
イ 市町村社協の支援（40か所）									
事業実施概要等									
・実利用者数：対前年度△54人									
〔契約締結件数及び契約終了件数（単位：人）〕									
基幹的社協名	契約締結件数		契約終了件数		実利用者数	基幹的社協名	契約終了件数		実利用者数
	6年度	累計	6年度	累計			6年度	累計	
①県社協（鹿児島市分）	34	592	30	495	97	②③大崎町社協	4	18	4
②鹿屋市社協	13	441	18	382	59	④⑤東串良町社協	0	19	1
③枕崎市社協	0	36	0	31	5	⑥⑦錦江町社協	6	45	3
④阿久根市社協	1	232	8	191	41	⑧⑨南大隅町社協	4	43	6
⑤出水市社協	1	197	10	141	56	⑩⑪肝付町社協	3	107	6
⑥指宿市社協	3	52	3	37	15	⑫⑬中種子町社協	0	20	0
⑦西之表市社協	7	89	6	53	36	⑭⑮南種子町社協	2	32	3
⑧垂水市社協	2	72	5	55	17	⑯⑰屋久島町社協	1	37	0
⑨薩摩川内市社協	14	534	23	448	86	⑱⑲大和村社協	2	13	0
⑩日置市社協	7	158	12	121	37	⑳㉑宇検村社協	0	19	1
⑪曾於市社協	12	203	13	150	53	㉒⑳⑳瀬戸内町社協	2	57	4
⑫霧島市社協	6	462	17	394	68	㉓㉔龍郷町社協	4	57	2
⑬いちき串木野市社協	4	70	6	53	17	㉕㉖喜界町社協	14	143	7
⑭南さつま市社協	4	315	4	279	36	㉗㉘徳之島町社協	2	90	6
⑮志布志市社協	13	219	16	157	62	㉙㉚天城町社協	1	45	3
⑯奄美市社協	2	315	11	271	44	㉛㉜伊仙町社協	2	35	2
⑰南九州市社協	2	121	6	102	19	㉝㉞和泊町社協	5	140	7
⑱伊佐市社協	14	62	6	34	28	㉟㊱知名町社協	1	46	3
⑲始良市社協	27	270	13	185	85	㊲㊳与論町社協	7	34	5
⑳さつま町社協	8	156	12	111	45				
㉑長島町社協	0	14	0	6	8	合計	236	5,688	290
㉒湧水町社協	2	78	8	55	23	※実利用者数＝契約締結件数（累計）－契約終了件数（累計）			
									4,496
									1,192

<p>ウ 契約締結審査会の開催 (12回)</p>	<p>福祉サービス利用支援事業の契約及び解約をすに当たり、利用希望者並びに解約希望者の判断能力等に疑義がある場合等、専門的見地から審査を行った。</p>	<p>6人の構成委員による審査や助言等により、本事業の契約締結等が適切に行われた。</p>																												
<p>エ 専門員会議の開催 (2回)</p>	<p>相談から契約の締結に至るまでの業務を担う専門員の資質向上を図るための会議及び講演等を行った。</p> <p>【第1回】 〈開催日〉 令和6年9月1日(金) 〈会場等〉 県社会福祉センター別館会議室 (会場参加型開催) 〈内容〉 ア 福祉サービス利用支援事業の実施状況及び実地業務調査等について イ 福祉サービス利用支援事業に係る事務処理について ウ 成年後見制度の利用促進について エ 講演 「利用者の権利を尊重した支援のあり方」 〈参加者〉 43人</p> <p>【第2回】 〈開催日〉 令和7年2月20日(木) 〈会場等〉 県社会福祉センター別館会議室 (会場参加型) 〈内容〉 ア 福祉サービス利用支援事業の実施状況及び実地業務調査結果等について イ 福祉サービス利用支援事業に係る事務処理について 〈参加者〉 31人</p>	<p>本事業の担い手である専門員に必要とされる知識や技術の習得により、今後の利用者支援への一助となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数：対前年度+6人 																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>開催日</th> <th>内 容</th> <th>出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>令和6年5月21日(火)</td> <td>審査案件(2件), 契約状況及び終了報告</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>令和6年7月16日(火)</td> <td>審査案件(2件), 契約状況及び終了報告</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>令和6年9月17日(火)</td> <td>審査案件(2件), 契約状況及び終了報告</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>令和6年11月19日(火)</td> <td>審査案件(4件), 契約状況及び終了報告</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>令和7年1月21日(火)</td> <td>審査案件(2件), 契約状況及び終了報告</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>第6回</td> <td>令和7年3月18日(火)</td> <td>審査案件(4件), 契約状況及び終了報告</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(構成委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弁護士 1人 ・司法書士 1人 ・精神科医 1人 ・社会福祉士 1人 ・精神保健福祉士 1人 ・社会福祉士 1人 ・学識経験者 1人 <p>計6人</p>			回	開催日	内 容	出席者	第1回	令和6年5月21日(火)	審査案件(2件), 契約状況及び終了報告	6人	第2回	令和6年7月16日(火)	審査案件(2件), 契約状況及び終了報告	6人	第3回	令和6年9月17日(火)	審査案件(2件), 契約状況及び終了報告	5人	第4回	令和6年11月19日(火)	審査案件(4件), 契約状況及び終了報告	5人	第5回	令和7年1月21日(火)	審査案件(2件), 契約状況及び終了報告	6人	第6回	令和7年3月18日(火)	審査案件(4件), 契約状況及び終了報告	5人
回	開催日	内 容	出席者																											
第1回	令和6年5月21日(火)	審査案件(2件), 契約状況及び終了報告	6人																											
第2回	令和6年7月16日(火)	審査案件(2件), 契約状況及び終了報告	6人																											
第3回	令和6年9月17日(火)	審査案件(2件), 契約状況及び終了報告	5人																											
第4回	令和6年11月19日(火)	審査案件(4件), 契約状況及び終了報告	5人																											
第5回	令和7年1月21日(火)	審査案件(2件), 契約状況及び終了報告	6人																											
第6回	令和7年3月18日(火)	審査案件(4件), 契約状況及び終了報告	5人																											
<p>・参加者数：対前年度△11人</p>																														

1	福祉サービスの利用者への支援	所管部署	生活支援部 福祉サービス利用支援室
令和6年度事業計画		具体的成果等	
才 専門員セミナーの開催 (1回)	地域での暮らしを支える意思決定支援と権利擁護の積極的推進を担う専門員の資質向上等に資するためのセミナーを開催した。 〈開催日〉 令和7年2月20日(木) 〈会場等〉 県社会福祉センター別館会議室(会場参加型開催) 〈内容〉 ア 成年後見制度の利用促進について イ 講演 「高齢者の生活を支えるチームアプローチについて」 〈参加者〉 31人	福祉サービス利用支援事業を担当する専門員等の資質向上を図られ、適正な事業運営への理解が深められた。 ・参加者数：対前年度△11人	
力 利用支援員研修会の開催 (5地区)	専門員の指示を受けて、具体的な支援を提供するとともに、利用者の生活状況の把握や利用料の徴収、支援実施記録票の作成等の業務を担う利用支援員を対象に、支援員の役割や支援の実務についての研修を実施した。 〈開催日・会場・参加者〉 令和6年11月13日(水) 鹿児島・南薩・熊毛会場 5人 令和6年11月15日(金) 始良・伊佐会場 24人 令和6年11月26日(火) 大島会場 16人 令和6年12月6日(金) 曾於・肝属会場 20人 令和6年12月16日(月) 川薩・出水会場 34人 計99人 〈内容〉 ア 福祉サービス利用支援事業の現状等について イ 福祉サービス利用支援事業における支援員の役割等について ウ 講演 「利用者の人権を尊重した支援のあり方」	実際の支援を行う利用支援員の実務や役割等の理解を深め、利用者支援に必要な知識を深めることができた。 ・参加者数：対前年度+7人	
キ 実地等業務調査の実施 (40か所)	本事業は、利用者及び社会からの信頼の上に成り立つ事業であることから、40か所の基幹的社協について、管理体制や取り組み状況及びび預かり書類の確認等を行った。 [実施状況] 〈実地調査及び書類調査〉	基幹的社協の実態を把握し、指導・助言を行うことにより適正な事業実施の推進が図られた。	

基幹的社協名	実施日	基幹的社協名	実施日
① 枕崎市社協	令和6年10月2日(水)	⑪ 錦江町社協	令和6年8月22日(木)
② 南九州市社協	令和6年10月2日(水)	⑫ 肝付町社協	令和6年9月3日(火)
③ 日置市社協	令和6年11月7日(木)	⑬ 屋久島町社協	令和6年11月14日(木)
④ いちき串木野市社協	令和6年10月9日(水)	⑭ 奄美市社協	令和6年12月11日(水)
⑤ さつま町社協	令和6年9月11日(水)	⑮ 大和村社協	令和6年12月10日(火)
⑥ 長島町社協	令和6年9月18日(水)	⑯ 宇検村社協	令和6年11月27日(水)
⑦ 伊佐市社協	令和6年10月28日(月)	⑰ 龍郷町社協	令和6年12月10日(火)
⑧ 大崎町社協	令和6年10月16日(水)	⑱ 和泊町社協	令和6年12月2日(月)
⑨ 垂水市社協	令和6年11月11日(月)	⑲ 知名町社協	令和6年12月2日(月)
⑩ 鹿屋市社協	令和6年9月25日(水)	⑳ 与論町社協	令和6年10月23日(水)
〈書類調査〉			
基幹的社協名			
① 指宿市社協	⑧ 湧水町社協	⑮ 南種子町社協	
② 南さつま市社協	⑨ 曾於市社協	⑯ 瀬戸内町社協	
③ 薩摩川内市社協	⑩ 志布志市社協	⑰ 喜界町社協	
④ 阿久根市社協	⑪ 東串良町社協	⑱ 徳之島町社協	
⑤ 出水市社協	⑫ 南大隅町社協	⑲ 天城町社協	
⑥ 霧島市社協	⑬ 西之表市社協	⑳ 伊仙町社協	
⑦ 始良市社協	⑭ 中種子町社協		
<p>ク 関係機関・団体との連携</p> <p>① 鹿児島県地域生活定着支援センター関係機関連絡会議 (開催日) 令和6年7月1日(月) (参加機関・団体) 県保護司会連合会, 県更生保護女性連盟, 更生保護法 人草牟田寮, 県知的障害者福祉協会, 県老人福祉施設 協議会, 県民生委員児童委員協議会, 県社会福祉協議 会, 県社会福祉士会, 県手をつなぐ育成会, 県精神保</p>			
<p>県及び関係機関等が主催する 会議等へ出席し, 関係者との意 見交換を行い本事業についての 理解が得られ, 事業を推進する ための関係機関等とのネットワ ーク構築が図られた。</p>			

1	福祉サービスの利用者への支援	生活支援部 福祉サービス利用支援室
令和6年度事業計画		所管部署
事業実施概要等		具体的成果等
	<p>健福祉会連合会、鹿児島障害者職業センター、鹿児島労働局職業安定部職業対策課、鹿児島保健観察所、鹿児島刑務所、鹿児島少年鑑別所、県精神保健福祉センター、県子ども総合療育センター、鹿児島知的障害者更生相談所、かごしま子ども若者総合相談センター、県社会福祉課、県高齢者生き生き推進課、県障害福祉課、県青少年男女共同参画課、鹿児島地方検察庁、県弁護士会、県地域生活定着支援センター</p> <p>ア 令和5年度鹿児島地域生活定着支援センター事業報告</p> <p>イ 報告「草牟田寮における退寮生へのフォローアップ支援について」</p> <p>② 鹿児島市成年後見制度推進協議会 〈開催日〉令和6年6月27日(木) 令和7年3月18日(火) 〈参加機関・団体〉</p> <p>県社会福祉士会、県弁護士会、成年後見センター・リールサポート鹿儿島支部、南九州税理士会鹿児島県連合会、コスモス成人社会福祉協議会、県社会福祉協議会、市社会福祉協議会、基幹相談支援センター、特定非営利活動法人介護支援専門員協会鹿児島県支部、県医師会、市協議会、市知的障害施設連絡協議会、市老人福祉施設協議会、市民生委員児童委員協議会、公益社団法人認知症の人と家族の会鹿児島支部、市をつなぐ育成会、市精神保健福祉会連絡協議会、県銀行協会、市健康福祉局こやか長寿部、市健康福祉局福祉部</p> <p>ア 令和5年度鹿児島市成年後見センター業務報告について</p> <p>イ 令和6年度鹿児島市成年後見センター業務計画について</p> <p>ウ 市成年後見制度利用促進計画に基づく今後のスケジュール(案)</p>	

<p>ケ 広報・啓発活動の推進</p>	<p>令和6年度受任者調整会議の実施状況 市民後見人養成への取組について 後見センターで受けた相談から事例検討 等</p> <p>① 県内各種関係機関団体研修会等での広報・啓発活動 ア 被保護世帯法律問題研修 〈開催日〉令和6年7月9日(木) 〈会場〉県社会福祉センター 〈参加者〉県・市ケースワーカー等 41人 〈内容〉福祉サービス利用支援事業について</p> <p>② リーフレットの配布 市町村社協や行政等の関係機関に配布して、事業の広報に努めた。</p> <p>③ 本会広報紙「ふくしのひろるば」への情報掲載等 事業内容や連絡先等を広報紙に掲載し、県内の各機関団体等に配布したほか、ホームページ等を通じて本事業の広報に努めた。</p>	<p>事業の説明や広報紙等の配布を行うことにより、本事業への理解及び協力体制が深められた。</p>
<p>2 福祉サービスの苦情解決の推進</p> <p>(1) 福祉サービス苦情解決事業 ア 福祉サービス運営適正化委員会の運営 (ア) 運営適正化委員会の開催(3回) (イ) 福祉サービス利用支援事業運営監視委員会の開催(4回)及び基幹的社協現地訪問調査の実施(1か所) (ウ) 福祉サービスに関する苦情解決委員会の開催(6回) (エ) 運営適正化委員会委員を選任する選考委員会の開催(1回：10月) (オ) 九州ブロック運営適正化委員会事務局連絡会議への参加(1回：大分県)</p>	<p>県社協に第三者機関として設置されている「福祉サービス運営適正化委員会」を運営し、福祉サービス利用支援事業の適正な運営を確保するとともに、福祉サービスに関する利用者等からの苦情の適切な解決に努めた。 また、多様化する苦情等の解決に向けた取組や情報共有等を図るため、九州ブロックの運営適正化委員会事務局連絡会議のほか、全社協主催の研修会等にオンライン等で参加した。</p> <p>① 運営適正化委員会 3回 ② 運営監視委員会 4回 ③ 運営監視委員会による福祉サービス利用支援事業 1か所 ④ 基幹的社協現地訪問調査 6回 ⑤ 苦情解決委員会 1回 ⑥ 運営適正化委員会委員を選考する選考委員会 1回 ⑦ 九州ブロック運営適正化委員会事務局連絡会議 1回 ⑧ 運営適正化委員会事業研究協議会及び相談員研修会 2回 ⑨ 厚生労働省意見交換会（福祉サービスの質の向上のための調査研究事業） 1回</p>	<p>定期的な委員会開催により、福祉サービス利用支援事業の適正な運営が確保されるとともに、利用者等からの苦情に対して速やかに対応がなされた。 また、九州ブロックの運営適正化委員会事務局連絡会議のほか、全社協主催の研修会等にオンライン等により参加し、苦情案件の対応や事業所における苦情解決体制整備などについて情報交換の機会を得ることができた。</p>
<p>所管部署</p> <p>生活支援部</p>		

2	福祉サービス苦情解決の推進	所管部署	生活支援部
	令和6年度事業計画	具体的成果等	
イ	相談・苦情の受付	福祉サービス利用者等からの苦情の受付 [内訳] ① 申出人：利用者42件、家族45件、職員2件、その他6件 ② 対象種別：高齢者18件、障害者42件、児童24件、その他11件 ③ 解決結果：相談助言69件、紹介伝達15件、あっせん0件、 県への通知0件、その他8件、継続中0件、不調3件 その他問い合わせ・相談の受付 43件	受け付けた苦情については、 助言や適切な機関等への伝達を 図ること、利用者等の福祉サ ービス利用につながった。 ・ 苦情の受付件数 対前年度－12件 ・ その他問い合わせ件数 対前年度＋10件
ウ	広報・啓発活動の実施 (7) 広報紙「ふくしのひろば」、 ホームページへの掲載 (4) ポスター・リーフレットの 配布	① 広報紙「ふくしのひろば」への掲載(1回) ② 本会ホームページによる広報啓発 ③ ポスター、リーフレットの配布 ポスター配布数：484部、リーフレット配布数：1,563部	ホームページに調査結果や関 係資料等を掲載するなど内容の 充実を図り、福祉関係者及び一 般県民へのより一層の制度周知 につながった。
エ	研修会の実施 福祉サービスに関する相談 ・ 苦情解決事業研修会 (1回：9月頃)	令和6年度福祉サービスに関する相談・苦情解決事業研修会の開 催 (開催日) 令和6年10月4日(金) (開催方法) オンライン (Zoom) 開催 (参加者) 苦情受付担当者・苦情解決責任者・第三者委員 284人 (内容) 説明：「運営適正化委員会の取り組み状況について」 鹿児島県福祉サービス運営適正化委員会事務局長 講義・演習：「福祉現場に求められる相談援助の実務」 WELL WAVE 代表 溝部 一夫 氏	事業者に必要な苦情解決の取 組の基本や苦情解決に必要な基 本的対応等を学んだことで、各 事業所における苦情対応への参 考となり、苦情受付担当者・解 決責任者・第三者委員の役割と 対応について、なお一層の理解 が深まった。
オ	事業所への巡回訪問の実施 (随時)	社会福祉事業の事業者段階における自主的な苦情解決が適切に行 われるよう、県内の各事業所を訪問して苦情解決体制の整備状況を 把握するとともに、体制整備に関する相談・助言に応じ、福祉サー ビスの質の向上につながることを目指せる苦情解決体制の構築に向け て、県内4事業所への巡回訪問を実施した。 (巡回内訳)	巡回訪問を行った結果、それ ぞれの体制整備状況を把握でき、 かつ第三者委員等の体制整備が 図られていない事業所について、 体制整備の構築につながった。

<p>力 調査研究活動の実施 福祉サービス相談・苦情解 決体制整備状況調査</p>	<p>高齢分野事業所：1か所，児童分野事業所：1か所 障害分野事業所：1か所</p> <p>県内事業所（運営主体別）を対象に，相談・苦情解決体制整備状況調査を実施し，現状を把握するとともに，集計結果をホームページ等で公表した。 対象：令和6年度：社会福祉法人以外の運営主体 （令和5年度：社会福祉法人）</p>	<p>県内事業所（社会福祉法人以外が運営主体）の相談・苦情解決体制整備状況について調査を行い，ホームページ等で結果を公表すること各事業所における体制整備を促した。</p>
---	---	---

I-3 生活困窮世帯等の自立促進

1 生活福祉資金の貸付		所管部署		生活支援部		
(1) 総合支援資金，福祉資金，教育支援資金，不動産担保型生活資金及び離職者生活支援つなぎ資金の貸付		低所得世帯等援助を必要とする方々の経済的自立と生活意欲の助長及び社会参加の促進を図るため，資金の貸付や必要な援助指導を行った。（貸付決定状況については下表のとおり）		原材料価格の上昇に伴う物価高等により，経済的困難を抱える低所得世帯等に対して，貸付による経済的な支援を行うことができた。		
[令和6年度生活福祉資金申込及び貸付決定状況]		(単位：千円)				
資金の種類	申込状況		貸付決定状況		前年度に対する貸付決定状況	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
生活支援費	1	450	1	450	1	450
(内数)特例貸付	-	-	-	-	-	-
住宅入居費	0	0	0	0	0	0
一時生活再建費	0	0	0	0	0	0
福祉費	138	22,564	138	22,564	115	34,216
緊急小口資金	58	5,269	58	5,269	85	7,640
(内数)特例貸付	0	0	0	0	1	100
教育支援資金	135	124,446	135	124,446	119	90,832
						33,614

1 生活福祉資金の貸付		所管部署		生活支援部						
令和6年度事業計画		事業実施概要等		具体的成果等						
不動産担保型生活資金	0	0	0	0	0					
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	0	0	0	0	0					
合計	332	152,729	332	152,729	100.0					
(内数)特例貸付	0	0	0	0	0					
[令和6年度離職者生活支援つなぎ資金申込及び貸付決定状況] ※平成21年10月創設 (単位：千円)										
区分	申込状況		貸付決定状況		申込に対する決定の比較		前年度貸付決定状況		前年度に対する比較増減	
	件数	金額	件数	金額	件数%	金額%	件数	金額	件数	金額
資金の種類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
離職者生活支援つなぎ資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ア 適正な資金貸付の推進	市町村社協と連携して審査体制を充実し、適正な貸付を実現することにより、制度の趣旨に基づく生活福祉資金の運営を推進する。									
イ 生活福祉資金の広報及び活用促進	県社協広報紙及びホームページ等において、資金の広報啓発を行う。									
ウ 市町村社協担当職員研修の充実	令和6年度第1回市町村社協生活福祉資金事務担当者会議 (期日) 令和6年6月19日(水) (開催方法) Web会議システム (Zoom) (参加者数) 86人 (内容) ①制度説明1: 「生活福祉資金貸付制度の動向と課題」 ②制度説明2: 「貸付制度の仕組みー適正な貸付についてー」									
	県社協のホームページ、広報紙「ふくしのひろば」他、各市町村の社協により等により周知を図った。									
	生活福祉資金貸付審査等運営委員会の開催 (年2回)									
	生活福祉資金貸付制度の理解を深めることができた。									
	生活福祉資金貸付制度の現状と債権管理について理解を深めるとともに、各種資金の貸付相談におけるポイントを整理・確認することができた。									

<p>工 市町村社協貸付事務指導 市町村社協の担当者との連携を十分に図り、適正な貸付事務ができるように年間を通じて指導を行う。</p>	<p>令和6年度第2回市町村社協生活福祉資金事務担当者会議 〈期 日〉 令和6年11月28日(木) 〈開催場所〉 県社会福祉センター 別館会議室 〈参加者数〉 62人 〈内 容〉 ①事業説明：「民生委員調査書等の運用の見直し等について」 ②実践報告：「借受世帯への訪問活動によるアウトリーチ支援」 (報告者) 和歌山市社協 地域福祉推進室生活支援班 班長 岩橋智秀氏 事務員 星台智子氏</p> <p>令和6年度第3回市町村社協生活福祉資金事務担当者会議 ※ 「フォローアップ支援に関する市町村社協向け説明会」として開催(2 貸付後の相談支援の強化を参照)</p>	
<p>オ 各市町村民生委員児童委員協議会の定例会研修への職員派遣 市町村民児協定例会研修等に出向き資金の概要説明を行うことで制度の理解を深めるとともに利用促進を図る。</p>	<p>市町村社協担当職員からの相談・問い合わせに対して、事務処理にあたっての留意事項等の指導を行った。</p> <p>県民児協からの要請により職員を派遣するとともに、研修会実施の支援を行った。 〈派遣回数等〉〈対象者数〉 1回 26名 県民児協 第2回理事会</p>	<p>市町村社協への迅速な事務指導により、円滑な資金貸付業務に寄与することができた。</p> <p>民生委員児童委員への制度の認識が深められた。</p>
<p>(2) 市町村社協の相談支援体制の充実 相談支援体制を充実するため、専任の相談員を配置する市町村社協に対し財政的支援を行う。(対象社協：8社協)</p>	<p>平成21年10月からの資金貸付制度の大幅な見直し・実施に伴い、市町村社協において相談件数の急増に対応し配置している専任の相談員の経費について、相談・貸付の状況に応じて財政的な支援を行った。 〈対象社協数〉 8市社協 〈交付総額〉 25,550千円 〈内 容〉 相談員の人件費に対する経費の助成</p>	<p>市町村社協の相談員が増員配置されたこと等により、借入相談者への丁寧で適切な相談支援が図られ、過重となっている相談員の負担軽減が図られた。</p>
<p>(3) 市町村社協等との連携による債権管理の充実 市町村社協や民生委員との緊密な連携の下、借入者の状況、償還状況等の把握と情報の整理、共有化に努める。また、市町村社協の償還指導等に対し、適切な指導・助言を行う。</p>	<p>償還指導推進員を設置し、債権管理強化体制を強化した。 〈設置数〉 県社協 4人 鹿児島市社協 1人</p>	<p>専任者の配置により、債権管理体制が強化され借受関係者の状況把握や償還指導の充実が図られた。</p>

1	生活福祉資金の貸付	所管部署	生活支援部						
令和6年度事業計画		具体的成果等							
(4) 債権管理の強化、推進	借入関係者の債務状況を確認するため、市町村社協へ毎月、償還月次報告書を送付した。また、滞納している借入関係者に対して、「督促状」及び「残高のお知らせ」を発送し、償還指導を行った。	滞納している借入関係者に対する文書や面接による償還指導の実施により、償還意識の喚起や債権回収が促進された。							
	<p>① 督促状送付（年1回）</p> <table border="1"> <tr> <td>令和6年10月</td> <td>本則</td> <td>特例</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1,517件</td> <td>6,483件 (緊急小口:3,381件 総合:3,102件)</td> </tr> </table>	令和6年10月	本則	特例		1,517件	6,483件 (緊急小口:3,381件 総合:3,102件)		
令和6年10月	本則	特例							
	1,517件	6,483件 (緊急小口:3,381件 総合:3,102件)							

〔令和6年度生活福祉資金種類別償還状況：本則〕 (単位：千円)

	償還計画額 A	償還免除額 B	償還予定額 C=A-B	償還済額 D	未償還額 C-D	償還率 D/C %	貸付中 の件数	前年度 償還率%	前年度に対す る比較増減
総合支援資金	48,980	0	48,980	1,252	47,728	2.6	144	3.7	△1.1
更生資金	24,401	0	24,401	835	23,566	3.4	78	6.3	△2.9
障害者更生資金	5,423	0	5,423	220	5,203	4.1	8	4.7	△0.6
生活資金	2,592	0	2,592	0	2,592	0.0	4	0.0	0.0
福祉資金	80,515	0	80,515	27,993	52,522	34.8	557	36.9	△2.1
住宅資金	18,908	0	18,908	572	18,336	3.0	33	2.1	0.9
療養介護等資金	221	0	221	18	203	8.1	5	7.6	0.5
災害援護資金	1,428	0	1,428	0	1,428	0.0	8	6.2	△6.2
生活復興支援資金	681	0	681	0	681	0.0	1	0.0	0.0
緊急小口資金	27,860	0	27,860	5,387	22,473	19.3	444	19.2	0.1
小計	162,029	0	162,029	35,025	127,004	21.6	1,138	22.6	△1.0
教育支援資金	155,032	0	155,032	36,301	118,731	23.4	1,489	24.5	△1.1
不動産担保型生活資金	0	0	0	0	0	-	1	-	-
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	0	0	0	19,088	△19,088	-	10	-	-
離職者支援資金	38,078	713	37,365	1,719	35,646	4.6	38	4.7	△0.1
合計	404,119	713	403,406	93,385	310,021	23.1	2,820	19.2	3.9

合	現年度分	75,880	0	75,880	53,644	22,236	70.7	71.9	△1.2
計	過年度分	328,239	713	327,526	39,741	287,785	12.1	7.4	4.7

〔令和6年度離職者生活支援つなぎ資金償還状況〕 (単位：千円)

	償還計画額 A	償還免除額 B	償還予定額 C=A-B	償還済額 D	未償還額 C-D	償還率 D/C %	貸付中 の件数	前年度 償還率%	前年度に対す る比較増減
離職者生活支援つなぎ資金	388	0	388	12	376	3.1	6	13.6	△10.5

〔令和6年度生活福祉資金種類別償還状況：コロナ特例貸付〕 (単位：千円)

	償還計画額 A	償還免除額 B	償還予定額 C=A-B	償還済額 D	未償還額 C-D	償還率 D/C %	貸付中 の件数	前年度 償還率%	前年度に対す る比較増減
総合支援資金（コロナ）	1,934,180	1,414,221	519,959	168,926	351,033	32.5	9,635	45.3	△12.8
緊急小口資金（コロナ）	1,042,784	74,543	968,241	286,025	682,216	29.5	5,545	47.6	△18.1
合計	2,976,964	1,488,764	1,488,200	454,951	1,033,249	30.6	15,180	46.9	△16.3
現年度分	2,108,305	1,443,934	664,371	375,114	289,257	56.5		47.0	9.5
過年度分	868,659	44,830	823,829	79,837	743,992	9.7		4.9	△4.8

市町村社協を訪問し、管内の借入関係者の状況等について聞き取りを行うとともに、長期滞納者については個別に訪問し、償還等の指導を行った。
 〈訪問数〉 9市町村社協 28回 個別訪問関係者延べ183人

(5) 償還困難案件の適切な処理
 償還免除の適格要件を具備する債権について、適切な処理を行う。

訪問による償還指導や市町村社協を通じた状況調査等を実施し、借入関係者が死亡するなど免除要件に該当している案件については償還免除を行い、貸付債権の適切な整理を行った。

〈償還金免除〉 …………… 1件
 償還元金免除額 713,160円
 貸付利子免除額 77,750円
 延滞利子免除額 1,049,664円
 〈延滞利子免除〉 …………… 0件
 延滞利子免除額 0円

(6) 新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付の債権管理
 7 市町村社協等との連携による債権管理の充実
 イ 償還免除・償還猶予への対応
 償還免除及び償還猶予の適格要件を満たす債権について、適切な処理を行う。

償還免除決定件数 3,243件
 (対前年比:△1,481件)
 " 決定金額 1,488,764,144円
 (対前年比:△429,199,845円)

償還免除及び償還猶予業務を適切に実施したことにより、特例貸付の債権管理業務を推進することができた。

1 生活福祉資金の貸付	所管部署	生活支援部
令和6年度事業計画	事業実施概要等	
2 貸付後の相談支援の強化	具体的成果等	
<p>(1) 地域くらし・ささえあい事業</p> <p>ア 市町村社会福祉協議会の体制基盤強化 相談員の配置（人件費等の補助）</p> <p>イ 貸付担当者によるアウトリーチ等事業 借受人にアウトリーチを行い、生活課題を把握し、問題解決に向けて寄り添い支援を行う。</p> <p>ウ 地域支え合いマッチング事業 借受人同士のピアカウンセリングを通して、信頼関係を構築し、潜在課題の抽出を行う。</p> <p>エ 生活情報ICT活用支援事業 孤立している借受人や情報弱者に 対して、ICTを活用して生活支援 の情報を届ける。</p> <p>オ 県社会福祉協議会のコソウノト事業 市町村社会福祉協議会の事業実施 状況に応じて、効果的な事業戦略・ 実施・評価・改善・事業効果の助言 等を行う。</p>	<p>緊急小口資金等特例貸付の償還に当たって、生活に困窮している方を早期に支援する観点から、訪問等のアウトリーチによるプッシュ型の支援を行うため、相談員を配置するなど市町村社会福祉協議会の相談支援体制の整備を行った。</p> <p>また、アウトリーチ等の支援が円滑に行えるよう相談員に対する研修会や会議等を開催し、相談員への支援を行った。</p> <p>(1) 市町村社協への相談員設置状況 相談員数 69人（41社協）</p> <p>(2) 相談員研修の実施 令和6年度第1回地域くらし・ささえあい事業相談員研修会 〈期 日〉 令和6年6月21日(金) 〈開催方法〉 Web会議システム（Zoom） 〈参加者数〉 73人 〈内 容〉 事業説明：「事業展開の方向性—会計検査院会計実地検査を受検して—」</p> <p>(3) 相談員会議の実施 ア 令和6年度地域くらし・ささえあい事業エリア会議 〈期 日〉 令和6年11月29日(金) 〈開催場所〉 県社会福祉センター 別館会議室 〈参加者数〉 56人 〈内 容〉 意見交換：「各市町村社協におけるフォローアップ支援」 イ フォローアップ支援に関する市町村社協向け説明会 〈期 日〉 令和7年3月13日(木) 〈開催方法〉 Web会議システム（Zoom） 〈参加者数〉 67人</p>	<p>市町村社協に設置された相談員により、緊急小口資金等の特例貸付の借還猶予の申請手続きが免除や償還猶予の申請すること円滑に行えるよう支援すること等を通して、生活に困窮している方を早期に支援する相談支援体制の強化に資することができた。</p> <p>また、住所不明の借受人に対しては、ショートメールで一斉送信を行うなどICTを活用すること等で、支援に資する情報を届けることができた。</p> <p>（市町村社協への訪問指導） 10社協 1地区連協</p>
償還猶予決定件数	715件	
" 決定金額	303,670,000円	
	(対前年比:△176件)	
	(対前年比:△26,220,000円)	

	〈内 容〉 事業説明：「特例貸付におけるフォローアップ支援の役割分担等について」	
--	--	--

II 福祉人材の養成・確保

II-1 福祉人材の確保に向けた取組の強化		所管部署	福祉人材・研修センター
1	福祉人材の安定的な確保を図るための支援		
令和6年度事業計画		具体的成果等	
(1) 福祉人材無料職業紹介業務 ア 求人開拓, 求人求職登録, 紹介あっせん	福祉・介護に係る事業所及び養成機関等を訪問し, 福祉人材無料職業紹介所の利用促進と求人求職者の開拓及び各種情報提供を行った。 また, 求人事業所及び求職者に対して, 求人求職登録を推進した。 ① 求人求職者開拓 〈訪問延箇所数〉862か所(事業所556か所, 養成機関等306か所) ② 求人求職登録, 紹介あっせん業務 〈求職者数〉79人 ※3月末数。4~3月累計は809人 〈求人数〉329人 ※3月末数。4~3月累計は6,076人 〈採用者数〉80人 ③ 相談件数 3,454件 ※ハローワーク相談等での実績含む。	キャリア支援専門員が中心となつて福祉・介護に係る事業所及び養成機関等を訪問することにより, 福祉人材無料職業紹介所の周知と利用促進に資することができた。 また, 求人や求職者の登録, 紹介あっせん業務を通じ, 求職者の就業支援及び福祉職場の人材確保に資することができた。	福祉人材無料職業紹介所の利用促進と求人求職者の開拓及び各種情報提供を行った。 また, 求人事業所及び求職者に対して, 求人求職登録を推進した。 ① 求人求職者開拓 〈訪問延箇所数〉862か所(事業所556か所, 養成機関等306か所) ② 求人求職登録, 紹介あっせん業務 〈求職者数〉79人 ※3月末数。4~3月累計は809人 〈求人数〉329人 ※3月末数。4~3月累計は6,076人 〈採用者数〉80人 ③ 相談件数 3,454件 ※ハローワーク相談等での実績含む。
イ 広報紙, インターネット等 による各種情報の提供	福祉・介護の職場へ就職を希望する人等に対し, 事業所情報, 求人情報, 各種講座, イベントの開催, 資格取得方法等の詳細情報をメール配信やSNS (Facebook, Instagram) 等により提供した。	事業所・求人情報や講座・イベント開催, 資格取得方法等の詳細情報提供により, 求職者の就業支援に資することができた。	事業所・求人情報や講座・イベント開催, 資格取得方法等の詳細情報提供により, 求職者の就業支援に資することができた。
ウ 関係機関・団体との連携, 情報交換	福祉人材無料職業紹介事業を円滑に推進するため, 関係機関・団体と連携等に向けた会議を開催した。 ① 無料職業紹介事業に係る連絡会議 〈期 日〉 令和6年7月3日(水) 〈会 場〉 県社会福祉センター 〈参加者〉 鹿児島労働局職業安定課, 県看護協会ナースセンター, 鹿児島公共職業安定所, 県社会福祉課 県医師協同組合, 県社会福祉センター 県社協福祉人材・研修センター 所管事業の最近の動向, 福祉・保健医療職場の人材確保に 関する情報交換及び事業面での協力・連携について など ② 福祉人材の確保・養成に関する連絡会 〈期 日〉 令和7年1月31日(金)	無料職業紹介事業を行う団体と関係機関が, 事業の運営状況や課題, 今後の連携等について, 情報交換や意見交換を行うことにより, 連携を深めることができた。	無料職業紹介事業を行う団体と関係機関が, 事業の運営状況や課題, 今後の連携等について, 情報交換や意見交換を行うことにより, 連携を深めることができた。
			福祉人材の養成機関と受入側の関係者が, 学生・人材確保に

<p>(2) 福祉・保健医療のしごと 就職・転職フェアの開催 期日 令和6年9月28日(土) 会場 鹿児島市</p>	<p>〈会場〉 オンラインによる開催 養成施設・学校関係者(専門学校・大学・短期大学) 福祉施設種別協議会関係者(経営者協議会ほか) 福祉協福社人材・研修センター 県社協福社人材・研修センター 〈参加者〉 入学者確保・人材確保に係る現在の取組状況に関する 情報交換及び学生側・事業所側の希望・意見等のミス マッチ防止に係る意見交換等 など 〈議題〉</p>	<p>係る現状や課題等について情報 交換や意見交換を行うことによ り、連携を深めることができました。</p>
<p>(2) 福祉・保健医療のしごと 就職・転職フェアの開催 期日 令和6年9月28日(土) 会場 鹿児島市</p>	<p>福祉・保健医療職場の人材確保及び就職希望者の求職活動を支援 するため、「就職・転職フェア」を開催した。 〈期日〉 令和6年9月28日(土) 〈会場〉 カクイックス交流センター 〈参加者〉 48法人(43ブース) ※うちオンライン面談：4法人 〈求職者数〉 189人 〈参加求職者数〉 61人 〈面談者延人数〉 183人 〈採用決定者数〉 7人 〈共催団体〉 全国社会福祉協議会など4団体</p>	<p>福祉・保健医療職場に就職を 希望する求職者と求人事業者が 直接面談するイベントを開催す ることで、福祉・保健医療職場 の人材確保及び就職希望者の求 職活動が支援できた。</p>
<p>(3) 福祉人材総合メニュー講座の 開催 福祉職場就職支援講座 期日 令和7年1月25日(土) 令和7年2月1日(土)</p>	<p>福祉に係る知識・介護技術の習得等、福祉人材に関する情報を提 供するため各種講座を開催した。 ① 福祉職場就職支援講座 〈期日〉 令和7年1月25日(土)、2月1日(土) 〈回数〉 全4講座 〈会場〉 カクイックス交流センター 〈参加者数〉 全4講座で延べ48人 〈対象者〉 福祉職場に就職・復職を希望する一般の方々及び学生 〈内容〉 福祉の基礎知識及び介護技術の基礎(立位、ベッド 上での移動、車いす介助、衣服着脱、排泄介助)など</p>	<p>福祉についての理解を深めて もらうとともに、進路選択や福 祉の職場で働くために必要な知 識や技術を習得してもらった講 座を開催することにより、福祉職 場への理解と就職活動への支援 に資することができた。</p>
<p>いふくしのしごと入門(オ ーピング)セミナー 上記(2)の就職・転職フェア と同日開催</p>	<p>② 福祉人材養成講座(福祉・保健医療のしごと就職・転職フェア オーピング)セミナー 〈期日〉 令和6年9月28日(土) 〈会場〉 カクイックス交流センター 〈参加者数〉 38人 〈対象者〉 福祉職場への就職を希望している方、福祉に関心 がある方(シニア層含)、大学、短大、専門学校等 の最終学年在学学生 など</p>	<p>就職希望者に福祉職場の概要 等を学ぶ機会を提供することで、 現場の雰囲気や伝わり、福祉職 場に関するイメージアップと就 職相談会への参加促進に資する ことができた。</p>

1	福祉人材の安定的な確保を図るための支援	福祉人材・研修センター																																													
令和6年度事業計画		事業実施概要等																																													
令和6年度事業計画		具体的成果等																																													
<p>(4) 福祉人材確保支援セミナーの開催 期日 令和6年9月予定 会場 鹿児島市</p>	<p>〈内容〉 (1) 福祉の職場の現状と就職の心構え (2) 福祉のお仕事紹介(老人福祉施設、障害者福祉施設、児童養護施設、保育施設)</p> <p>質の高い福祉人材を安定的に確保し、また、安定した福祉経営を確立するため、適切な労務管理や働きやすい職場づくりなど、福祉職員の定着のための方策を学ぶセミナーを開催した。</p> <p>〈期日〉 令和6年9月18日(水) 〈会場〉 鹿児島県歴史・美術センター黎明館 講堂 〈参加者〉 74人 〈対象者〉 社会福祉法人代表者・役員、社会福祉施設等の施設長・事務長・人事担当者等</p> <p>〈内容〉 (1)「鹿児島県労働委員会の役割について」 (2)「DXによる労務管理及び育児休業法の改正について」 (3)「社会福祉法人恵仁会におけるICT化、DXの取組について」</p>	<p>雇用や社会保険等、時宜を得たテーマを取り上げたセミナーを開催することにより、安定した福祉経営と福祉人材の確保・定着に資する情報を提供することができた。</p>																																													
<p>(5) 福祉・介護人材確保事業 キャリア支援専門員の配置 県協本所2人 鹿屋市社協1人 奄美市社協1人 合計4人</p>	<p>キャリア支援専門員4人を次のとおり配置し、求職者のニーズに合わせた職場開拓や職場紹介等を行った。</p> <p>① 配置先 県協本所2人、鹿屋市駐在(市社協)1人 奄美市駐在(市社協)1人 合計：4人</p> <p>② キャリア支援専門員巡回活動状況</p> <table border="1" data-bbox="1037 846 1337 1541"> <thead> <tr> <th>各ブロック</th> <th>訪問施設延件数</th> <th>相談</th> <th>紹介</th> <th>採用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鹿児島</td> <td>29</td> <td>328</td> <td>80</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>南薩種子屋久</td> <td>40</td> <td>143</td> <td>24</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>始良・伊佐</td> <td>35</td> <td>439</td> <td>32</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>日置</td> <td>12</td> <td>63</td> <td>24</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>大隅</td> <td>145</td> <td>1,445</td> <td>80</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>北薩</td> <td>28</td> <td>193</td> <td>20</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>大島</td> <td>573</td> <td>511</td> <td>33</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>862</td> <td>3,122</td> <td>293</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>	各ブロック	訪問施設延件数	相談	紹介	採用	鹿児島	29	328	80	6	南薩種子屋久	40	143	24	3	始良・伊佐	35	439	32	9	日置	12	63	24	2	大隅	145	1,445	80	44	北薩	28	193	20	4	大島	573	511	33	12	計	862	3,122	293	80	<p>キャリア支援専門員の巡回により、管轄下の施設・事業所との連携が図られ、求職者のニーズに合わせた職場開拓等や、求人施設と求職者のマッチングを行い、円滑な就業・定着等が図られた。</p>
各ブロック	訪問施設延件数	相談	紹介	採用																																											
鹿児島	29	328	80	6																																											
南薩種子屋久	40	143	24	3																																											
始良・伊佐	35	439	32	9																																											
日置	12	63	24	2																																											
大隅	145	1,445	80	44																																											
北薩	28	193	20	4																																											
大島	573	511	33	12																																											
計	862	3,122	293	80																																											

<p>イ 福祉・介護のしごと就職・転職フェアの開催 (県内3か所)</p>	<p>福祉職場の人材確保及び就職希望者の求職活動を支援するため、就職・転職相談会を開催した。</p> <p>① 福祉・介護のしごと 就職・転職相談会 《鹿屋市》 〈期 日〉 令和6年10月26日(土) 〈会 場〉 かのやグランドホテル 〈参加 法 人〉 19法人 (19ブース) 〈求 人 件 数〉 73件 〈参加 求 職 者〉 42人 〈面談者延人数〉 127人 〈採用決定者数〉 8人 〈共 催 団 体〉 鹿屋・大隅公共職業安定所, 鹿屋市, 鹿屋市社会福祉協議会 他</p>	<p>地方で求職者と求人事業者が直接面談するイベントを開催すること、福祉・介護職場の人材確保及び就職希望者の求職活動が支援できた。</p>
<p>②</p>	<p>福祉・介護のしごと 就職・転職相談会 《霧島市》 〈期 日〉 令和6年8月17日(土) 〈会 場〉 国分ハウジングシビックホール 〈参加 法 人〉 19法人 (18ブース) 〈求 人 件 数〉 62件 〈参加 求 職 者〉 37人 〈面談者延人数〉 99人 〈採用決定者数〉 7人 〈共 催 団 体〉 国分・大口公共職業安定所, 霧島市, 霧島市社会福祉協議会 他</p>	
<p>③</p>	<p>福祉・介護のしごと 就職・転職相談会 《薩摩川内市》 〈期 日〉 令和6年11月30日(土) 〈会 場〉 薩摩川内市総合福祉会館 〈参加 法 人〉 17法人 (16ブース) 〈求 人 件 数〉 59件 〈参加 求 職 者〉 19人 〈面談者延人数〉 63人 〈採用決定者数〉 2人 〈共 催 団 体〉 川内・出水・伊集院・宮之城・大口公共職業安定所, 薩摩川内市社会福祉協議会 他</p>	
<p>(6) 離職介護職員の登録促進事業 ア 養成校, 市町村社協等におけるパンフレット等を活用したネット登録の周知広報</p>	<p>① 「介護の有資格者の届出制度」のチラシやリーフレットを配布し、制度の周知を図るとともに、届出者等に対し、就職面談やセミナー等の開催に関する情報提供などを行った。</p>	<p>離職した場合の円滑な再就業の促進に向けた登録体制の充実に資することができた。</p>

1	福祉人材の安定的な確保を図るための支援	所管部署	福祉人材・研修センター
令和6年度事業計画		事業実施概要等	
イ 届出制度に関する相談及び問合せ対応 ウ インターネット利用環境のない者の届出の受付		② 届出制度に関する相談対応 養成校等を訪問し、リーフレットを用いたインターネットによる登録方法を説明し、登録手順書を配布した。 ③ インターネット利用環境のない方からの届出票提出による福祉人材情報システムへの代行入力を行った。	
(7) 介護分野への元気高齢者等参入促進セミナー事業 ア セミナー等の開催 イ セミナーの開催 ウ セミナーに関する高齢者向けセミナーを開催することにより、介護分野への就労に向けた気運を醸成し、就職・転職相談会への参加を促進する。 エ (就職・転職相談会に合わせ4回実施) オ (1) 出張講座の開催 カ 高齢者等向けイベント等の機会を活用し、介護の専門的研修や就職・転職フェア等の事業を紹介する。 キ セミナー受講者へのフォローアップ ク 就労を希望する方に対して就職支援を実施する。		高齢者等(概ね55歳以上)を対象とするセミナー及び出張講座を開催した。 ① セミナー開催 〈開催地区〉4地区(北薩, 始良・伊佐, 大隅, 大島) ※ 北薩, 始良・伊佐, 大隅の3地区は、福祉・介護のしごと就職・転職相談会と合同で開催 〈参加人数〉93人 ② 出張講座開催 〈開催か所〉11か所 ※ 鹿児島市(2), 指宿市(1), 阿久根市(1), 出水市(1), 湧水町(1), 志布志市(3), 南種子町(1), 喜界町(1) 〈参加人数〉447人 ③ 就職・転職相談会参加者数 61人 採用決定者数 10人	
2 外国人介護人材受入の支援		所管部署	福祉人材・研修センター
(1) 外国人介護人材受入支援事業 技能実習生等を対象とする外国人介護人材集合研修の実施		入国後の期間が短い外国人技能実習生等に対するオンライン講義や集合研修による演習を通	
<p>具体的成果等</p> <p>令和6年度 新規登録者数90人 (参考:登録者数) 令和6年度未登録者数1,392人</p> <p>介護人材が不足していることから、高齢者でもできる介護助手等の紹介を通じて介護現場への関心を高め、就職面談会等への参加を促すことができた。</p>			

<p>ア 期日 令和6年10月～令和7年2月 (予定)</p> <p>イ 実施地域 県内7地域</p> <p>ウ 回数 14回 (7地域×2回)</p>	<p>① オンラインによる講義 (座学) 1回実施 <期日> 令和6年12月11日(水) <参加者> 39事業所, 103人 <講義内容> ・相手への思いやりが伝わる接遇 ・鹿児島のことば ・介護現場で使う日本語 ・介護記録の書き方 ② 集研修方式による演習 (実技) 5回実施 <開催月> 令和7年2～3月 <参加者> 37事業所, 107人 <実施地域> 5地域 (鹿児島, 北薩, 始良・伊佐, 大隅, 大島) <講義内容> ・介護の技術 (高齢者・障害者への理解を含む) 南薩地域は鹿児島地域と合同開催 ※ 熊毛地域は参加希望なし</p>	<p>じて, 相互交流を図り, 生活や介護に関する不安を払拭するとともに, 介護に関する基本的な知識や技能を深め, 円滑な就労と職場への定着に資することができた。</p>																					
<p>3 福祉人材確保に向けた修学資金, 就労支援の推進</p> <p>(1) 介護福祉士修学資金(等)貸付事業 ア 介護福祉士修学資金貸付 介護職を目指す学生に対する修学資金等の貸付 (7) 修学資金(月額) 50千円以内 (4) 入学準備金 200千円以内 (初回交付時) (4) 就職準備金 200千円以内 (最終回交付時) (4) 生活費加算(月額)30千円以内 ※ (1)は生活保護世帯等が対象 イ 介護福祉士実務者研修受講資金貸付 介護福祉士の資格取得を目指す実務者研修受講者に対する受講資金の貸付 (7) 貸付額 100千円以内 ウ 介護人材再就職準備金貸付 離職した介護職員で介護職へ再就職する者に対する再就職準備金の貸付 (7) 貸付額 400千円以内 エ 障害福祉分野就職支援金貸付 他業種で働いていた方等に対する障害福祉分野への就職支援金の貸付 (7) 貸付額 200千円以内</p>	<p>県協ホームページへの掲載のほかリーフレットや手引きを作成し, 県内外の養成施設(大学等)や市町村社協等を通じて借入希望者や関係者へ資料配付・説明を行うなど, 制度の利用促進に努めた。</p> <p>[令和6年度貸付状況] (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>計 画</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護福祉士修学資金</td> <td>68</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>介護福祉士実務者研修受講資金</td> <td>40</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>介護人材再就職準備金</td> <td>10</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>障害福祉分野就職支援金</td> <td>10</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>福祉系高校修学資金返還充当資金</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>128</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	計 画	実 績	介護福祉士修学資金	68	52	介護福祉士実務者研修受講資金	40	7	介護人材再就職準備金	10	4	障害福祉分野就職支援金	10	2	福祉系高校修学資金返還充当資金	0	0	合 計	128	65	<p>所管部署 生活支援部</p> <p>修学資金等の貸付により, 若者や他業種で働いていた方等の福祉・介護分野への参入が促進され, 質の高い人材の確保と定着のための環境整備が図られた。</p>
区 分	計 画	実 績																					
介護福祉士修学資金	68	52																					
介護福祉士実務者研修受講資金	40	7																					
介護人材再就職準備金	10	4																					
障害福祉分野就職支援金	10	2																					
福祉系高校修学資金返還充当資金	0	0																					
合 計	128	65																					

3	福祉人材確保に向けた修学資金、就労支援の推進	生活支援部	所管部署																																	
<p align="center">令和6年度事業計画</p> <p align="center">事業実施概要等</p>		<p align="center">具体的成果等</p>																																		
<p>才</p> <p>福祉系高校修学資金返還充当資金貸付 <small>介護分野以外の障害福祉等福祉分野に就職した場合における返還金相当額の新たな貸付</small></p>	<p>事業の円滑な実施を図るため、福祉系高校8校を訪問し、資料配布、説明を行うことにより、制度の利用促進に努めた。</p> <p>〔令和6年度貸付状況〕 (単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="526 784 606 1545"> <tr> <td>区分</td> <td>計画</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>福祉系高校修学資金</td> <td>59</td> <td>15</td> </tr> </table>	区分	計画	実績	福祉系高校修学資金	59	15																													
区分	計画	実績																																		
福祉系高校修学資金	59	15																																		
<p>(2) 福祉系高校修学資金貸付事業 福祉系高校に通う学生に対する修学資金の貸付 (7) 修学準備金 (入学金を除く) 30千円以内 (4) 介護実習費 30千円以内 (年額) (6) 国家試験受験対策費用 40千円以内 (年額) (1) 就職準備金 200千円以内 <small>(就職する場合及び最終回に限る)</small></p>	<p>〔令和6年度貸付状況〕 (単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="638 784 734 1545"> <tr> <td>区分</td> <td>計画</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>介護分野就職支援金</td> <td>15</td> <td>3</td> </tr> </table>	区分	計画	実績	介護分野就職支援金	15	3																													
区分	計画	実績																																		
介護分野就職支援金	15	3																																		
<p>(3) 介護分野就職支援金貸付事業 他業種で働いていた方等に対する介護分野への就職支援金の貸付 (7) 貸付額 200千円以内</p>																																				
<p>(4) 介護福祉士(等)修学資金貸付事業 平成21年度から平成23年度までの3年間に貸し付けた介護福祉士等修学資金借受者について、返還などの償還管理を行った。 ※参考：貸付(送金)は、平成27年度で終了。 〔令和6年度の状況〕 ① 一部返還免除 1人 ② 返還状況 (単位：千円)</p> <table border="1" data-bbox="973 515 1149 1568"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">償還計画額</th> <th rowspan="2">償還済額 B</th> <th rowspan="2">未償還額 (A-B)</th> <th rowspan="2">償還率 % (B/A*100)</th> <th rowspan="2">返還対象人数 (人)</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年度分</td> <td>4,307</td> <td>409</td> <td>3,898</td> <td>9.5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>現年度分</td> <td>160</td> <td>160</td> <td>0</td> <td>100.0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,467</td> <td>569</td> <td>3,898</td> <td>12.7</td> <td>実人員 7</td> </tr> </tbody> </table>	区分	償還計画額		償還済額 B	未償還額 (A-B)	償還率 % (B/A*100)	返還対象人数 (人)	A		過年度分	4,307	409	3,898	9.5	6	現年度分	160	160	0	100.0	1	計	4,467	569	3,898	12.7	実人員 7	<p>平成21年度から平成23年度までの3年間に貸し付けた介護福祉士等修学資金借受者について、返還などの償還管理を行った。 ※参考：貸付(送金)は、平成27年度で終了。 〔令和6年度の状況〕 ① 一部返還免除 1人 ② 返還状況 (単位：千円)</p>	<p>保育士を目指す学生の就学を支援するとともに、卒業後の保育現場への就労・定着を促進するため、修学資金を貸付けた。</p> <p>〔令和6年度貸付状況〕 (単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="1308 784 1404 1545"> <tr> <td>区分</td> <td>計画</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>保育士修学資金貸付</td> <td>80</td> <td>79</td> </tr> </table>		区分	計画	実績	保育士修学資金貸付	80	79
区分		償還計画額						償還済額 B	未償還額 (A-B)	償還率 % (B/A*100)	返還対象人数 (人)																									
	A																																			
過年度分	4,307	409	3,898	9.5	6																															
現年度分	160	160	0	100.0	1																															
計	4,467	569	3,898	12.7	実人員 7																															
区分	計画	実績																																		
保育士修学資金貸付	80	79																																		
<p>(5) 保育士修学資金貸付等事業 ア 保育士修学資金貸付 <small>保育士養成施設に通う学生に対し、修学資金の貸付を行う。</small> (7) 貸付月額：50千円以内(2年間を限度) (4) 入学準備金：200千円以内(初回交付時) (6) 就職準備金：200千円以内(卒業時)</p>	<p>保育士を目指す学生の就学を支援するとともに、卒業後の保育現場への就労・定着を促進するため、修学資金を貸付けた。</p> <p>〔令和6年度貸付状況〕 (単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="1308 784 1404 1545"> <tr> <td>区分</td> <td>計画</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>保育士修学資金貸付</td> <td>80</td> <td>79</td> </tr> </table>	区分	計画	実績	保育士修学資金貸付	80	79	<p>保育士を目指す学生の就学を容易にすることにより、質の高い保育士の養成と県内の保育現場の人材確保に向けて環境整備が図られた。</p>																												
区分	計画	実績																																		
保育士修学資金貸付	80	79																																		

<p>イ 未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付 未就学児を持つ潜在保育士に対し、自身が支払うべき未就学児の保育料の一部貸付を行う。 (7) 貸付月額：27千円以内(1年間を限度)</p> <p>ウ 就職準備金 潜在保育士に対し、再就職する場合の就職準備金の貸付を行う。 (7) 貸付額：200千円以内(1回限り)</p>	<table border="1"> <tr> <td>未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>就職準備金</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>88</td> <td>81</td> </tr> </table>	未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付	4	2	就職準備金	4	0	合計	88	81	
未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付	4	2									
就職準備金	4	0									
合計	88	81									
<p>4</p>	<p>社会福祉事業従事者の福利厚生推進</p>	<p>所管部署 総務部 福祉人材・研修センター</p>									
<p>令和6年度事業計画</p>	<p>事業実施概要等</p>	<p>具体的成果等</p>									
<p>(1) 県民間社会福祉施設職員退職共済事業の運営</p>	<p>① 県民間社会福祉施設職員退職共済事業の実施状況(令和3年3月31日現在) 契約法人282法人 552施設 加入者数10,535人 ア 退職金の給付状況 退職給付金 1,357件 1,312,981,407円 新規契約・解除の状況 新規契約 2施設 契約解除 0施設 ウ 退職共済積立金の状況(令和7年3月31日現在) 退職共済積立金額 16,406,404,292円…A (参考：元本 14,424,822,234円) 退職給付金要支給額 13,804,587,380円…B 差引(A-B) 2,601,816,912円 (積立率118.85%)</p> <p>② 運営委員会の開催 2回 県民間社会福祉施設職員退職共済事業の適正な運営を期するため運営委員会を開催した。 ア 第1回運営委員会 <開催日> 令和6年7月19日 (金) <内容> ・ 令和5年度事業報告及び収支決算について ・ 令和5年度年金財政決算報告について ・ 令和5年度運用実績について</p>	<p>契約法人が退職給付金支払資金に充当するための積立金を、運用基本方針に基づき金融機関3行に信託し、安定的な資産の運用・管理が適切に実施された。 県内の民間社会福祉施設職員の福利を増進し、社会福祉事業の振興に寄与することができた。</p>									

4	社会福祉事業従事者の福利厚生への推進		所管部署	総務部 福祉人材・研修センター																			
令和6年度事業計画		事業実施概要等		具体的成果等																			
	<p>イ 第2回運営委員会 〈開催日〉令和7年3月4日（火） 〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度補正予算について ・令和7年度事業計画及び収支予算について ・運用実績について <p>③ 契約法人に対する説明会 〈開催日〉令和7年1月29日（水）（Web会議システム Zoom） 〈参加者数〉87事業所 94人 〈内容〉 説明Ⅰ 令和5年度事業実施状況・資産運用状況等について 説明Ⅱ 退職共済事業事務手続きについて 説明Ⅲ 福利厚生センター（ソウエルクラブ）について</p>																						
<p>(2) 福利厚生センター（ソウエルクラブ）への加入促進、利用促進及び会員交流事業の実施</p>	<p>① 会員交流事業 福利厚生センター（ソウエルクラブ）に加入している会員を対象に、会員間の親睦や交流等を図るため、次の事業を実施した。</p> <p>〔会員交流事業実績〕</p> <table border="1" data-bbox="949 607 1404 1615"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>期日（期間）</th> <th>場所</th> <th>参加人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) DRUM TAO 2024 チケット販売</td> <td>令和6年5月26日</td> <td>宝山ホール</td> <td>61人</td> </tr> <tr> <td>(2) 伊勢正三&イルカコンサートチケット販売</td> <td>令和6年6月23日</td> <td>川商ホール</td> <td>60人</td> </tr> <tr> <td>(3) 高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニストチケット販売</td> <td>令和6年10月19日</td> <td>川商ホール</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>(4) 錦秋歌舞伎特別公演2024 チケット販売</td> <td>令和6年10月20日</td> <td>宝山ホール</td> <td>49人</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	期日（期間）	場所	参加人員	(1) DRUM TAO 2024 チケット販売	令和6年5月26日	宝山ホール	61人	(2) 伊勢正三&イルカコンサートチケット販売	令和6年6月23日	川商ホール	60人	(3) 高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニストチケット販売	令和6年10月19日	川商ホール	50人	(4) 錦秋歌舞伎特別公演2024 チケット販売	令和6年10月20日	宝山ホール	49人	<p>多くの会員の方の参加が得られ、福利厚生の上上が図られた。</p>	
事業名	期日（期間）	場所	参加人員																				
(1) DRUM TAO 2024 チケット販売	令和6年5月26日	宝山ホール	61人																				
(2) 伊勢正三&イルカコンサートチケット販売	令和6年6月23日	川商ホール	60人																				
(3) 高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニストチケット販売	令和6年10月19日	川商ホール	50人																				
(4) 錦秋歌舞伎特別公演2024 チケット販売	令和6年10月20日	宝山ホール	49人																				

5	介護現場の業務改善・負担軽減の推進	<p>(1) 介護現場の生産性向上推進総合事業 ア 相談受付</p> <p>専任職員2名, 兼務職員2名配置 介護現場の生産性向上に関する専門的知識を有する業務アドバイザー3名配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島大学医学部保健学科作業療法学専攻 吉満孝二氏 ・鹿児島医療技術専門学校 作業療法学科 藤田賢太郎氏 ・障がい者グループホーム ヒバリーヒルズ池之上 リハビリテーション課長 平嶋 佑太郎氏 	令和6年10月1日～ 令和7年3月31日	鹿児島ミッテ10 シネマサンシャイン 始良	799人						介護実習・普及センター	介護現場の生産性向上に関する ワンストップ型の支援窓口を設置 し、介護ロボット等のテクノロジ ーを活用して、業務の改善や効率 化を進める介護事業所からの様 々な相談に対応した。				
													(5)	わくわくシネマチケット 販売		
													(6)	ごほうびランチ券販売		
													(7)	木下大サークス自由席 入場券販売		
													(8)	第50回九州公演 日本ファイルチケット販売		
													(9)	劇団四季ファミリーミュージ カルふたりのロケット チケット販売		
													合計		延べ	3,484人
													② 福利厚生センター加入勧奨活動 (1) 未加入法人等への戸別訪問 (未加入4事業所訪問) (2) 県社協ホームページへの掲載 (3) 県社協広報紙「ふくしのひろば」への掲載		<p>会員数の状況 (R7. 3. 26現在)</p> <p>加入法人数 : 54法人112事業所</p> <p>会員職員数 : 2,885人</p>	
													所管部署		介護実習・普及センター	

5 介護現場の業務改善・負担軽減の推進	所管部署	介護実習・普及センター														
令和6年度事業計画	事業実施概要等	具体的成果等														
イ 介護ロボット・ICT展示	<p>(1) 相談受付フォームによる相談件数 39件 (相談内訳)</p> <table border="1" data-bbox="336 1021 794 1525"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護老人福祉施設</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td>介護老人保健施設</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>通所介護</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>認知症対応型共同生活介護</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>39件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 電話, メール又は来所等による相談件数 1,495件</p>	種別	件数	介護老人福祉施設	15件	介護老人保健施設	7件	通所介護	6件	認知症対応型共同生活介護	4件	その他	7件	合計	39件	<p>体験展示を通じ, 介護事業所職員や介護・福祉分野への就職を目指す学生, 県民への介護ロボット・ICTに関する周知と理解促進を図られた。</p>
種別	件数															
介護老人福祉施設	15件															
介護老人保健施設	7件															
通所介護	6件															
認知症対応型共同生活介護	4件															
その他	7件															
合計	39件															
	<p>見守り・コミュニケーション支援, 移乗支援, 移動支援及び排泄支援の4分野18点の介護ロボットを常設展示した。 また, 令和6年12月からICT関連機器の展示を開始した。 (展示ロボット一覧)</p> <table border="1" data-bbox="1018 763 1386 1554"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>介護ロボット名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">移乗支援</td> <td>HAL腰タイプ介護・自立支援用</td> </tr> <tr> <td>パワーアシストスーツ J-PAS fleairy(フレアリー)</td> </tr> <tr> <td>マッスルスーツ Every</td> </tr> <tr> <td>DARWING HakobeIude</td> </tr> </tbody> </table>	分野	介護ロボット名称	移乗支援	HAL腰タイプ介護・自立支援用	パワーアシストスーツ J-PAS fleairy(フレアリー)	マッスルスーツ Every	DARWING HakobeIude								
分野	介護ロボット名称															
移乗支援	HAL腰タイプ介護・自立支援用															
	パワーアシストスーツ J-PAS fleairy(フレアリー)															
	マッスルスーツ Every															
	DARWING HakobeIude															

	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="164 1552 418 1608">移乗支援</td> <td data-bbox="164 1238 418 1552">非装着型</td> <td data-bbox="164 757 418 1238">移乗サポートロボット HUG T1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="418 1552 619 1608"></td> <td data-bbox="418 1238 619 1552"></td> <td data-bbox="418 757 619 1238">移乗用介護ロボット 移乗です</td> </tr> <tr> <td data-bbox="619 1552 746 1608"></td> <td data-bbox="619 1238 746 1552"></td> <td data-bbox="619 757 746 1238">ROBOHELPER SASUKE</td> </tr> <tr> <td data-bbox="746 1552 946 1608"></td> <td data-bbox="746 1238 946 1552"></td> <td data-bbox="746 757 946 1238">移乗・移動支援ロボット Keipu-Sb</td> </tr> <tr> <td data-bbox="946 1552 1069 1608"></td> <td data-bbox="946 1238 1069 1552">移動支援</td> <td data-bbox="946 757 1069 1238">ロボットアシストウオーカー RT.3</td> </tr> <tr> <td data-bbox="164 757 418 1552"></td> <td data-bbox="164 1238 418 1552">排泄支援</td> <td data-bbox="164 757 418 1238">ラップポンプリート(S)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="418 757 619 1552"></td> <td data-bbox="418 1238 619 1552"></td> <td data-bbox="418 757 619 1238">排尿予測デバイス DFree</td> </tr> <tr> <td data-bbox="619 757 746 1552"></td> <td data-bbox="619 1238 746 1552"></td> <td data-bbox="619 757 746 1238">見守りセンサ AiSleep</td> </tr> <tr> <td data-bbox="746 757 874 1552"></td> <td data-bbox="746 1238 874 1552"></td> <td data-bbox="746 757 874 1238">見守りセンサー 「ANSIEL」</td> </tr> <tr> <td data-bbox="874 757 1069 1552">見守り・コミュニケーション支援</td> <td data-bbox="874 1238 1069 1552">見守り支援</td> <td data-bbox="874 757 1069 1238">見守りシステム ネオスケア</td> </tr> <tr> <td data-bbox="164 757 418 1552"></td> <td data-bbox="164 1238 418 1552"></td> <td data-bbox="164 757 418 1238">e伝之介くん</td> </tr> <tr> <td data-bbox="418 757 619 1552"></td> <td data-bbox="418 1238 619 1552"></td> <td data-bbox="418 757 619 1238">aams. 介護</td> </tr> <tr> <td data-bbox="619 757 746 1552"></td> <td data-bbox="619 1238 746 1552">コミュニケーション支援</td> <td data-bbox="619 757 746 1238">PALRO 高齢者福祉施設向けモデルⅢ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="746 757 1069 1552"></td> <td data-bbox="746 1238 1069 1552"></td> <td data-bbox="746 757 1069 1238">音声認識コミュニケーションロボット Chapit</td> </tr> </table>	移乗支援	非装着型	移乗サポートロボット HUG T1			移乗用介護ロボット 移乗です			ROBOHELPER SASUKE			移乗・移動支援ロボット Keipu-Sb		移動支援	ロボットアシストウオーカー RT.3		排泄支援	ラップポンプリート(S)			排尿予測デバイス DFree			見守りセンサ AiSleep			見守りセンサー 「ANSIEL」	見守り・コミュニケーション支援	見守り支援	見守りシステム ネオスケア			e伝之介くん			aams. 介護		コミュニケーション支援	PALRO 高齢者福祉施設向けモデルⅢ			音声認識コミュニケーションロボット Chapit	
移乗支援	非装着型	移乗サポートロボット HUG T1																																										
		移乗用介護ロボット 移乗です																																										
		ROBOHELPER SASUKE																																										
		移乗・移動支援ロボット Keipu-Sb																																										
	移動支援	ロボットアシストウオーカー RT.3																																										
	排泄支援	ラップポンプリート(S)																																										
		排尿予測デバイス DFree																																										
		見守りセンサ AiSleep																																										
		見守りセンサー 「ANSIEL」																																										
見守り・コミュニケーション支援	見守り支援	見守りシステム ネオスケア																																										
		e伝之介くん																																										
		aams. 介護																																										
	コミュニケーション支援	PALRO 高齢者福祉施設向けモデルⅢ																																										
		音声認識コミュニケーションロボット Chapit																																										
	<p>(体験実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="164 1552 418 1608">介護事業所等</th> <th data-bbox="164 1238 418 1552">大学等団体</th> <th data-bbox="164 925 418 1238">個人</th> <th data-bbox="164 757 418 925">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="418 1552 619 1608">79人</td> <td data-bbox="418 1238 619 1552">475人</td> <td data-bbox="418 925 619 1238">523人</td> <td data-bbox="418 757 619 925">1,077人</td> </tr> </tbody> </table>	介護事業所等	大学等団体	個人	合計	79人	475人	523人	1,077人	<p>介護ロボットの試用機会を提 供することにより、有効性や導 入後の運用イメージが明確にな るなど、介護ロボットに対する 理解と普及啓発が図られた。</p>																																		
介護事業所等	大学等団体	個人	合計																																									
79人	475人	523人	1,077人																																									
ウ 試用貸出	<p>介護事業所からの試用貸出申込を受け、厚生労働省が作成する「介護ロボットの試用貸出リスト」を対象に、開発企業からの貸出調整を行った。</p>																																											

5 介護現場の業務改善・負担軽減の推進	所管部署	介護実習・普及センター															
令和6年度事業計画																	
事業実施概要等																	
<p>貸出実績（31件）</p> <table border="1" data-bbox="300 734 916 1285"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>件数</th> <th>施設種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>移乗支援(装着型)</td> <td>5件</td> <td>介護老人福祉施設 通所介護 その他</td> </tr> <tr> <td>移乗支援(非装着型)</td> <td>14件</td> <td>介護老人福祉施設 介護老人保健施設 通所介護 その他</td> </tr> <tr> <td>排泄支援</td> <td>4件</td> <td>介護老人福祉施設 その他</td> </tr> <tr> <td>見守り・コミュニケーション支援</td> <td>8件</td> <td>介護老人福祉施設 通所介護 その他</td> </tr> </tbody> </table>	分野	件数	施設種別	移乗支援(装着型)	5件	介護老人福祉施設 通所介護 その他	移乗支援(非装着型)	14件	介護老人福祉施設 介護老人保健施設 通所介護 その他	排泄支援	4件	介護老人福祉施設 その他	見守り・コミュニケーション支援	8件	介護老人福祉施設 通所介護 その他		
分野	件数	施設種別															
移乗支援(装着型)	5件	介護老人福祉施設 通所介護 その他															
移乗支援(非装着型)	14件	介護老人福祉施設 介護老人保健施設 通所介護 その他															
排泄支援	4件	介護老人福祉施設 その他															
見守り・コミュニケーション支援	8件	介護老人福祉施設 通所介護 その他															
<p>工 研修会の実施</p>	<p>介護事業所の経営者や実務者に向け、介護現場における生産性向上の取組に関する研修会を年3回実施した。</p> <p>(1) 第1回研修会(経営者対象) ① 開催日・参加人数 令和6年7月6日 会場参加32人 オンライン参加78人 ② 内容 センターの事業概要説明 行政説明 「介護ロボット導入支援事業ほか」 講義 「介護現場における生産性向上の推進」 基調講演 「生産性向上と働く人の『幸福度』を高める介護 テクノロジーの活用」</p>	<p>研修会を通じて、生産性向上の取組の必要性や取組の方法、先進事例等を広く普及啓発することができた。</p>															

<p>オ 伴走支援等</p>	<p>(2) 第2回研修会(実務者対象) ① 開催日・参加人数 令和6年11月21日 会場参加53人 オンライン参加86人 ② 内容 センターの事業概要説明 講義 「介護現場における生産性向上の取組について～自分の職場の課題を見える化する～」 実践報告 「令和4年度伴走支援実施施設」 ディスカッション 「伴走支援事業実施施設の実践報告を受けて」 介護ロボット体験及び相談</p> <p>(3) 第3回研修会(伴走支援報告) ① 開催日・参加人数 令和7年2月21日 会場参加19人 オンライン参加155人 ② 内容 導入 「業務アドバイザーによる伴走支援の振り返り」 実践報告 「令和6年度伴走支援実施施設(3カ所)」 ディスカッション 「伴走支援事業実施施設の実践報告を受けて」</p> <p>生産性向上の取組を実施しようとする介護事業所の中から地域バランスや施設種別バランスなどを勘案の上、次の3カ所を選定し、業務アドバイザーが施設を訪問するなどして実態に応じた取組手法等について助言を行った。</p>	<p>伴走支援を通じて、生産性向上の取組手法を習得してもらうとともに、取組内容やノウハウを他の事業所に横展開することができた。</p>																
	<p>(1) 選定事業所・取組内容</p> <table border="1" data-bbox="986 743 1248 1594"> <tr> <td>施設名</td> <td>特別養護老人ホームビハーラ(南九州市)</td> <td>介護老人保健施設風花苑(与論町)</td> <td>グループホーム愛愛(鹿児島市)</td> </tr> <tr> <td>取組内容</td> <td>優先課題及びその他取組</td> <td>腰痛対策 3S活動</td> <td>腰痛対策 タイムスタディ</td> </tr> <tr> <td>試用介護ロボット</td> <td>SASUKE</td> <td>SASUKE</td> <td>Hug T1 ・マッスルスーツ Every</td> </tr> <tr> <td>取組期間</td> <td colspan="3">令和6年8月～令和7年2月 (伴走支援報告 令和7年2月21日)</td> </tr> </table> <p>(2) 主な支援内容(PDCAサイクル) P 改善活動の準備、現場課題の見える化、実行計画の立案 D 改善活動の取り組み</p>	施設名	特別養護老人ホームビハーラ(南九州市)	介護老人保健施設風花苑(与論町)	グループホーム愛愛(鹿児島市)	取組内容	優先課題及びその他取組	腰痛対策 3S活動	腰痛対策 タイムスタディ	試用介護ロボット	SASUKE	SASUKE	Hug T1 ・マッスルスーツ Every	取組期間	令和6年8月～令和7年2月 (伴走支援報告 令和7年2月21日)			
施設名	特別養護老人ホームビハーラ(南九州市)	介護老人保健施設風花苑(与論町)	グループホーム愛愛(鹿児島市)															
取組内容	優先課題及びその他取組	腰痛対策 3S活動	腰痛対策 タイムスタディ															
試用介護ロボット	SASUKE	SASUKE	Hug T1 ・マッスルスーツ Every															
取組期間	令和6年8月～令和7年2月 (伴走支援報告 令和7年2月21日)																	

5 介護現場の業務改善・負担軽減の推進		所管部署	介護実習・普及センター
令和6年度事業計画		具体的成果等	
事業実施概要等			
力 生産性向上の関連情報の収集・提供	<p>C 改善活動の振り返り A 実行計画の練り直し</p> <p>(1) 生産性向上の関連情報の収集 国が主導する介護現場における生産性向上推進フォーラムや勉強会、全国・九州ブロックの連絡会議等に参加し、介護生産性向上に関する最新の情報を収集した。</p> <p>(2) 生産性向上の関連情報の提供 ①鹿児島県社会福祉協議会のホームページに「介護ロボット」の紹介を行うほか、随時、研修・イベント等の情報を発信した。</p> <p>②介護ロボット鹿児島フォーラムの開催 福祉用具の日のイベントである「介護生活フェスDX！」に併せて開催した。 ○開催日・参加人数 令和6年10月4日・5日 54人（特別講演会） ○内 容 介護ロボット等の展示・体験会 特別講演会(10月5日) 「介護DXによる生産性向上～介護ロボット/ICTの活用で業務改革を図る～」</p>	<p>生産性向上推進フォーラム等に参加して、最新の情報を収集するとともに、ホームページ等を通じて広く情報提供することができた。</p>	
キ 事業の周知	<p>かごろボ専用ページや広報紙「ふくしのひろば」等を通じ、介護生産性向上に関する様々な情報を発信した。 また、介護ロボット等相談窓口の案内チラシを作成し、介護事業所等に配布した。チラシ作成部数 11,000枚</p>	<p>介護生産性向上に関する様々な情報及び相談窓口「かごろボ」の事業内容について、広く周知することができた。</p>	
ク ネットワークの構築	<p>(1) 全国連絡会議 全国のセンター担当者が集まり、意見交換を行うとともに、ネットネットワーク構築に努めた。 ① 第1回相談窓口・リビンググラボネットワークショップ会議 日 時：令和6年7月16日 15:35～17:25 内 容：行政説明(厚生労働省ほか) グループディスカッション等</p>	<p>全国及び九州ブロックの連絡会議を通じて、各地の取組内容や課題を共有し、意見交換を行うなど、ネットワークの構築が図られた。</p>	

	<p>② 第2回相談窓口・リビングラボネットワーク会議 日 時：令和7年3月5日 13:00～15:00 内 容：行政説明（厚生労働省ほか） 相談窓口の取組報告等</p> <p>(2) 九州ブロック連絡会議 九州のセンター担当者が集まり、意見交換を行うとともに、ネットワーク構築に努めた。</p> <p>① 九州ブロック担当者連絡会議 日 時：令和6年10月21日 13:00～15:00 内 容：講演（厚生労働省）、各県の取組の発表、意見交換等</p> <p>② 九州介護イノベーション推進会議 日 時：令和6年11月28日 13:00～17:00 内 容：各県センターの取組報告、課題・解決策のディスカッション等</p>	
--	--	--

II-2 福祉人材の養成・資質の向上

1	社会福祉事業従事者等研修の実施	所管部署	福祉人材・研修センター 生活支援部																							
<p>(1) 県委託研修 ア 社会福祉施設等職員研修 (8コース)</p>	<p>社会福祉事業従事者の資質向上等を図るため、次の研修を実施した。 ア 社会福祉施設等職員研修（8コース）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研 修 区 分 (受講対象)</th> <th>期 日</th> <th>受講者数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 新任職員研修（2回開催） （経年数1～2年目の新任職員）</td> <td>令和6年5月15日～16日 5月28日～29日</td> <td>130人</td> <td>・受講者数：対前年度 +6人</td> </tr> <tr> <td>② 中堅職員研修 （社会福祉施設等に勤務する中堅職員）</td> <td>令和6年6月25日～26日</td> <td>48人</td> <td>・受講者数：対前年度 △51人</td> </tr> <tr> <td>③ 監督職員研修 （指導的立場にある職員）</td> <td>令和6年10月24日～25日</td> <td>27人</td> <td>・受講者数：対前年度 △20人</td> </tr> <tr> <td>④ 施設長等運営管理職員研修 （正副施設長、事務長等の運営管理職員）</td> <td>令和6年11月1日</td> <td>40人</td> <td>・受講者数：対前年度 +5人</td> </tr> <tr> <td>⑤-1 社会福祉施設監事等 研修（法人の理事、監事及び施設長・事務長）</td> <td>令和6年7月30日</td> <td>77人</td> <td>・受講者数：対前年度 +5人</td> </tr> </tbody> </table>	研 修 区 分 (受講対象)	期 日	受講者数	備 考	① 新任職員研修（2回開催） （経年数1～2年目の新任職員）	令和6年5月15日～16日 5月28日～29日	130人	・受講者数：対前年度 +6人	② 中堅職員研修 （社会福祉施設等に勤務する中堅職員）	令和6年6月25日～26日	48人	・受講者数：対前年度 △51人	③ 監督職員研修 （指導的立場にある職員）	令和6年10月24日～25日	27人	・受講者数：対前年度 △20人	④ 施設長等運営管理職員研修 （正副施設長、事務長等の運営管理職員）	令和6年11月1日	40人	・受講者数：対前年度 +5人	⑤-1 社会福祉施設監事等 研修（法人の理事、監事及び施設長・事務長）	令和6年7月30日	77人	・受講者数：対前年度 +5人	<p>研修内容等について、研修受講者から概ね高評価を得ている</p>
研 修 区 分 (受講対象)	期 日	受講者数	備 考																							
① 新任職員研修（2回開催） （経年数1～2年目の新任職員）	令和6年5月15日～16日 5月28日～29日	130人	・受講者数：対前年度 +6人																							
② 中堅職員研修 （社会福祉施設等に勤務する中堅職員）	令和6年6月25日～26日	48人	・受講者数：対前年度 △51人																							
③ 監督職員研修 （指導的立場にある職員）	令和6年10月24日～25日	27人	・受講者数：対前年度 △20人																							
④ 施設長等運営管理職員研修 （正副施設長、事務長等の運営管理職員）	令和6年11月1日	40人	・受講者数：対前年度 +5人																							
⑤-1 社会福祉施設監事等 研修（法人の理事、監事及び施設長・事務長）	令和6年7月30日	77人	・受講者数：対前年度 +5人																							

1 社会福祉事業従事者等研修の実施		所管部署		福祉人材・研修センター 生活支援部		
令和6年度事業計画		事業実施概要等		具体的成果等		
	⑤-2 市町村社会福祉協議会 監事研修 (市町村社協の監事・事務局職員等)	令和6年9月2日	38人	・受講者数：対前年度 △14人		
		令和6年8月25日	16人	・受講者数：対前年度 △3人		

イ	社会福祉行政職員研修 (1コース)	イ 社会福祉行政職員研修 (1コース)				
	研修区分 (受講対象)	期日	受講者数	備考		
	① 社会福祉行政職員研修 (福祉事務所等に勤務する職員(生活保護担当者等 除く))	令和6年5月22日	18人	・受講者数：対前年度 +4人		

ウ	被保護世帯法律問題等研修 (5コース)	ウ 被保護世帯法律問題等研修 (5コース) 受講対象者：県・市町村福祉事務所等の生活保護担当職員				
	研修区分	期日	受講者数	備考		
	① 新任生活保護担当職員研修	令和6年5月9日～10日	84人	・受講者数：対前年度 +3人		
	② 生活保護担当職員研修	令和6年6月10日～11日	27人	・受講者数：対前年度 +7人		
	③ 法律問題研修 (扶養)	令和6年7月9日～10日	41人	・受講者数：対前年度 0人		
	④ 法律問題研修 (資産)	令和6年8月6日～7日	42人	・受講者数：対前年度 +7人		
	⑤ 法律問題研修 (他法他施策)	令和6年12月3日～4日	42人	・受講者数：対前年度 +7人		

エ	福祉サービス第三者評価調 査者継続研修 (2コース)	福祉サービス第三者評価調査者に対して、業務を継続的に実施する ために必要な知識等の付与及び資質向上のための福祉サービス第 三者評価調査者継続研修を実施した。 (期日) 令和6年8月10日、9月21日 (開催方法) 集合(8/10)及びオンライン(9/21)開催				円滑な評価が行えるよう演習 主体の研修を実施することで、 調査者の資質向上が図られた。

	<p>〈対象者〉 鹿児島県の評価調査者養成研修修了者名簿に記載されている者 〈受講者数〉 30人 〈内容〉 行政説明「第三者評価の実施状況と課題」 講義「評価調査者に必要な視点と能力」 事例研修「評価と着眼点の理解」</p>																																									
<p>(2) 独自研修 (社会福祉関係職員課題別研修)</p>																																										
<p>ア 職場内研修担当者職員研修 (養成1回・フォローアップ1回)</p>	<p>社会福祉関係職員課題別研修</p>																																									
<p>イ カウンセリング研修 (基礎1回・発展1回)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="526 1238 646 1615">研 修 区 分 (受講対象)</th> <th data-bbox="526 907 646 1238">期 日</th> <th data-bbox="526 734 646 907">受講者数</th> <th data-bbox="526 306 646 734">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="526 1238 630 1615">① 職場内研修担当者職員研修 養成コース (職場内研修を推進する担当者)</td> <td data-bbox="526 907 630 1238">令和6年11月25日～26日</td> <td data-bbox="526 734 630 907">26人</td> <td data-bbox="526 306 630 734">・受講者数：対前年度 △22人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="630 1238 726 1615">② 職場内研修担当者職員研修 フォローアップコース (職場内研修を推進する担当者)</td> <td data-bbox="630 907 726 1238">令和6年12月23日～24日</td> <td data-bbox="630 734 726 907">17人</td> <td data-bbox="630 306 726 734">・受講者数：対前年度 △8人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="726 1238 813 1615">③ カウンセリング研修(基礎) (各種相談業務従事職員)</td> <td data-bbox="726 907 813 1238">令和6年7月22日～23日</td> <td data-bbox="726 734 813 907">121人</td> <td data-bbox="726 306 813 734">・受講者数：対前年度 +54人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="813 1238 893 1615">④ カウンセリング研修(発展) (各種相談業務従事職員)</td> <td data-bbox="813 907 893 1238">令和6年12月9日～10日</td> <td data-bbox="813 734 893 907">70人</td> <td data-bbox="813 306 893 734">・受講者数：対前年度 +40人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="893 1615 981 2089">ウ 救急法研修 (2回)</td> <td data-bbox="893 734 981 1615"> (1班) 令和6年8月 8日 (2班) 令和6年9月20日 </td> <td data-bbox="893 734 981 907">93人</td> <td data-bbox="893 306 981 734">・受講者数：対前年度 +4人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="981 1615 1061 2089">エ ハラスメント対応研修 (2回)</td> <td data-bbox="981 734 1061 1615"> (1班) 令和6年 9月26日 (2班) 令和6年10月22日 </td> <td data-bbox="981 734 1061 907">120人</td> <td data-bbox="981 306 1061 734">・受講者数：対前年度 △34人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1061 1615 1141 2089">オ 福祉施設・事業所広報力 アップSNS講座 (1回)</td> <td data-bbox="1061 734 1141 1615">令和6年7月16日</td> <td data-bbox="1061 734 1141 907">73人</td> <td data-bbox="1061 306 1141 734">・受講者数：対前年度 △42人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1141 1615 1220 2089">カ ケアマネジャースキル アップ研修 (1回)</td> <td data-bbox="1141 734 1220 1615">令和6年7月25日</td> <td data-bbox="1141 734 1220 907">43人</td> <td data-bbox="1141 306 1220 734">・受講者数：対前年度 △36人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1220 1615 1300 2089">キ サービス管理責任者スキル アップ研修 (1回)</td> <td data-bbox="1220 734 1300 1615">令和6年6月6日</td> <td data-bbox="1220 734 1300 907">87人</td> <td data-bbox="1220 306 1300 734">・受講者数：対前年度 +39人</td> </tr> </tbody> </table>	研 修 区 分 (受講対象)	期 日	受講者数	備 考	① 職場内研修担当者職員研修 養成コース (職場内研修を推進する担当者)	令和6年11月25日～26日	26人	・受講者数：対前年度 △22人	② 職場内研修担当者職員研修 フォローアップコース (職場内研修を推進する担当者)	令和6年12月23日～24日	17人	・受講者数：対前年度 △8人	③ カウンセリング研修(基礎) (各種相談業務従事職員)	令和6年7月22日～23日	121人	・受講者数：対前年度 +54人	④ カウンセリング研修(発展) (各種相談業務従事職員)	令和6年12月9日～10日	70人	・受講者数：対前年度 +40人	ウ 救急法研修 (2回)	(1班) 令和6年8月 8日 (2班) 令和6年9月20日	93人	・受講者数：対前年度 +4人	エ ハラスメント対応研修 (2回)	(1班) 令和6年 9月26日 (2班) 令和6年10月22日	120人	・受講者数：対前年度 △34人	オ 福祉施設・事業所広報力 アップSNS講座 (1回)	令和6年7月16日	73人	・受講者数：対前年度 △42人	カ ケアマネジャースキル アップ研修 (1回)	令和6年7月25日	43人	・受講者数：対前年度 △36人	キ サービス管理責任者スキル アップ研修 (1回)	令和6年6月6日	87人	・受講者数：対前年度 +39人	
研 修 区 分 (受講対象)	期 日	受講者数	備 考																																							
① 職場内研修担当者職員研修 養成コース (職場内研修を推進する担当者)	令和6年11月25日～26日	26人	・受講者数：対前年度 △22人																																							
② 職場内研修担当者職員研修 フォローアップコース (職場内研修を推進する担当者)	令和6年12月23日～24日	17人	・受講者数：対前年度 △8人																																							
③ カウンセリング研修(基礎) (各種相談業務従事職員)	令和6年7月22日～23日	121人	・受講者数：対前年度 +54人																																							
④ カウンセリング研修(発展) (各種相談業務従事職員)	令和6年12月9日～10日	70人	・受講者数：対前年度 +40人																																							
ウ 救急法研修 (2回)	(1班) 令和6年8月 8日 (2班) 令和6年9月20日	93人	・受講者数：対前年度 +4人																																							
エ ハラスメント対応研修 (2回)	(1班) 令和6年 9月26日 (2班) 令和6年10月22日	120人	・受講者数：対前年度 △34人																																							
オ 福祉施設・事業所広報力 アップSNS講座 (1回)	令和6年7月16日	73人	・受講者数：対前年度 △42人																																							
カ ケアマネジャースキル アップ研修 (1回)	令和6年7月25日	43人	・受講者数：対前年度 △36人																																							
キ サービス管理責任者スキル アップ研修 (1回)	令和6年6月6日	87人	・受講者数：対前年度 +39人																																							

1	社会福祉事業従事者等研修の実施		所管部署	福祉人材・研修センター 生活支援部
令和6年度事業計画		事業実施概要等		
具体的成果等				
ク (新) 主体性を向上させるためのモチベーションアップ研修 (1回)	⑩ 主体性を向上させるためのモチベーションアップ研修 (社会福祉施設及び姉妹社協に勤務する管理者及び中堅職員)	令和6年 6月19日	79人	・ 令和6年度新規
ケ 鹿児島市内施設対象階層別研修 ・ 社会福祉施設等新任職員研修 ・ 社会福祉施設等中堅職員研修 ・ 社会福祉施設等監督職員研修等 ・ 社会福祉施設等運営管理職員研修	⑪ 社会福祉施設等新任・中堅・監督・施設長等運営管理職員研修	県委託研修の社会福祉施設等新任・中堅・監督・施設長等運営管理職員研修に同じ	155人	・ 受講者数：対前年度 △4人
コ 福祉サービスキング研修 (1回：1～2月頃)	令和6年度福祉サービスキング研修の開催 (開催日) 令和7年2月4日(火) (開催方法) オンライン (Zoom) 開催 (参加者) 苦情受付担当者・苦情解決責任者 175人 (内容) 講義・演習 「コミュニケーション力と組織力を強化する苦情解決能力向上研修」 株式会社ツクイスタッフ パートナー講師 喜山 志津香 氏			オンライン上でのグループワークを通して苦情の原因分析やコミュニケーションの知識及び苦情解決プロセスを学んだことで、各事業所における苦情対応の参考となり、苦情受付担当者・解決責任者等の役割の理解が深まり、対応スキルの向上が図られた。 また、事業所の管理者等を対象にリスクマネジメント研修を開催し、事業所において備えるべきリスクや緊急時の対応について認識することができた。 (苦情対応研修) ・ R5年度参加者 184人 ・ 対前年度 95.1%
サ 福祉サービスキングマネジメント研修 (1回：8月頃)	令和6年度福祉サービスキングマネジメント研修の開催 (開催日) 令和6年12月11日(水) (開催方法) オンライン (Zoom) 開催 (参加者) 福祉施設・事業所の管理者、リスクマネジメント担			(リスクマネジメント研修) ・ R5年度参加者 162人 ・ 対前年度 122.8%

<p>(3) 介護職員チームリーダー養成研修支援事業 県内各地域での研修支援 県社協に申込みのあった介護事業所等のうちから、20か所程度（同一地域原則2回開催）を決定して実施する。</p>	<p>〈内 容〉 当事者、苦情解決責任者、過去に福祉サービス苦情解決研修会（中級編）を修了した者 199人 講義・演習 「リスク認識力向上研修～現場員が講ずべきリスク～」 株式会社フォアサービスコンサルティング 代表取締役 浅野 睦 氏</p> <p>新人職員の定着と離職防止、質の高い介護サービスの提供を促すため、介護事業所に勤務する中堅職員等を対象に新人職員への指導方法等も含めたスキルアップ研修を実施した。 研修実施箇所 40か所（離島10か所） 研修実施回数 63回 参加事業所数 258事業所 研修参加人数 1,100人</p>	<p>介護事業所に勤務する中堅職員等の資質向上を通じて、若手職員の離職防止や事業所の介護サービスの質の向上に資するとともに、職場内研修の充実にも資することができた。</p>
<p>2 介護の仕事への理解促進</p> <p>(1) 未来の福祉・介護担い手スタートアップ事業 ア 小中高校と介護事業所等のマッチングの実施 イ 小中高校生等と介護事業所の職員等との相互訪問の実施</p> <p>(2) 介護の入門的研修事業 ア 介護の入門的研修の実施 (7) 実施か所 県内7か所 (4) 対象者 定年退職予定者、中高年齢者、子育てが一段落した者など (7) 研修時間 21時間（7時間×3日間） (イ) 研修内容 介護の基礎知識、認知症・障害への理解、基本的な介護の方法など</p>	<p>子どもたちの福祉・介護の職場への興味や関心を高めるため、小・中・高校や介護事業所において、介護に関する講話等を実施した。 実施校数 15校（小学校9、中学校1、高等学校4、義務教育学校1） 参加児童・生徒数 498人 協力事業所数 18事業所 〔 特別養護老人ホーム7、グループホーム4 デイサービスセンター3、訪問介護事業所1 軽費老人ホーム1、病院1、その他1 〕</p> <p>① 介護の入門的研修の実施 〈実施か所〉 県内7か所 〈受講者数〉 117人（修了者数105人） 〈研修時間〉 21時間（1地区7時間×3日間） 〈研修内容〉 基礎知識、認知症・障害への理解、基本的な介護の方法など ② 研修修了者へのフォローアップ 就労を希望する者に対する就職支援 求職票提出者数 17人 就労決定者数 2人</p>	<p>所管部署 福祉人材・研修センター</p> <p>福祉・介護の職場に興味を持ってもらう機会を作ること、将来一人でも多くの小中高校生が福祉・介護分野で活躍することへの希望をもってもらえるよう、小中高校生の理解を促進することに資することができた。</p> <p>介護未経験者が、介護の業務に携わる上で、知っておくべき基本的な介護技術を内容とする入門的研修の実施により、介護の仕事への理解が深まり、業務に携わる上での不安を払拭し、介護分野への多様な人材の参入のきっかけづくりに資することができた。</p>

2 介護の仕事への理解促進		所管部署	福祉人材・研修センター
令和6年度事業計画		具体的成果等	
イ 研修終了者への就労支援等のフォローアップ			
3	法定資格取得に関する研修の実施	所管部署	福祉人材・研修センター 介護実習・普及センター
(1)	介護支援専門員実務研修受講試験 ア 試験期日 令和6年10月頃 試験会場 鹿児島市(3会場) 奄美市(1会場) ウ 受験見込者数 約1,350人	<p>〈試験会場〉 令和6年10月13日(日) 4会場(鹿児島市:3会場, 奄美市:1会場) 鹿児島県社会福祉センター ホテル自治会館 鹿児島大学農学部 アマホームPLAZA(奄美市市民交流センター)</p> <p>〈受験申込者数〉 1,090人 〈受験者数〉 953人 〈合格者数〉 253人 〈合格率〉 26.5%</p>	<p>介護保険制度において、中核的な役割を果たす介護支援専門員の確保に寄与した。</p> <p>前年度 増減 受験申込者: 1,261人 171人減 受験者数: 1,115人 15人減 合格者数: 181人 72人増 合格率: 16.2% 10.3%増</p>
(2)	介護支援専門員更新・再研修(1回)	<p>介護支援専門員を対象者及び再研修の対象者(証発行なし・期限切れの者)に対して、介護支援専門員更新・再研修を実施した。</p> <p>〈研修時間〉 56.5時間 〈研修日程〉 前期 オンデマンド配信 27.5時間 配信: 令和6年8月9日(金)~29日(木) 後期 ハイブリッド型 29時間 研修日: 令和6年9月9日(月)~13日(金)</p> <p>〈受講者数〉 262人 〈修了者数〉 260人(更新 130人, 再 130人)</p>	<p>円滑かつ適切なケアマネジメンツを実践できる人材の養成が図られた。</p> <p>また、新たにEラーニングを導入したことで、受講者の負担軽減が図られた。</p> <p>受講者数: 前年度より 7人減</p>
(3)	介護支援専門員実務研修(1回)	<p>介護支援専門員実務研修受講試験合格者に対して、介護支援専門員実務研修を実施した。</p> <p>〈研修時間〉 87 時間</p>	<p>円滑な業務遂行と質の高いケアマネジメンツを実践できる人材の育成を図ることができた。</p> <p>また、新たにEラーニングが</p>

<p>びハローワークの教育訓練給付制度を導入したことで、受講者の負担軽減が図られた。</p> <p>受講者数 前年度より84人増</p>	<p>〈研修日程〉 前期Ⅰ オンデマンド 30.5時間 配信：令和6年12月26日(木)～令和7年1月20日(月) 前期Ⅱ ハイブリッド型 28時間 研修日：令和7年1月27日(水)～31日(金) 実習 令和7年2月3日(月)～28日(金)のうち3日以上 (実習受入事業所 203ヶ所) 後期 ハイブリッド型 28.5時間 研修日：令和7年3月5日(水)～7日(金) 3月10日(月)、11日(火)</p> <p>〈受講者数〉 253人 〈修了者数〉 252人 (うち合格者235人、過年度合格者17人)</p>																							
<p>認知症高齢者の介護業務に従事する実践者や管理者等に対する研修機会を提供することにより、専門性の高い認知症介護の知識・技術の習得が図られ、サービス品質の確保に繋がるとともに、適正なサービス運営に資することができた。</p>	<p>(4) 認知症介護実践者等研修</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修名</th> <th>実施年月日</th> <th>参加申込</th> <th>修了者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ア 認知症介護実践者研修 (3回)</td> <td>① 令和6年 5月21日～ 7月 2日</td> <td rowspan="3">248人</td> <td rowspan="3">210人</td> </tr> <tr> <td>② 令和6年 9月10日～10月22日</td> </tr> <tr> <td>③ 令和6年12月10日～令和7年 2月 4日</td> </tr> <tr> <td>イ 認知症介護実践リーダー研修 (1回)</td> <td>令和6年7月17日～9月26日</td> <td>105人</td> <td>61人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ウ 認知症対応型サービス事業管理者研修 (2回)</td> <td>① 令和6年7月4日～7月5日</td> <td rowspan="2">79人</td> <td rowspan="2">75人</td> </tr> <tr> <td>② 令和7年2月13日～ 2月14日</td> </tr> <tr> <td>エ 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修 (1回)</td> <td>令和6年11月7日～8日</td> <td>31人</td> <td>22人</td> </tr> </tbody> </table>	研修名	実施年月日	参加申込	修了者数	ア 認知症介護実践者研修 (3回)	① 令和6年 5月21日～ 7月 2日	248人	210人	② 令和6年 9月10日～10月22日	③ 令和6年12月10日～令和7年 2月 4日	イ 認知症介護実践リーダー研修 (1回)	令和6年7月17日～9月26日	105人	61人	ウ 認知症対応型サービス事業管理者研修 (2回)	① 令和6年7月4日～7月5日	79人	75人	② 令和7年2月13日～ 2月14日	エ 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修 (1回)	令和6年11月7日～8日	31人	22人
研修名	実施年月日	参加申込	修了者数																					
ア 認知症介護実践者研修 (3回)	① 令和6年 5月21日～ 7月 2日	248人	210人																					
	② 令和6年 9月10日～10月22日																							
	③ 令和6年12月10日～令和7年 2月 4日																							
イ 認知症介護実践リーダー研修 (1回)	令和6年7月17日～9月26日	105人	61人																					
ウ 認知症対応型サービス事業管理者研修 (2回)	① 令和6年7月4日～7月5日	79人	75人																					
	② 令和7年2月13日～ 2月14日																							
エ 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修 (1回)	令和6年11月7日～8日	31人	22人																					

3	法定資格取得に関する研修の実施		所管部署	福祉人材・研修センター 介護実習・普及センター	
令和6年度事業計画		事業実施概要等			具体的成果等
才	認知症対応型サービス事業開設者研修 (1回)	認知症対応型サービス事業開設者研修	令和6年11月15日	22人	20人
		計	485人		388人
(5)	障害福祉人材育成研修	相談支援専門員及びサービス管理責任者、児童発達支援管理責任者等の資格取得希望者に対して、障害福祉人材育成研修を実施した。	県内における相談支援専門員及びサービス管理責任者、児童発達支援管理責任者、強度行動障害支援者の人材育成が推進された。		
ア	(7)初任者研修 (13日間)	(7) 初任者研修 (前期)	令和6年8月1日(木)～8月7日(火) (相談)	(前期) 定員600人に対し、81.2%	
	(7)初任者研修 (2日間+5日間)	〈手法〉 〈受講者数〉 509人 〈修了者数〉 487人	令和6年8月14日(火)～8月20日(火) (サビ管・児発管)	(中期～後期) 定員120人に対し、95.8%	
		初任者研修 (中期～後期)	令和6年8月27日(火)、9月4日(水)または7日(土)		
		〈手法〉 〈受講者数〉 129人 〈修了者数〉 115人	令和6年10月1日(火)、11月5日(火)～6日(水)		
		(4) 現任研修 (4日間)	Web会議システム「Zoom」		
		(4) 現任研修 (4日間)	令和6年11月12日(火)～18日(月)	定員90人に対し、126.7%	
		〈手法〉 〈受講者数〉 117人 〈修了者数〉 114人	オンデマンド配信		
		(7) 専門コース別研修 (1日間)	令和6年12月17日(火)		
		〈手法〉 〈受講者数〉 78人 〈修了者数〉 78人	令和7年1月24日(金)		
		〈手法〉 〈受講者数〉 78人 〈修了者数〉 78人	令和7年2月21日(金)		
		(7) 専門コース別研修 (1日間)	Web会議システム「Zoom」		
		〈手法〉 〈受講者数〉 78人 〈修了者数〉 78人	令和6年7月2日(火)		
		〈手法〉 〈受講者数〉 78人 〈修了者数〉 78人	Web会議システム「Zoom」		
		(7) 専門コース別研修 (1日間)	令和6年7月2日(火)		
		〈手法〉 〈受講者数〉 78人 〈修了者数〉 78人	Web会議システム「Zoom」		
		(7) 専門コース別研修 (1日間)	令和6年7月2日(火)		
		〈手法〉 〈受講者数〉 78人 〈修了者数〉 78人	Web会議システム「Zoom」		
		(7) 専門コース別研修 (1日間)	令和6年7月2日(火)		
		〈手法〉 〈受講者数〉 78人 〈修了者数〉 78人	Web会議システム「Zoom」		

<p>(エ) ファシリテーター研修 (1日間)</p>	<p>(エ) ファシリテーター研修 〈期 日〉 令和6年4月25日(木) 〈手 法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 69人</p>	<p>定員60人に対し、 115.0%</p>
<p>イ サービス管理責任者等研修 (24日間)</p> <p>(7) 基礎研修 (1日研修) + (2日間 × 4回)</p>	<p>(7) 基礎研修 (共通講義) 〈期 日〉 令和6年9月12日(木)～18日(水) 〈手 法〉 オンラインマインド配信</p> <p>基礎研修-1 (演習) 〈期 日〉 令和6年10月3日(木)～4日(金) 〈手 法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 97人 〈修了者数〉 90人</p> <p>基礎研修-2 (演習) 〈期 日〉 令和6年10月29日(火)～30日(水) 〈手 法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 127人 〈修了者数〉 120人</p> <p>基礎研修-3 (演習) 〈期 日〉 令和6年11月11日(月)～12日(火) 〈手 法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 97人 〈修了者数〉 89人</p> <p>基礎研修-4 (演習) 〈期 日〉 令和6年11月20日(水)～21日(木) 〈手 法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 129人 〈修了者数〉 120人</p>	<p>定員120人に対し、 75.0%</p> <p>定員120人に対し、 100.0%</p> <p>定員120人に対し、 74.2%</p> <p>定員120人に対し、 100.0%</p>
<p>(4) 実践研修 (1日研修) + (2日間 × 4回)</p>	<p>(4) 実践研修 (共通講義) 〈期 日〉 令和6年12月3日(火)～9日(月) 〈手 法〉 オンラインマインド配信</p> <p>実践研修-1 〈期 日〉 令和7年1月16日(木)～17日(金) 〈手 法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 106人 〈修了者数〉 105人</p>	<p>定員120人に対し、 87.5%</p>

3	法定資格取得に関する研修の実施		所管部署	福祉人材・研修センター 介護実習・普及センター
令和6年度事業計画		事業実施概要等		具体的成果等
	<p>実践研修-2 〈期 日〉 令和7年1月21日(火)～22日(水) 〈手 法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 117人 〈修了者数〉 116人</p> <p>実践研修-3 〈期 日〉 令和7年2月3日(月)～4日(火) 〈手 法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 106人 〈修了者数〉 103人</p> <p>実践研修-4 〈期 日〉 令和7年2月18日(火)～19日(水) 〈手 法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 117人 〈修了者数〉 112人</p>	<p>定員120人に対し、 96.7%</p> <p>定員120人に対し、 85.8%</p> <p>定員120人に対し、 93.3%</p>		
<p>(ウ) 更新研修 (2日研修×3回)</p>	<p>当初3回を予定していたが、受講申し込み者数が定員を下回ったことから、2回へ変更した。</p> <p>(ウ) 更新研修-1 〈期 日〉 令和6年9月5日(木)～6日(金) 〈手 法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 77人 〈修了者数〉 77人</p> <p>更新研修-2 〈期 日〉 令和6年9月18日(水)～19日(木) 〈手 法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 86人 〈修了者数〉 82人</p>	<p>定員100人に対し、 77.0%</p> <p>定員100人に対し、 82.0%</p>		
<p>ウ 強度行動障害支援者養成研修 (10日間)</p> <p>(7) 基礎研修 (2日間×3回)</p>	<p>(7) 基礎研修-A 〈期 日〉 令和6年11月14日(木)～15日(金) 〈手 法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 142人 〈修了者数〉 137人</p>	<p>定員100人に対し、 137.0%</p>		

	<p>基礎研修-B 令和6年12月5日(木)～6日(金) Web会議システム「Zoom」 142人 <修了者数> 136人</p> <p>基礎研修-C 令和6年12月12日(木)～13日(金) Web会議システム「Zoom」 141人 <修了者数> 137人</p>	<p>定員100人に対し、136.0%</p> <p>定員100人に対し、137.0%</p>								
<p>(4) 実践研修 (2日間×2回)</p>	<p>(4) 実践研修 (共通講義) 令和7年1月9日(木)～15日(水) オンラインマインド配信</p> <p>実践研修-D (演習) 令和7年2月6日(木)～7日(金) Web会議システム「Zoom」 142人 <修了者数> 137人</p> <p>実践研修-E (演習) 令和7年2月13日(木)～14日(金) Web会議システム「Zoom」 142人 <修了者数> 135人</p>	<p>定員120人に対し、114.2%</p> <p>定員120人に対し、112.5%</p>								
<p>(6) 福祉用具専門相談員養成研修 研修期間 令和6年5月～6月 研修時間 51時間(延べ8日間) 定員 30人 その他 研修修了者は福祉用具専門相談員の資格取得</p>	<p>介護保険法で定められた福祉用具販売・貸与事業所で勤務するための研修会 ために必要な「福祉用具専門相談員」の資格を取得するための研修会を開催した。</p> <table border="1" data-bbox="1066 734 1294 1615"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>定員</th> <th>修了者数</th> <th>講座内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和6年 5月18, 19, 25, 26日 6月1, 2, 8, 9日 (8日間 51時間)</td> <td>30人</td> <td>16人</td> <td>福祉用具の役割, 職業倫理, 介護保険制度等の目的と 仕組み, からだとこころの 理解, 福祉用具の特徴等</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	定員	修了者数	講座内容	令和6年 5月18, 19, 25, 26日 6月1, 2, 8, 9日 (8日間 51時間)	30人	16人	福祉用具の役割, 職業倫理, 介護保険制度等の目的と 仕組み, からだとこころの 理解, 福祉用具の特徴等	<p>福祉用具専門相談員16人を養成することができた。</p> <p>修了者数 定員に比べ14人減 前年度より1人減</p>
実施日	定員	修了者数	講座内容							
令和6年 5月18, 19, 25, 26日 6月1, 2, 8, 9日 (8日間 51時間)	30人	16人	福祉用具の役割, 職業倫理, 介護保険制度等の目的と 仕組み, からだとこころの 理解, 福祉用具の特徴等							
<p>(7) 教員免許介護等体験受入調整事業 (対象学生予定数: 530人)</p>	<p>小学校及び中学校の教諭の免許状を取得しようとする大学等入学者に対する介護等体験の社会福祉施設への受入調整を行った。</p>	<p>教員免許取得志望者の資質向上及び学校教育の充実に寄与できた。</p>								

3	法定資格取得に関する研修の実施	福祉人材・研修センター 介護実習・普及センター	所管部署																				
令和6年度事業計画		事業実施概要等																					
		①介護等体験申込者数 582人 ②介護等体験終了者数 559人 ③介護等体験期間 令和6年7月8日(月)～令和7年2月7日(金)																					
4	介護実習・普及センターの運営	①介護等体験申込者数 582人 ②介護等体験終了者数 559人 ③介護等体験期間 令和6年7月8日(月)～令和7年2月7日(金)																					
(1) 介護に関する情報収集・提供		① 貸出状況 <table border="1" data-bbox="555 734 699 1615"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書</td> <td></td> <td>37冊</td> <td>24冊</td> <td>13冊</td> </tr> <tr> <td>ビデオ</td> <td></td> <td>0本</td> <td>0本</td> <td>0本</td> </tr> <tr> <td>DVD</td> <td></td> <td>12本</td> <td>16本</td> <td>△4本</td> </tr> </tbody> </table>		区分	年度	令和6年度	令和5年度	増減	図書		37冊	24冊	13冊	ビデオ		0本	0本	0本	DVD		12本	16本	△4本
区分	年度	令和6年度	令和5年度	増減																			
図書		37冊	24冊	13冊																			
ビデオ		0本	0本	0本																			
DVD		12本	16本	△4本																			
ア 図書・DVD等の貸出		② 整備状況 <table border="1" data-bbox="699 734 895 1615"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度まで</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書</td> <td></td> <td>12冊</td> <td>623冊</td> <td>635冊</td> </tr> <tr> <td>ビデオ</td> <td></td> <td>0本</td> <td>79本</td> <td>79本</td> </tr> <tr> <td>DVD</td> <td></td> <td>0本</td> <td>145本</td> <td>145本</td> </tr> </tbody> </table>		区分	年度	令和6年度	令和5年度まで	計	図書		12冊	623冊	635冊	ビデオ		0本	79本	79本	DVD		0本	145本	145本
区分	年度	令和6年度	令和5年度まで	計																			
図書		12冊	623冊	635冊																			
ビデオ		0本	79本	79本																			
DVD		0本	145本	145本																			
イ パンフレットの配布		① 介護実習・普及センター研修・事業のご案内 介護実習・普及センターの実施事業等の周知を図り、研修及び講座等への参加を募るため、15,000部のパンフレットを作成し、一般県民、介護施設及び県内関係機関等に配布した。 ② 介護離職防止パンフレット 介護離職防止を目的としたパンフレットを8,000部作成し、市町村・地域振興局・支庁・市町村社協・県立病院・認知症疾患医療センター・鹿児島銀行（県内全店舗）等に配布した。																					
ウ 全国会議及び九州ブロック会議への参加		① 全国福祉用具相談・研修機関協議会 ア 第1回総会 参加なし 〈期日〉 令和6年6月25日（火） 〈会場〉 リモート開催																					
所管部署		福祉人材・研修センター 介護実習・普及センター																					
具体的成果等		①介護等体験申込者数 前年度より2人減 ②介護等体験終了者数 前年度より6人減																					
所管部署		介護実習・普及センター																					
図書・DVD等の貸出により、介護に関する情報提供が図られた。		パンフレットの配布により、介護実習・普及センター事業の周知が図られ、多くの県民の参加を得ることができた。 パンフレットの配布により、仕事を続けながら介護をするための制度や方法等について周知を図ることができた。 福祉用具に関する最新の情報や九州各県等の情報を広く共有し、業務遂行に役立てることができた。																					

<p>ア やさしい介護教室（12回）</p>	<p>イ 第2回総会及び全国会議 1名参加 〈期 日〉 令和6年10月18日（金）～19日（土） 〈会 場〉 愛知県 一宮市 ② 九州ブロッック介護実習・普及センター代表者及び担当者会議 3名参加 〈期 日〉 令和6年12月10日（火） 〈会 場〉 リモート開催 ③ 国際福祉機器展 2名参加 〈期 日〉 令和6年10月2日（水）～10月4日（金） 〈会 場〉 東京ビッグサイト 東展示ホール</p>	<p>県民の介護に対する関心を高め、介護の知識や技術の普及促進につながった。</p> <p>参加者数 定員に比べ173人減 前年度より121人増</p>																																																		
<p>(2) 介護知識・技術の普及及び体験学習等（一般県民向け）</p>	<p>家族介護者や介護に関心のある県民に対し、専門家講師の指導による介護の基礎的な知識と介護方法の習得のための講座を開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実施日</th> <th>定員</th> <th>参加者数</th> <th>講 座 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">A</td> <td>令和6年 6月26日</td> <td>30人</td> <td>19人</td> <td>・認知症って!? 認知症の理解, 声かけ, 接し方</td> </tr> <tr> <td>令和6年 9月14日</td> <td>30人</td> <td>17人</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">B</td> <td>令和6年 6月26日</td> <td>30人</td> <td>17人</td> <td>・不安解消! 排泄用具の選び方, 使い方</td> </tr> <tr> <td>令和6年 9月14日</td> <td>30人</td> <td>10人</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C</td> <td>令和6年 8月 1日</td> <td>30人</td> <td>20人</td> <td>・これは助かる! 福祉用具の選び方・使い方</td> </tr> <tr> <td>令和6年10月31日</td> <td>30人</td> <td>13人</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D</td> <td>令和6年 8月 1日</td> <td>30人</td> <td>17人</td> <td>・らくらく! 寝返りから移乗までの介助法</td> </tr> <tr> <td>令和6年10月31日</td> <td>30人</td> <td>20人</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">E</td> <td>令和6年 8月30日</td> <td>30人</td> <td>中止</td> <td>・基本を知ろう! 衣服の着脱, 歩行の介助方法</td> </tr> <tr> <td>令和6年11月 9日</td> <td>30人</td> <td>25人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	実施日	定員	参加者数	講 座 内 容	A	令和6年 6月26日	30人	19人	・認知症って!? 認知症の理解, 声かけ, 接し方	令和6年 9月14日	30人	17人		B	令和6年 6月26日	30人	17人	・不安解消! 排泄用具の選び方, 使い方	令和6年 9月14日	30人	10人		C	令和6年 8月 1日	30人	20人	・これは助かる! 福祉用具の選び方・使い方	令和6年10月31日	30人	13人		D	令和6年 8月 1日	30人	17人	・らくらく! 寝返りから移乗までの介助法	令和6年10月31日	30人	20人		E	令和6年 8月30日	30人	中止	・基本を知ろう! 衣服の着脱, 歩行の介助方法	令和6年11月 9日	30人	25人		<p>県民の介護に対する関心を高め、介護の知識や技術の普及促進につながった。</p> <p>参加者数 定員に比べ173人減 前年度より121人増</p>
区分	実施日	定員	参加者数	講 座 内 容																																																
A	令和6年 6月26日	30人	19人	・認知症って!? 認知症の理解, 声かけ, 接し方																																																
	令和6年 9月14日	30人	17人																																																	
B	令和6年 6月26日	30人	17人	・不安解消! 排泄用具の選び方, 使い方																																																
	令和6年 9月14日	30人	10人																																																	
C	令和6年 8月 1日	30人	20人	・これは助かる! 福祉用具の選び方・使い方																																																
	令和6年10月31日	30人	13人																																																	
D	令和6年 8月 1日	30人	17人	・らくらく! 寝返りから移乗までの介助法																																																
	令和6年10月31日	30人	20人																																																	
E	令和6年 8月30日	30人	中止	・基本を知ろう! 衣服の着脱, 歩行の介助方法																																																
	令和6年11月 9日	30人	25人																																																	

4 介護実習・普及センターの運営	介護実習・普及センター																					
令和6年度事業計画	事業実施概要等																					
イ 福祉用具の日2024快護生活フェス！福祉機器展&セミナーinかごしま (1回)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">F</td> <td>令和6年8月30日</td> <td>30人</td> <td>中止</td> <td rowspan="2">・ここに注意！誤嚥をふせぐ食事の介助方法</td> </tr> <tr> <td>令和6年11月9日</td> <td>30人</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>360人</td> <td>187人</td> <td></td> </tr> </table>	F	令和6年8月30日	30人	中止	・ここに注意！誤嚥をふせぐ食事の介助方法	令和6年11月9日	30人	29人	計		360人	187人		<p>10月1日の「福祉用具の日」に関連して、高齢者や障がい者等の生活に役立つ福祉用具をもっと身近に感じてもらうためのイベントとして、「快護生活フェス！」を開催した。</p>							
F	令和6年8月30日		30人	中止	・ここに注意！誤嚥をふせぐ食事の介助方法																	
	令和6年11月9日	30人	29人																			
計		360人	187人																			
ウ 福祉体験教室 (随時)	<table border="1"> <tr> <th>実施日</th> <th>参加者数</th> <th>内容</th> </tr> <tr> <td>令和6年10月4日～5日</td> <td>2,600人</td> <td>最新の福祉用具（機器）の展示・体験会やセミナーのイベントを開催した。</td> </tr> </table>	実施日	参加者数	内容	令和6年10月4日～5日	2,600人	最新の福祉用具（機器）の展示・体験会やセミナーのイベントを開催した。	<p>多くの参加者があり、展示・体験会やセミナーを通じて、最新の福祉用具や介護知識・技術の普及啓発が図られた。</p>														
実施日	参加者数	内容																				
令和6年10月4日～5日	2,600人	最新の福祉用具（機器）の展示・体験会やセミナーのイベントを開催した。																				
エ 福祉体験教室 (随時)	<table border="1"> <tr> <th>実施日</th> <th>参加者数</th> <th>増減</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>実施回数</th> </tr> <tr> <td>通年</td> <td>1,201人</td> <td>303人</td> <td>898人</td> <td>1,201人</td> <td>198回</td> </tr> </table>	実施日	参加者数	増減	R5年度	R6年度	実施回数	通年	1,201人	303人	898人	1,201人	198回	<p>生活に役立つ福祉用具見学や車いす体験等を通じて、介護やバリアフリーについて理解を深めることにつながった。</p> <p>実施回数 前年度より68回増</p>								
実施日	参加者数	増減	R5年度	R6年度	実施回数																	
通年	1,201人	303人	898人	1,201人	198回																	
工 公立学校共済組合鹿兒島支部介護講座 (5回)	<table border="1"> <tr> <th>実施日</th> <th>定員</th> <th>参加者数</th> <th>講座内容</th> </tr> <tr> <td>令和6年8月7日</td> <td>20人</td> <td>15人</td> <td>介護の心得と福祉用具の選び方</td> </tr> <tr> <td>令和6年8月8日</td> <td>20人</td> <td>18人</td> <td>認知症の理解と身体ケア</td> </tr> <tr> <td>令和6年8月9日</td> <td>20人</td> <td>12人</td> <td>感染症対策と排泄ケア 食事の介助と口腔ケア</td> </tr> <tr> <td>令和6年8月22日</td> <td>20人</td> <td>15人</td> <td>身体介助とポジョニングケア</td> </tr> </table>	実施日	定員	参加者数	講座内容	令和6年8月7日	20人	15人	介護の心得と福祉用具の選び方	令和6年8月8日	20人	18人	認知症の理解と身体ケア	令和6年8月9日	20人	12人	感染症対策と排泄ケア 食事の介助と口腔ケア	令和6年8月22日	20人	15人	身体介助とポジョニングケア	<p>公立学校共済組合からの委託を受け、教職員を対象に、専門家講師の指導による介護講座（基礎・技術コース）を開催した。</p> <p>教職員やその家族への介護に関する知識・技術の普及・啓発が図られた。</p> <p>参加者数 定員に比べ30人減 前年度より6人減</p>
実施日	定員	参加者数	講座内容																			
令和6年8月7日	20人	15人	介護の心得と福祉用具の選び方																			
令和6年8月8日	20人	18人	認知症の理解と身体ケア																			
令和6年8月9日	20人	12人	感染症対策と排泄ケア 食事の介助と口腔ケア																			
令和6年8月22日	20人	15人	身体介助とポジョニングケア																			

(3) 介護専門職員向け研修	令和6年8月27日	20人	10人	介護専門職の介護技術向上を図ることにより、より良いサービス提供を行う人材育成に寄与した。	
	計	100人	70人		
	社会福祉施設等の介護専門職を対象に、介護の基礎技術を確認し、さらなるスキルアップを図るための研修を開催した。				
ア 介護レクリエーション研修 (2回)	実施日	定員	参加者数	参加者数 定員に比べ9人減 前年度より4人減	
	令和6年5月24日	30人	22人		
	令和6年11月22日	30人	29人		
	計	60人	51人		
イ 介護食調理教室 (2回)	実施日	定員	参加者数	参加者数 定員に比べ33人減 前年度より8人減	
	令和6年7月7日	25人	7人		
	令和6年12月1日	25人	10人		
	計	50人	17人		
ウ 介護職の体リフレッシュ 研修 (2回)	実施日	定員	参加者数	参加者数 定員に比べ4人減 前年度より10人増	
	令和6年5月23日	20人	11人		
	令和6年11月21日	20人	25人		
	計	40人	36人		
エ 介護職基礎研修 (8回)	区分	実施日	定員	参加者数	参加者数 定員に比べ219人減 前年度より38人増
	A	令和6年6月20日 (オンライン研修)	50人	6人	
	介護職(自分の身体状態把握と自己改善を図るストレッチ体操)			介護保険制度の理解と介護の心得	

4 介護実習・普及センターの運営	所管部署		介護実習・普及センター				
令和6年度事業計画			事業実施概要等		具体的成果等		
オ 介護職スキルアップ研修 (7) 口腔ケア (2回)	A	令和6年9月19日 (オンライン研修)	50人	11人	・ 認知症疾患別の理解とケア、コミュニケーションのとり方		
	B	令和6年6月21日	30人	3人	・ 高齢者のための転倒予防体操、心身機能低下予防体操		
		令和6年9月20日	30人	11人	・ 身体状況に応じたおむつの選び方、あて方、交換方法		
	C	令和6年7月25日	30人	6人	・ 福祉用具の選び方、使い方等		
		令和6年10月17日	30人	5人	・ 体位変換、ホジジョイングの仕方		
	D	令和6年7月26日	30人	9人	・ 誤嚥をふせぐ食事の姿勢と介助方法		
		令和6年10月18日	30人	10人	・ 身体や腰に負担をかけない起居、移乗、移動の介助方法		
	計			280人	61人		
	(7) 口腔ケア						
	実施日		定員	参加者数	講座内容		
令和6年7月12日		30人	26人	・ 口腔ケアの基礎知識と方法			
令和6年12月6日		30人	26人	・ 拒否される方への対応、コミュニケーションの取り方			
計		60人	52人	・ 口腔ケア体操			
(4) 認知症ケア							
実施日		定員	参加者数	講座内容			
令和6年6月13日		30人	29人	・ 認知症疾患別援助の方法			
令和6年11月28日		30人	28人	・ 事例を通しての理解 (グループワーク)			
(4) 認知症ケア (2回)							
参加者数			定員に比べ8人減 前年度より7人増				
参加者数			定員に比べ3人減 前年度より6人増				

		計	60人	57人	
(ウ) 体位変換・ポジショニング グケア (3回)	(ウ) 体位変換・ポジショニンググケア				
	実施日	定員	参加者数	講座内容	参加者数 定員に比べ32人減 前年度より11人減
	令和6年7月18日	30人	26人	・褥瘡の基礎知識	
	令和6年9月5日	30人	17人	・座位・寝姿勢別体位変換、 ポジショニング方法	
	令和7年1月17日	30人	15人	・車いすのシーティング方法	
計	90人	58人			
(エ) 排泄ケア I (2回)	(エ) 排泄ケア I				
	実施日	定員	参加者数	講座内容	参加者数 定員に比べ13人減 前年度より1人減
	令和6年6月14日	20人	12人	・排泄やアセスメントについ ての基礎知識	
	令和6年11月8日	20人	15人	・おむつの選び方・あて方	
	計	40人	27人	・福祉用具を使った排泄の 介助方法	
(オ) 排泄ケア II (2回)	(オ) 排泄ケア II				
	実施日	定員	参加者数	講座内容	参加者数 定員に比べ11人減 前年度より4人減
	令和6年7月11日	20人	10人	・身体状況に応じたおむつの 種類と選び方	
	令和6年12月5日	20人	19人	・おむつのあて方のポイント	
	計	40人	29人		
(カ) 感染症予防対策と褥瘡ケ ア&救急対応 (2回)	(カ) 感染症予防対策と褥瘡ケ ア&救急対応				
	実施日	定員	参加者数	講座内容	参加者数 定員に比べ5人減 前年度より7人増
	令和6年6月7日	30人	30人	・感染症の予防対策・汚染物 の処理	
	令和6年11月1日	30人	25人	・褥瘡ケア	
	計	60人	55人	・福祉施設での利用者におけ るフィジカルアセスメント	

4	介護実習・普及センターの運営	所管部署	介護実習・普及センター															
令和6年度事業計画		事業実施概要等																
カ 専門職団体等連携講座 (3回)	<p>各職団体と連携し、地域における在宅介護や施設介護のリーダー育成を図るための講義や実技等の講座開催を支援した。</p> <table border="1" data-bbox="343 295 534 734"> <thead> <tr> <th>団体名</th> <th>実施日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県言語聴覚士会</td> <td>令和6年5月19日</td> <td>111人</td> </tr> <tr> <td>県理学療法士協会</td> <td>令和6年9月29日</td> <td>34人</td> </tr> <tr> <td>県作業療法士協会</td> <td>令和7年2月16日</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>145人</td> </tr> </tbody> </table>	団体名	実施日	参加者数	県言語聴覚士会	令和6年5月19日	111人	県理学療法士協会	令和6年9月29日	34人	県作業療法士協会	令和7年2月16日	中止	計		145人	<p>専門職の知識・技術の向上につ がった。</p>	
団体名	実施日	参加者数																
県言語聴覚士会	令和6年5月19日	111人																
県理学療法士協会	令和6年9月29日	34人																
県作業療法士協会	令和7年2月16日	中止																
計		145人																
(4) 福祉用具・バリアフリー住宅 の展示・相談、福祉用具の情報 収集・提供等	<p>介護実習・普及センターの来所者に対し、福祉用具やモデルハウスの案内・説明等を行うとともに、福祉用具等介護に関する相談に対応した。 〔来所者数〕</p> <table border="1" data-bbox="422 295 518 734"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来所者数</td> <td>10,163人</td> <td>8,721人</td> <td>1,442人</td> </tr> <tr> <td>開所日数</td> <td>307日</td> <td>309日</td> <td>△2日</td> </tr> <tr> <td>1日平均</td> <td>33人</td> <td>28人</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table>	年度	令和6年度	令和5年度	増 減	来所者数	10,163人	8,721人	1,442人	開所日数	307日	309日	△2日	1日平均	33人	28人	5人	<p>県民への福祉用具・介護用品等の周知に寄与できた。</p>
年度	令和6年度	令和5年度	増 減															
来所者数	10,163人	8,721人	1,442人															
開所日数	307日	309日	△2日															
1日平均	33人	28人	5人															
〔相談件数〕		(単位:件)																
相談内容	年度	令和6年度	令和5年度															
介護保険	280	280	370															
研修関係	1,083	1,083	962															
移動機器	274	274	257															
排泄	303	303	274															
入浴	296	296	270															
起居移乗	171	171	153															
資格	0	0	4															
			△4															

住宅改修	304	271	33
障害福祉	89	80	9
図書ビデオ	39	41	△2
自助具	167	119	48
介護食	61	52	9
介護ロボット	1,239	0	1,239
生産性向上	268	0	268
その他	568	1,042	△474
計	5,142	3,895	1,247
〔展示数〕 (単位:点)			
分類別	令和6年度	令和5年度	増減
年度			
治療訓練用具	17	17	0
義肢・装具	0	0	0
ハ・ソルガ7関連用具	238	248	△10
移動機器	147	148	△1
家事用具	94	94	0
家具・建具建築設備	41	40	1
コミュニケーション関連用具	18	17	1
操作用具	16	16	0
環境改善機器・作業用具	0	0	0
レクリエーション用具	6	6	0
その他	51	51	0
計	628	637	△9
105社の福祉用具販売（貸与）事業所・メーカーによる使用貸借契約等による展示			

Ⅲ 推進体制の充実・強化

Ⅲ-1 社会福祉施設・団体等の活動促進		所管部署	総務部、地域福祉部 生活支援部
市町村社協経営基盤強化の促進		具体的成果等	
1	令和6年度事業計画		
(1)	市町村社協経営セミナーの開催 (1回)	事業実施概要等	先進的な実践事例を直接学ぶことにより、社協経営の効率化に向けた意識の醸成が図られた。
		<p>県外の先駆的な社協活動の実践報告を参考に、県内市町村社協の今後の社協活動の展開につながるヒントを提供するため開催した。</p> <p>〈期 日〉 令和6年4月23日(火)</p> <p>〈会 場〉 ホテルウェルビューかごしま 2階「潮騒」</p> <p>〈参加者数〉 72人</p> <p>〈内 容〉</p> <p>講 演 大津市社協での実践を通じた組織マネジメント ～「あきらめない」ために、どうすればいいのか～</p> <p>講 師 龍谷大学 社会学部 特任教授 山口 浩次 氏</p>	
(2)	制度改正等説明会 (2回)	<p>市町村社協等に対し、制度改正の情報提供や対応について支援を行うため開催した。</p> <p>〈期 日〉 令和7年3月18日(火)</p> <p>〈形 式〉 オンライン (Zoom)</p> <p>〈参加者数〉 49人</p> <p>〈内 容〉</p> <p>I 説 明: 「包括的支援体制の整備・重層的支援体制整備事業の方向性について『地域共生社会の在り方検討会議』における協議を踏まえ～」</p> <p>報 告: 「重層的支援体制整備事業の取組について～効果や課題など」 県社協 地域福祉部 部長 鹿屋市社協 地域福祉課 地域福祉係長 坂口和博 氏</p> <p>II 説 明: 生活困窮者自立支援事業担当者研修会 「生活困窮者自立支援事業について」 県社協 生活支援部 部長</p> <p>III 講 義: 「身寄りのない高齢者等が抱える課題等への対応について」 NPO法人やどかりプラス 理事長・誌書士 芝田 淳 氏</p>	<p>社協活動に関連する法制度等の改正や、今後の社協活動のあり方について、必要な情報を提供することができた。</p>

<p>(3) 市町村社協の経営に関する指導及び助言</p>	<p>IV 説明：「令和7年度買物弱者支援促進事業について」 県総合政策部 地域政策課 主幹</p> <p>市町村社協からの役員会等の運営や規程関係の相談等に対し、適宜対応し、指導・助言を行った。</p>	<p>社協の役員会等の運営や規程等について、必要な情報を提供することができた。</p>
<p>(4) 生活支援体制整備事業連絡会の開催（2回）</p>	<p>①第1回 〈期 日〉 令和6年7月19日（金） 〈会 場〉 県社会福祉センター 別館 〈参加者数〉 18人 〈内 容〉 説明：「県内の生活支援体制整備事業の状況について」 情報交換：「今ある資源の把握と活用について」 ②第2回 〈期 日〉 令和7年3月14日（金） 〈形 式〉 オンライン（Zoom） 〈参加者数〉 24人 〈内 容〉 報告：「民間施設との協働や地域資源を活かした取組について」 情報交換：「地域のお宝と活動のふり返り、今後の活動展開について」</p>	<p>生活支援体制整備事業に取り組み、市町村社協間の情報交換並びにネットワークの構築が図られ、今後の事業展開に資することができた。</p>
<p>(5) 生活困窮者自立支援事業市町村社協担当職員研修会（2回）</p>	<p>生活困窮者自立支援事業を受託している社協を中心に、生活困窮者自立支援法の令和6年度改正事項とそのポイントについて理解を深め、効果的な相談支援業務の展開を図るため担当職員研修会を開催した。</p> <p>〈期 日〉 令和7年3月18日（火） 〈開催方法〉 Web会議システム（Zoom） 〈参加者数〉 49人 〈内 容〉 「生活困窮者自立支援事業について」 ※ 1-(3)制度改正等説明会に併せて開催</p>	<p>社協活動に関連する法制度等の改正や、今後の社協活動のあり方について、必要な情報を提供することができた。</p>
<p>(6) 県市町村社会福祉協議会連絡協議会の運営 ア 諸会議の開催 イ 研修会の開催 ウ 調査研究事業の実施</p>	<p>鹿兒島県市町村社会福祉協議会連合協議会会則に基づき、県内市町村社会福祉協議会相互間の連携を強め、組織の強化と活動の充実を図り、地域福祉の増進に寄与することを目的とする市町村社協連合の事務局を担い、総会、常任委員会、監事会の諸会議、各種研修会の開催、調査研究事業を行った。</p> <p>ア 諸会議の開催 ① 総会（1回）</p>	<p>県内の市町村社協で組織される「鹿兒島県市町村社会福祉協議会連絡協議会」との連携が図られるとともに、県内の市町村社協間の連携並びに組織力の強化に寄与することができた。</p>

1	市町村社協経営基盤強化の促進	総務部, 地域福祉部 生活支援部	所管部署																																																																																										
令和6年度事業計画		事業実施概要等																																																																																											
<p>② 常任委員会 (2回)</p> <p>③ 監事会 (1回)</p> <p>イ 研究会の開催 (5回)</p> <p>① 総会時研修会</p> <p>② 職場におけるハラスメント防止に関する研修会</p> <p>③ 人材確保・育成・定着支援に関する研修会</p> <p>④ 市町村社会福祉協議会役員視察研修会</p> <p>⑤ 市町村社会福祉協議会職員研修会</p> <p>ウ 調査研究事業の実施</p> <p>研究テーマ「地域における公益的な取組と社協の関わりについて」</p> <p>① 小委員会の開催 (5回)</p> <p>② 「地域における公益的な取組と社協の関わりについて」の報告書作成</p>		<p>具体的成果等</p>																																																																																											
2	社会福祉施設・団体等の支援及び連絡調整	総務部, 地域福祉部 長寿社会推進部	所管部署																																																																																										
<p>(1) 社会福祉施設経営相談・指導の実施</p> <p>ア 個別相談及び集団指導の実施</p> <p>福祉施設経営相談コーナーを設置し、専任職員及び兼任指導員による社会福祉施設経営上の各種相談に応じるとともに、役員を対象に相談会等を行う。</p> <p>(ア) 相談コーナーの運営 (主に会計・税務相談)</p>		<p>専任指導員1人, 兼任指導員1人を配置し相談に応じた。 (相談件数 23件)</p> <p>〔相談内容別実績〕</p> <table border="1" data-bbox="1002 786 1374 1570"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>経営一一般</th> <th>会計・税務</th> <th>入所者処遇</th> <th>職員待遇</th> <th>安全管理</th> <th>衛生管理</th> <th>施設整備</th> <th>人材確保</th> <th>労務問題</th> <th>預り金</th> <th>地域交流</th> <th>定款諸規程</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問相談</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>来所相談 (含 会計・研修会 個別相談)</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>電話・文書</td> <td>0</td> <td>17</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>集団指導</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>20</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table> <p>① 相談内容は、会計・税務に関するものが19件であった。 ② 施設別では、障害者支援福祉施設6件, 老人福祉施設10件, 児童福祉施設3件, その他の施設等(市町村社協, 母子生活支援施設)4件となっている。</p>		区分	経営一一般	会計・税務	入所者処遇	職員待遇	安全管理	衛生管理	施設整備	人材確保	労務問題	預り金	地域交流	定款諸規程	その他	合計	訪問相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	来所相談 (含 会計・研修会 個別相談)	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	電話・文書	0	17	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	20	集団指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	計	0	20	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	23
区分	経営一一般	会計・税務	入所者処遇	職員待遇	安全管理	衛生管理	施設整備	人材確保	労務問題	預り金	地域交流	定款諸規程	その他	合計																																																																															
訪問相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																															
来所相談 (含 会計・研修会 個別相談)	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3																																																																															
電話・文書	0	17	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	20																																																																															
集団指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																															
計	0	20	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	23																																																																															

<p>イ 福祉施設経営指導連絡協議会の開催</p> <p>ウ 社会福祉法人会計研修の実施</p>	<p>円滑かつ効果的な事業推進を図るため、県・市の行政関係職員及び福祉団体役員で構成する経営指導連絡協議会を開催した。</p> <p>(1) 開催日：令和6年5月8日(水) (2) 会場：県社会福祉センター (3) 出席者：県・市福祉関係課長、県経営協正副会長等14人のうち13人出席</p> <p>① 第1回会計研修 [令和6年 8月 2日(金), 参加者数：115人] ② 第2回会計研修 [令和6年11月19日(火), 参加者数：126人] ③ 第3回会計研修 [令和7年 1月31日(金), 参加者数：106人]</p>	<p>経営指導事業を推進するにあり、情報収集及び関係行政機関・福祉団体との意見交換が図られた。</p> <p>社会福祉法人会計の作成すべき計算書類など、基本的な会計や決算時の会計処理と計算書類の作成時のポイント、経営分析などに関する研修を実施し、適正な会計事務及び健全な施設経営に寄与した。</p>																																																												
<p>(2) すこやか基金による活動助成等 ア 民間社会福祉活動等への助成 (13件)</p>	<p>すこやか基金の運用果実により、地域における住民の生活支援活動を行う民間社会福祉団体等やNPO法人に活動に必要な機器等の備品購入助成を行った。</p> <p>[実績：13件 1,198,304円]</p>	<p>財政基盤の弱い福祉事業所への助成を通じて、活動支援に資することができた。</p>																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業所名</th> <th>助成額(円)</th> <th>整備物品等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>鹿屋市中央生活学校</td> <td>100,000</td> <td>6人掛けテーブルセット</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>えんがわキャンパス今ここ</td> <td>80,649</td> <td>掃除機、ラミネーター 折り畳みデスクローテーブル</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>川内がらっぱ子ども食堂</td> <td>97,360</td> <td>冷凍庫、プリンタ、電子レンジ ジュースサーバー</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>幽栖寺oteraカフェのさま食堂</td> <td>100,000</td> <td>業務用冷凍冷蔵庫</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>星峯東保護者会ぽかぽか子ども食堂</td> <td>98,763</td> <td>オーブンレンジ、炊飯器</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>特定非営利活動法人天結会</td> <td>99,400</td> <td>卓上調理器、冷凍庫</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>みゆき食堂上荒田</td> <td>100,000</td> <td>冷凍庫</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>ナムナム食堂</td> <td>76,360</td> <td>炊飯器、ステンレスキーパー</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>なないろの会</td> <td>100,000</td> <td>エアコン</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>西田子ども食堂</td> <td>47,322</td> <td>電子レンジ</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>NPO法人グッドジョブサポート</td> <td>100,000</td> <td>パソコン</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>cafeグラウンデみんなの食堂</td> <td>98,450</td> <td>炊飯器、クリナー</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>こども食堂いちごちゃん</td> <td>100,000</td> <td>電子レンジ、掃除機、炊飯器</td> </tr> <tr> <td></td> <td>助成総額</td> <td>1,198,304</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			No.	事業所名	助成額(円)	整備物品等	1	鹿屋市中央生活学校	100,000	6人掛けテーブルセット	2	えんがわキャンパス今ここ	80,649	掃除機、ラミネーター 折り畳みデスクローテーブル	3	川内がらっぱ子ども食堂	97,360	冷凍庫、プリンタ、電子レンジ ジュースサーバー	4	幽栖寺oteraカフェのさま食堂	100,000	業務用冷凍冷蔵庫	5	星峯東保護者会ぽかぽか子ども食堂	98,763	オーブンレンジ、炊飯器	6	特定非営利活動法人天結会	99,400	卓上調理器、冷凍庫	7	みゆき食堂上荒田	100,000	冷凍庫	8	ナムナム食堂	76,360	炊飯器、ステンレスキーパー	9	なないろの会	100,000	エアコン	10	西田子ども食堂	47,322	電子レンジ	11	NPO法人グッドジョブサポート	100,000	パソコン	12	cafeグラウンデみんなの食堂	98,450	炊飯器、クリナー	13	こども食堂いちごちゃん	100,000	電子レンジ、掃除機、炊飯器		助成総額	1,198,304	
No.	事業所名	助成額(円)	整備物品等																																																											
1	鹿屋市中央生活学校	100,000	6人掛けテーブルセット																																																											
2	えんがわキャンパス今ここ	80,649	掃除機、ラミネーター 折り畳みデスクローテーブル																																																											
3	川内がらっぱ子ども食堂	97,360	冷凍庫、プリンタ、電子レンジ ジュースサーバー																																																											
4	幽栖寺oteraカフェのさま食堂	100,000	業務用冷凍冷蔵庫																																																											
5	星峯東保護者会ぽかぽか子ども食堂	98,763	オーブンレンジ、炊飯器																																																											
6	特定非営利活動法人天結会	99,400	卓上調理器、冷凍庫																																																											
7	みゆき食堂上荒田	100,000	冷凍庫																																																											
8	ナムナム食堂	76,360	炊飯器、ステンレスキーパー																																																											
9	なないろの会	100,000	エアコン																																																											
10	西田子ども食堂	47,322	電子レンジ																																																											
11	NPO法人グッドジョブサポート	100,000	パソコン																																																											
12	cafeグラウンデみんなの食堂	98,450	炊飯器、クリナー																																																											
13	こども食堂いちごちゃん	100,000	電子レンジ、掃除機、炊飯器																																																											
	助成総額	1,198,304																																																												

2	社会福祉施設・団体等の支援助及び連絡調整	所管部署	総務部, 地域福祉部長寿社会推進部
令和6年度事業計画		事業実施概要等	
イ 福祉団体九州ブロック大会等助成	福祉団体主催の全国・九州ブロック大会等へ助成を行った。	具体的成果等	
<p>(1) 〈大会〉 第57回全国手話通訳問題研究会～サマーフォーラムinかごしま～ 〈開催日〉 令和6年8月23日～25日 〈助成額〉 30千円</p> <p>(2) 〈大会〉 第52回九州視覚障害者サウンドテーパーブルテニス大会 〈開催日〉 令和6年11月9日～10日 〈助成額〉 50千円</p> <p>(3) 〈大会〉 日本てんかん協会九州ブロック交流会 〈開催日〉 令和6年11月16日～17日 〈助成額〉 100千円</p>	<p>すこやか基金の運用果実により、シルバー文化作品展入賞者へ記念品の贈呈を行った。 〈助成内容〉 寺園勝志賞 〈助成額〉 8,107円</p>	<p>高齢者の創作活動への励みとなっており、高齢者の生きがいづくりにつながった。</p>	
<p>ウ シルバー文化作品展「寺園賞」の贈呈</p> <p>(3) 民生委員児童委員との連絡調整及び支援 ア 諸会議の開催 イ 各種研修会等の開催 ウ 全国・九州会議、研修会等への派遣 エ 市町村・単位民協の活性化 オ 広報・啓発活動 カ 全国民生委員互助事業給付金の取扱及び活動中の事故防止の啓発</p>	<p>ア 諸会議の開催 ①正副会長会 (4回) ②理事会 (2回) ③監事監査 ④総会 ⑤専門委員会 (計11回) イ 研修会の開催 ①総会合同研修会 (参加者数：124人) ②会長・事務担当者研究協議会 (参加者数：194人)</p>	<p>県内の民生委員児童委員で組織される「鹿児島県民生委員児童協議会」との連携を図られるとともに、民生委員児童委員の資質向上と活動の推進に寄与することができた。</p>	

<p>(4) 県社会福祉法人経営者協議会活動の支援 ア 諸会議の開催 イ 研修会・セミナーの開催 ウ 社会福祉法人経営者大会の開催 エ 保育部会の運営 オ 青年経営者部会の運営 カ かがしおもいやりネットワーク事業の運営 キ 広報及び関係団体との連絡調整</p>	<p>③副会長研究協議会（参加者数：144人） ④民生委員児童委員研修会（参加者数：106人・オンライン参加：23会場） ⑤～主任児童委員制度創設30周年を迎えて～ 児童委員・主任児童委員研修会（参加者数：100人・オンライン参加：27会場） ウ 全国・九州会議、研修会等への派遣 ①都道府県・指定都市民児協事務局会議 ②九州ブロック民生委員・児童委員関係事業会議 ③九州各県・指定都市民生委員児童委員協議会会長会議 ④全国児童委員・主任児童委員活動研修会 ⑤全国民生委員・児童委員リーダー研修会 ⑥第93回全国民生委員児童委員大会 ⑦全国民生委員指導者研修会 エ 市町村・単位民児協の活性化 ①鹿児島県知事との懇談会の実施及び要望書の手交 ②指定民児協への活動費の助成 オ 広報・啓発活動 ①「かごしま県民児協だより」の発行（2回） ②「民生委員・児童委員の日」及び「活動強化週間」の活動促進 カ 全国民生委員互助事業給付金の取扱及び活動中の事故防止の啓発 全国社会福祉協議会による全国民生委員互助事業を行った。また、民生委員・児童委員活動保険関連事務及び、機関紙や研修会等を活用して委員活動中の事故防止の啓発を行った。</p>	
<p>(4) 県社会福祉法人経営者協議会活動の支援 ア 諸会議の開催 イ 研修会・セミナーの開催 ウ 社会福祉法人経営者大会の開催 エ 保育部会の運営 オ 青年経営者部会の運営 カ かがしおもいやりネットワーク事業の運営 キ 広報及び関係団体との連絡調整</p>	<p>鹿児島県社会福祉法人経営者協議会加入法人の社会福祉法人としての存在価値の向上と法人育成に寄与することを目的とする県経営者協議会の事務局を担い、諸会議、研修会・セミナー等を実施した。 ア 諸会議の開催 ①総会 ②監事会 ③協議員会（2回） ④正副会長会（2回） ⑤研修・広報部会（3回） イ 研修会・セミナーの開催 ①総会時研修 ②経営協セミナー（2回）</p>	<p>県内の社会福祉施設法人経営者で組織される「鹿児島県社会福祉法人経営者協議会」との連携が図られるとともに、社会福祉法人の存在価値の向上と育成に寄与することができた。</p>

2	社会福祉施設・団体等の支援及び連絡調整	総務部, 地域福祉部長寿社会推進部
令和6年度事業計画	事業実施概要等	具体的成果等
<p>(5) 県社会就労センター協議会の業務支援 ア 協議会の開催 イ 協議会の開催 ウ ナイスハートバザールの開催 エ 全国・九社連社会就労センター協議会及び関係団体との連絡調整</p>	<p>事業実施概要等</p> <p>③社会福祉法人会計研修 (3回) ④制度改正対応等研修 ウ 鹿児島県社会福祉法人経営者大会 エ 保育部会の運営 ①保育部会 (2回) ②保育部会研修 オ 青年経営者部会の運営 ①役員会 (3回) ②定期総会 (2回) ③研修会 (3回) ④研修企画会議 (3回) カ かごしまおもいやりネットワーク事業の運営 総合生活支援相談件数：112件 現物給付支援件数：124件 現物給付支援金額：2,797,445円 ①監事会・総会 ②運営委員会 (2回) ③事業部会 (3回) ④ワーキング部会 (3回) ⑤相談員・コミュニティワーカー研修会 (1回) キ 広報及び関係団体との連絡調整 ①会報誌「共生」の発行 (3回) ②非会員法人への各研修会等の参加案内</p>	<p>県内の社会福祉法人が経営する社会就労センターで組織される「鹿児島県社会就労センター協議会」との連携が図られるとともに、障害者の生産活動及び障害福祉サービスの進展に寄与することができた。</p>

<p>(6) 県母子生活支援施設協議会の業務支援 ア 諸会議の開催 イ 研修会の開催 ウ 全国・九社連母子生活支援施設協議会及び関係団体との連絡調整</p>	<p>③ 理事会 (4回) ④ 監事会 (1回) ⑤ 委員会 (1回) イ 研修会の開催 ① 九州社会就労センター研究大会 (1回, 大分市) ② 施設長・管理者並びに職員研修会 (2回) ウ 第36回ナイスハートバザールin鹿児島開催 令和7年2月18日(火)～24日(月)の7日間, 18事業所が参加して, 山形屋6階南催場及び2号館入口前イベント広場において展示販売を行い, 多くの方々のご来場を頂いた。 エ 全国・九社連社会就労センター協議会及び関係団体との連絡調整 オ 全国・九社連社会就労センター協議会の会議・研修会の案内及び参加を行うことと共に, 県経営協と連携して福祉政策に関する知事への要望書提出等の活動を行った。</p>	<p>県内の母子生活支援施設で組織される「鹿児島県母子生活支援施設協議会」との連携を図れるとともに, 母子生活支援施設の充実と資質向上に寄与することができた。</p>
<p>(7) 営 「小さな親切」運動県本部の運営 ア 諸会議の開催 イ 中央本部主催の作文コンクール作品募集及び審査(小学生の部) ウ 中央本部主催のはがきキャンペーン作品の募集及び審査(高校生以上) エ 実行章の推薦・表彰 オ 日本列島カン大作戦・コスエ作戦の実施</p>	<p>鹿児島県母子生活支援施設協議会会則に基づき, 社会的養護を担う施設の中で唯一母と子が共に生活しながら支援を受けることができてくる児童福祉施設の支援の充実と会員施設職員の一層の資質向上を図ることを目的とする県母施協の事務局を担い, 諸会議及び研修会等を開催した。 ア 諸会議の開催 ① 理事会 (3回) ② 監事会 (1回) イ 施設職員研修会の開催 (1回) ウ 全国・九社連母子生活支援施設協議会及び関係団体との連絡調整を図った。</p>	<p>「小さな親切」の心を育てる実践活動を推進することにより, 思いやりあふれる温かな社会環境作りに寄与することができた。</p>

2 社会福祉施設・団体等の支援及び連絡調整	所管部署	総務部, 地域福祉部長寿社会推進部
<p>令和6年度事業計画</p> <p>力 使用済み切手収集・寄贈 キ 県大会の開催 ク 県だよりの発行</p>	<p>事業実施概要等</p> <p>キ 令和6年12月10日(火)開催 ・表彰伝達, 実行草の贈呈 ・作文・はがき朗読, 実行草の活動発表 ク 広報紙「小さな親切」運動県だよりの発行及び配布 令和7年2月14日 5,000部発行 市町村, 市町村社会福祉協議会, 会員等に配布</p>	<p>具体的成果等</p>
(8) その他, 関係団体との連絡調整		
<p>3 九州地区の地域福祉推進に係る連絡調整</p>	<p>所管部署</p> <p>総務部, 地域福祉部</p>	
<p>(1) 九社連事務局長表彰の審査・決定 (1回: 沖縄県)</p> <p>ア 理事会の開催 ・期日: 令和7年2月6日(木) 午後3時15分～ ・場所: オリオンホテル那覇</p> <p>イ 九社連会長表彰の審査・決定</p> <p>ウ 「九州ブロック社会福祉協議会災害時相互応援協定」に基づく幹事県社協としての連絡調整</p> <p>エ 全社協等との連絡調整</p>	<p>理事会の開催 ・期日: 令和7年2月6日(木) 午後3時15分～ ・場所: オリオンホテル那覇</p> <p>九社連会長表彰の審査・決定 888人</p> <p>九社連幹事県として, 随時, 全社協や応援派遣社協との連絡調整を行った。</p>	<p>九社連事務局長及び九社連地域福祉委員会の事務局長を担うことにより, 九州地区の社協の現状を正確に把握することができた。</p>
<p>(2) 九社連地域福祉委員会事務局の運営</p> <p>ア 九社連地域福祉委員会の開催 ・期日: 令和6年4月25日(木) ・場所: 福岡市内 イ 全社協地域福祉推進委員会との連絡調整</p>	<p>九州社会福祉協議会地域福祉委員会規程に基づき, 九州地区における各社会福祉協議会の組織運営及び経営基盤の強化と活動の充実を図り, もって地域福祉を推進することを目的とする九州連地域福祉委員会第1回九州連地域福祉委員会(7)の開催</p> <p>① 期日: 令和6年4月25日(木) 会場: スタリニングス博多11階「リバルタ」 参加者: 地域福祉委員会及び九州各県・指定都市社協担当者等 内容: 令和5年度事業報告(案)及び収支決算(案)について, 令和5年度九州ブロック地域福祉研究会議(鹿児島大会)</p>	<p>九州連地域福祉委員会の運営を担うことにより, 全社協や九州各県との緊密な連携を図られ, 九州地区における地域福祉の推進に寄与することが出た。</p>

	<p>の振り返りについて(報告), 令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)について, その他, 実践報告, 情報交換</p> <p>② 全社協地域福祉推進委員会との連絡調整</p>	
<p>Ⅲ-2 法人運営の機能強化</p>		
<p>1 組織体制・財政基盤の強化</p>		<p>所管部署 総務部</p>
<p>(1) 役員会等の開催 ア 理事会の開催(5回)</p>	<p>① 第220回理事会(令和6年度第1回) <日時> 令和6年5月29日(水) 午前10時00分～ <場所> 鹿児島県社会福祉センター 別館 会議室 <上程議案> 第1号議案 令和5年度事業報告について 第2号議案 令和5年度一般会計及び生活福祉資金会計決算について 第3号議案 理事候補者の選定について 第4号議案 評議員候補者の選定及び評議員選任・解任委員会の開催について 第5号議案 令和6年度定時評議員会の招集について 第6号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任について 第7号議案 会計監査人の報酬について 報告第1号 令和5年度福祉サービス運営適正化委員会業務報告 報告第2号 会長・常務理事の職務執行状況の報告について</p> <p>② 第221回理事会(書面決議) <日時> 令和6年8月1日(木) <上程議案> 第1号議案 評議員会の招集について</p> <p>③ 第222回理事会(令和6年度第3回) <日時> 令和6年8月19日(月) 午前10時30分～ <場所> 鹿児島県社会福祉センター 別館 会議室 <上程議案> 第1号議案 常務理事の選定について</p>	<p>本会の経営に重要な事業計画, 予算, 役員等改選及び諸規程等改正の審議のため, 適宜理事会・評議員会を開催し, 効率的かつ適正・確実な法人経営が図られた。</p>

1 組織体制・財政基盤の強化	所管部署	総務部	
令和6年度事業計画		事業実施概要等	具体的成果等
	<p>④ 第223回理事会（書面決議） （日 時） 令和7年2月7日（金） （場 所） 鹿兒島県社会福祉センター 別館 会議室 （上 程 議 案） 第1号議案 理事候補者1名の選定について 第2号議案 評議員会の招集事項について</p> <p>⑤ 第224回理事会（令和6年度第5回） （日 時） 令和7年3月12日（火）午後2時30分～ （場 所） 鹿兒島県社会福祉センター 別館 会議室 （上 程 議 案） 第1号議案 令和6年度一般会計及び生活福祉資金会計資金収支 補正予算（案）について 第2号議案 令和7年度事業計画（案）について 第3号議案 令和7年度一般会計及び生活福祉資金会計資金収支 予算（案）について 第4号議案 評議員候補者の選定及び評議員選任・解任委員会 の開催について 第5号議案 役員及び評議員等の報酬等に関する規程の一部改 正について 第6号議案 第200回評議員会の招集について 報告第1号 専決処分の報告について 専第1号 県社会福祉センター設置管理規程の一部改正の件 専第2号 職員給与規程の一部改正の件 専第3号 職員就業規則の一部改正の件 報告第2号 会長及び常務理事の職務執行状況報告について</p>		
イ 評議員会の開催（4回）	<p>① 第197回評議員会（定時評議員会） （日 時） 令和6年6月14日（金）午前10時～ （場 所） 鹿兒島県社会福祉センター 別館 会議室 （上 程 議 案） 第1号議案 令和5度事業報告について 第2号議案 令和5年度一般会計及び生活福祉資金会計決算につ いて</p>		

	<p>② 第198回評議員会（令和6年度第2回） 〈日 時〉 令和6年8月19日(月) 午前10時～ 〈場 所〉 鹿児島県社会福祉センター 別館 会議室 〈上 程 議 案〉 第1号議案 理事1名の選任について</p> <p>③ 第199回評議員会（書面決議） 〈日 時〉 令和7年2月25日(火) 〈上 程 議 案〉 第1号議案 理事1名の選任について</p> <p>④ 第200回評議員会（令和6年度第4回） 〈日 時〉 令和7年3月25日(火) 午前10時30分～ 〈場 所〉 鹿児島県社会福祉センター 別館 会議室 〈上 程 議 案〉 第1号議案 令和6年度一般会計及び生活福祉資金会計資金収支 補正予算（案）について 第2号議案 令和7年度事業計画（案）について 第3号議案 令和7年度一般会計及び生活福祉資金会計資金収支 予算（案）について 第4号議案 役員及び評議員等の報酬等に関する規程の一部改 正について</p>	
<p>ウ 監事会の開催（1回）</p>	<p>令和6年度第1回監事会 〈日 時〉 令和6年5月22日(水) 午前10時30分～ 〈場 所〉 鹿児島県社会福祉センター 7階 第3会議室 〈協議事項〉 ・ 会計監査人の報酬に関する同意について ・ 令和5年度事業実施報告、令和5年度一般会計及び 生活福祉資金会計決算について ・ 財務諸表及び証拠書類等の監査 ・ 監査結果の講評</p>	<p>当初の予定どおり令和5年度 の監査を行い、適正に処理され ていることが認められた。</p>
<p>エ 評議員選任・解任委員会の 開催</p>	<p>令和6年度第1回評議員選任・解任委員会 〈日 時〉 令和6年5月30日(木) 午前10時～ 〈場 所〉 鹿児島県社会福祉センター 7階 第3会議室 〈審議事項〉 社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会評議員の選任 について（2名辞任に伴う後任の選任）</p>	

1	組織体制・財政基盤の強化	所管部署	総務部
令和6年度事業計画		具体的成果等	
<p style="text-align: center;">事業実施概要等</p> <p>令和6年度第2回評議員選任・解任委員会 (日時) 令和7年3月12日(水) 午後4時15分～ (場所) 鹿児島県社会福祉センター 7階 第3会議室 (審議事項) 社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会評議員の選任 について(1名辞任に伴う後任の選任)</p> <p>(2) 会計監査人の設置 経営組織のガバナンスの強化や財務規律の強化を図るため、会計監査人を設置し、会計監査人による監査を下記の日程で実施した。 ① 1回目：令和6年 5月 9日(木)、10日(金) ② 2回目：令和6年11月 5日(火)、 6日(水) ③ 3回目：令和7年 3月 5日(水)</p> <p>(3) 組織体制の整備 効率的な業務執行を行うため、組織体制を見直し、長寿社会推進部とボランティアセンターの機能統合を行った他、福祉サービス苦情解決事業を生活支援部へ移管した。</p> <p>(4) 自主財源の確保 社会福祉に関する書籍等や帳簿類の販売・斡旋を行い、自主財源の確保に努めた。 <書籍等販売・斡旋> アイウエオカキ 民生委員・社会福祉手帳 ボランティアアトシヤ等 市町村社協帳簿用紙 介護体験ノート 地域見守りネットワーク冊子 全社協等外部発行図書 その他自動車保険の団体加入</p>		<p>会計監査人と連携して、内部管理体制の充実を図ることで、適正に業務を実施する体制を整備できた。</p> <p>機能統合や事業移管を行うことで、より効率的な業務体制を執ることができた。</p> <p>書籍等販売・斡旋を通じて、社会福祉関係者等への福祉関連書籍等を円滑に提供できた。</p>	
2 職員の資質向上		所管部署	総務部
(1) 職員研修計画に基づく研修の実施 (2) 研修の推進体制の整備 (3) その他	新たに策定した職員研修体系に基づき、各部署で企画する研修計画、職員全体を対象とした研修計画を毎年度策定し、計画的に研修を実施した。	職員研修を充実させることにより、県社協職員として、必要とされる知識や能力の向上を図り、職員の資質向上に資することができた。	

3 広報・情報発信の強化	所管部署	総務部												
(1) 広報委員会の開催	県民への効率的・効果的な情報発信に資することができた。	県民への効率的・効果的な情報発信に資することができた。												
(2) 広報紙「ふくしのひろば」の発行 発行回数：年4回 発行部数：13,700部／1回あたり	<p>県民の福祉と理解を深めるため、効率的な広報の在り方について協議するため広報委員会を開催した。</p> <p>県民の福祉への関心と理解を深めるため、広報紙「ふくしのひろば」を発行し、福祉関係情報を提供した。</p> <p>〈発行回数等〉 年4回 〈発行部数〉 各回13,700部（12ページ/1部あたり） 〈配布先〉 市町村、市町村社協、民生委員、社会福祉施設、小・中・高校、警察署、病院、金融機関ほか県内外関係機関・団体等</p>	当初の予定どおり定期的に発行し、福祉関係者のみならず幅広い県民への広報に資することができた。												
(3) 本会ホームページの運営 (URL http://www.kaken-shakyo.jp/)	<p>本会ホームページを通して、実施事業等の案内、保健福祉に関する情報の提供に努めた。</p> <table border="1" data-bbox="683 607 810 954"> <thead> <tr> <th data-bbox="691 607 730 734">R6年度実績</th> <th data-bbox="691 734 730 954">R5年度実績</th> <th data-bbox="691 954 730 1137">対前年度（数値比割合）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="738 607 778 734">アクセス件数</td> <td data-bbox="738 734 778 954">81,955</td> <td data-bbox="738 954 778 1137">73,581</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td data-bbox="738 1093 778 1137">8,374</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td data-bbox="738 1093 778 1137">111.4%</td> </tr> </tbody> </table>	R6年度実績	R5年度実績	対前年度（数値比割合）	アクセス件数	81,955	73,581			8,374			111.4%	福祉関係者を含む一般県民等幅広い閲覧者に対して、社協活動への理解促進につながった。
R6年度実績	R5年度実績	対前年度（数値比割合）												
アクセス件数	81,955	73,581												
		8,374												
		111.4%												
(4) SNS等の活用	<p>福祉関係者のみならず、幅広く県内外の方々に当会の活動に関する理解と関心を深めるため、県民へ親しみのある情報発信に努めた。また、幅広い世代に向けて情報を発信するために、新たにインスタグラム公式アカウントを開設した。</p> <p>フェイスブック等SNSによる情報発信回数：55回（月平均4回）</p>	情報発信へ適宜対応すること、県民への広報に資することができた。												
(5) 広報手法の職員研修会の開催	福祉人材・研修センターが行っている福祉施設・事業所広報力アップSNS講座に参加した他、職員向けに新たに開設したインスタグラムへの投稿等の操作案内を行った。													
4 社会福祉センターの整備、維持管理及び利用促進	所管部署	総務部												
(1) 県社会福祉センターの維持管理（緊急を要する修繕工事のほか、法令等に基づく設備等の更新・改修工事等を含む）	<p>民間社会福祉団体の活動拠点施設として、適切かつ効率的な管理運営に努め利用促進等を図った。</p> <p>① 法定による保守点検等の実施と届出「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく保守点検及び消防用設備等の必要な維持管理を行った。</p>	経年劣化等に伴う不具合等については速やかに修繕を行うとともに、更新が必要な設備等の調査等を行うなど施設利用者等の利便性向上に寄与した。												

4 社会福祉センターの整備，維持管理及び利用促進	所管部署	総務部																																																														
令和6年度事業計画	事業実施概要等																																																															
<p>② 施設整備（小規模補修は除く）</p> <p>(1) センター入り口エントランス等防水補修工事</p> <p>(2) 別館屋上等防水補修工事</p> <p>(3) 階段非常照明器具LED取替工事</p> <p>(4) 1階売店横自動ドア修理更新工事</p> <p>(5) 別館障害者トイレ内タイルひび割れ補修工事</p> <p>(6) 消防用不良設備取替工事</p>	<p>具体的成果等</p>																																																															
<p>(2) 会議室，宿泊室の利用促進</p>	<p>本会ホームページの掲載内容見直しのほか，来館者にリーフレットや「宿泊室のご案内」のチラシを配布するなど，会議室・宿泊室の利用促進を図った。</p> <p>なお，会議室及び宿泊室の利用状況は下表のとおり。</p> <p>〔会議室利用状況〕</p> <table border="1" data-bbox="699 421 836 1615"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">区分</th> <th colspan="2">福祉関係</th> <th colspan="2">一般</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>金額（円）</th> <th>回数</th> <th>金額（円）</th> <th>回数</th> <th>金額（円）</th> <th>回数</th> <th>金額（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度</td> <td>517</td> <td>3,982,680</td> <td>286</td> <td>3,173,950</td> <td>803</td> <td>7,156,630</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>456</td> <td>3,338,530</td> <td>271</td> <td>3,145,610</td> <td>727</td> <td>6,484,140</td> <td>88.2%</td> <td>90.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔宿泊施設利用状況〕</p> <table border="1" data-bbox="836 949 1007 1615"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">区分</th> <th colspan="2">合計</th> <th colspan="2">対前年度</th> </tr> <tr> <th>人員</th> <th>金額</th> <th>人員</th> <th>金額</th> <th>人員比較</th> <th>金額比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度</td> <td>536</td> <td>1,550,800</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>394</td> <td>1,104,500</td> <td>73.5%</td> <td>71.2%</td> <td>73.5%</td> <td>71.2%</td> </tr> </tbody> </table>		年度	区分		福祉関係		一般		合計		回数	金額（円）	回数	金額（円）	回数	金額（円）	回数	金額（円）	令和5年度	517	3,982,680	286	3,173,950	803	7,156,630	—	—	令和6年度	456	3,338,530	271	3,145,610	727	6,484,140	88.2%	90.6%	年度	区分		合計		対前年度		人員	金額	人員	金額	人員比較	金額比較	令和5年度	536	1,550,800	—	—	—	—	令和6年度	394	1,104,500	73.5%	71.2%	73.5%	71.2%
年度	区分			福祉関係		一般		合計																																																								
	回数	金額（円）	回数	金額（円）	回数	金額（円）	回数	金額（円）																																																								
令和5年度	517	3,982,680	286	3,173,950	803	7,156,630	—	—																																																								
令和6年度	456	3,338,530	271	3,145,610	727	6,484,140	88.2%	90.6%																																																								
年度	区分		合計		対前年度																																																											
	人員	金額	人員	金額	人員比較	金額比較																																																										
令和5年度	536	1,550,800	—	—	—	—																																																										
令和6年度	394	1,104,500	73.5%	71.2%	73.5%	71.2%																																																										
<p>(3) 省エネルギー対策の推進</p>	<p>① 休憩時間における照明の消灯やノーネクタイ・ノー上着を中心とした職員の服装の自由化による空調機器利用抑制等の省エネルギー対策を推進した。</p> <p>② 県社会福祉センター事務室内の照明器具をLED照明に改修するなど，消費電力の低減に努めた。</p>																																																															
<p>(4) そのほか入居団体との連絡調整等</p>	<p>県社会福祉センターにおける消防訓練（同時訓練）の実施など共通して取り組むべきこと及び県社会福祉センターの管理運営上協力が必要な事項や工事に関すること等について，随時入居団体と連絡調整を行った。</p>																																																															
	<p>ハードとソフト両面からの省エネルギー対策を推進すること で，職員も省エネルギーについての意識が高まった。</p> <p>入居団体及び県青少年会館と連携することで，同一敷地内に勤務する全ての職員の防災意識等の向上や連携・協力体制の構築に資することができた。</p>																																																															

令和7年度 スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します!

ホームページでも内容を紹介しています
https://www.fukushihoken.co.jp



社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償

(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、サイバー保険、動産総合保険、費用・利益保険)

① 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間1年

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故に対応	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
お見舞い等の各種費用	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

▶年額保険料(掛金)	
定員	基本補償(A型)
1~50名	35,000~61,460円
51~100名	68,270~97,000円
以降1名~10名増ごと	1,500円

基本補償(A型)
保険料

+

【見舞費用加算】
定員1名あたり
入所：1,300円
通所：1,390円

- オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ● 医務室の医療事故補償
- オプション3 ● 看護職の賠償責任補償
- オプション4 ● 借用不動産賠償事故補償
- クレーム対応サポート補償

- ② 個人情報漏えい対応補償 ③ 施設の什器・備品損害補償

プラン2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

- ① 入所型施設利用者の傷害事故補償
- ② 通所型施設利用者の傷害事故補償
- ③ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償



プラン3 職員等の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険)

- ① 職員の労災上乗せ補償
- ② 使用者賠償責任補償
- ③ 役員・職員の感染症罹患事故補償
- ④ 雇用慣行賠償補償
- ⑤ 役員・職員の傷害事故補償



プラン4 法人役員等の補償

(役員賠償責任保険)

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

引受幹事 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
保険会社 TEL : 03(3349)5137

受付時間：平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL : 03(3581)4667

受付時間：平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料 (1名あたり) 団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
	地震・噴火・津波による死傷		×	○	
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		
年間保険料			350円	500円	

商品パンフレットは
こちらから



(ふくしの保険)
ホームページ

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

